



入学試験に関するお問い合わせ

国立大学法人 三重大学
学務部入試チーム

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL:059-231-9063

URL: <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

三重大学 入試情報

検索

click!



三重大学
大学案内 2014

GUIDE TO MIE UNIVERSITY 2014

三重大学

2014

大学案内

<http://www.mie-u.ac.jp/>



CONTENTS

● 大学全景	01
● 学長からのメッセージ	03
● 三重大学のアドミッションポリシー	04
● 学生数及び教員数	05
● 三重大学の生い立ち(沿革)	06
● 三重大学の教育・研究組織	07
● 学内共同教育研究施設	08
● 学部・学科INDEX	09
● Campus Map(三重大学 上浜キャンパス)	11
● 教育の特色	13
1. PBLって何?	13
2. eラーニングとeコミュニケーション	15
3. TOEICを用いた実践的な英語の授業!	15
● 共通教育	16
1. 共通教育への誘い	16
2. 大学での学習習慣・スキルを身につけるための授業	17
3. 三重大スタイル【特色ある共通教育プログラム】	18
● 人文学部	21
文化学科	22
法律経済学科	23
● 教育学部	25
2014年・教育学部が進化する(改組のお知らせ)	26
学校教育教員養成課程	28
人間発達科学課程	29
● 医学部	31
医学科	32
看護学科	33
● 工学部	35
機械工学科	36
電気電子工学科	37
分子素材工学科	38
建築学科	39
情報工学科	40
物理工学科	41
● 生物資源学部	43
資源循環学科	44
共生環境学科	45
生物圏生命科学科	46
● 大学院地域イノベーション学研究科	49
● 就職情報	51
キャリア支援	51
インターンシップ	53
就職支援	54
就職状況	55
学部別就職状況	56
● 国際交流	57
● キャンパスライフ	59
三重大学のイベント	59
三重大生の日	61
学生寮・アパート	63
福利厚生施設・設備	64
三重大学附属図書館	65
環境・情報科学館(メーブル館)	66
学生支援システム	67
経済援助システム	68
課外活動	69
自治会活動	69
サークル活動	70
● トピックス	72
環境への取り組みスマートキャンパス構想	72
● 入試情報	73
入試状況	74
三重大学へのアクセス	75
学生募集要項等の入手方法	77
学生納付金一覧表	78

地域に根ざし、世界に誇れる
人と自然の調和・共生の中で

幅広い教養の基盤に立った高度な専門知識や技術を有し、地域のイノベーションを推進できる人材を育成するために、「4つの力」、すなわち「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、それらを総合した「生きる力」を養成する。

2013.5.8 攝影

Message from the President

地域と世界をつなぐ人財を目ざそう

急速な勢いで押し寄せてきているグローバル化の波は、私たちの日常生活にも影響を与え、わが国が、地域が、そして一人ひとりが激しい競争の渦中にあることを実感させられます。このような環境の中でこそ自らのアイデンティティーを認識することが必要となります。三重大大学のミッション「三重の力を世界へ：地域に根ざし世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。～人と自然の調和・共生の中で～」は、地域社会に貢献できると同時に世界に通用する独自性を有する「人財」を育成することです。それは「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」「生きる力」という4つの力を身につけることによって達成されるでしょう。

世界の変化を敏感に感じとり、社会の問題点を鋭く見つめる感性が必要です。また、競争社会であればあるほど、逆に他者の心を感じ取って共感できる力や、お互いに助け合う公共心、そして社会の規範を遵守しようとする誠実な気持ちがますます大切になります。これが「感じる力」です。

物事の本質を見抜くことのできるクリティカルな思考力や、既成の概念を打破する新しいパラダイムやイノベーションを創造できる発想力をつけてほしいと思っています。そのためには失敗をすることです。そこでなぜ失敗したかを考えるようになるでしょう。「考える力」が身につきます。

他者との良好なコミュニケーション力は、あらゆる社会活動の基盤です。特に、グローバル競争社会では、国際的なコミュニケーション力や情報通信技術を最大限に活用できる力が欠かせません。

これらの3つの力を合わせて、次々と生じる問題を解決し、強い意思をもって行動し、目標を達成しなければなりません。そのためには個々の専門的知識や技術を身につけ、自分が社会の中でどのような位置にあり社会のために何ができるかを知ること、あるいは知ろうと努力することが大切です。これが「生きる力」です。

皆さんが、4つの力を効果的に身につけるために、三重大大学では、通常の講義や実習のほかに、さまざまな形の課題探究型授業、プロジェクト達成型授業、実践型授業を行っています。

緑の木々に囲まれたキャンパスから望むことができる素晴らしい景観（“鈴鹿や布引の樹々”のみどり、“伊勢湾の波”のみどり、“幸せの風を運ぶ”空のみどり）を表現した本学の伝統である「三翠」には、「人と自然の調和・共生の中で」という言葉とともに、環境を大切にしようという思いが込められています。本学の学生たちも率先して環境活動に取り組み、教員、職員と学生が一体となって「世界一の環境先進大学」を目指しましょう。

三重大学長 内田淳正

三重大大学のアドミッションポリシー

三重大大学が求める学生像

三重大大学は、学術文化の発信・受信拠点として、「人と自然の調和・共生」を大切にしながら、地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出すことをめざしています。

そのために、「感じる力」「考える力」「生きる力」がみなぎり、地域に根ざし、また国際的にも活躍出来る人材の育成を目標にしています。すなわち、基盤となるコミュニケーション力を培い、問題発見力、課題探究心、論理的思考力、実践的問題解決能力を身につけて社会に貢献しようとする学生を育てることをめざしています。

したがって、三重大大学は次のような学生を求めます。

- 人や自然そして社会に対する豊かな感受性と幅の広い関心を備えた学生。
- 日本語や英語などの基礎的な語学能力を身につけ、さらに多様で豊かな表現力やコミュニケーション力を培おうとする学生。
- 旺盛な学習意欲を持ち、新しい課題に積極的にチャレンジしようとする学生。
- 基礎的な知識を持つと同時に、広い視野や多様な視点からものごとをとらえ、主体的・論理的に考えようとする学生。
- 企画力や実行力などの実践的問題解決能力や独創性を身につけ、社会に貢献したいという意欲を持った学生。

教育目標

4つの力を育成する

コミュニケーション力

情報受発信力、討論・対話力、指導力、協調性、社会人としての態度、実践外国語力

考える力

幅広い教養、専門知識・技術、論理的思考力、批判的思考力、課題探究力、問題解決力

生きる力

感じる力、考える力、コミュニケーション力を総合した力

感じる力

感性、共感、倫理観、モチベーション、主体的学習力、心身の健康に対する意識

あなたの**4つの力**を
全学の教職員が引き出します

学生数及び教員数

学生数

平成25年5月1日現在（ ）内は、外国人留学生数を内数で示す														
学部	学科・課程	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		合 計
		定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	定員	在籍者	
人文学部	文化学科	100	111 (2)	100	105 (1)	110	118 (2)	110	133					420 467 (5)
	社会科学学科								6					6 (0)
	法律経済学科	165	181 (1)	165	181 (2)	185	191 (1)	185	229 (2)					700 782 (6)
	計	265	292 (3)	265	286 (3)	295	309 (3)	295	368 (2)					1,120 1,255 (11)
教育学部	学校教育教員養成課程	145	156 (1)	145	149	145	150	145	168					580 623 (1)
	情報教育課程	20	20	20	19	20	22	20	23					80 84 (0)
	生涯教育課程	15	17	15	18	15	18	15	17					60 70 (0)
	人間発達科学課程	20	22 (1)	20	22 (1)	20	22 (1)	20	41 (13)					80 107 (16)
	計	200	215 (2)	200	208 (1)	200	212 (1)	200	249 (13)					800 884 (17)
医学部	医学科	125	125	125	129	125	132	125	122	120	123	110	114	730 745 (0)
	看護学科	80	80	80	84	90	87	90	97					340 348 (0)
	計	205	205	205	213	215	219	215	219	120	123	110	114	1,070 1,093 (0)
工学部	機械工学科	80	87 (2)	80	80 (1)	90	100 (5)	90	122 (4)					340 389 (12)
	電気電子工学科	80	82 (1)	80	81 (2)	90	88 (2)	90	117 (1)					340 368 (6)
	分子素材工学科	100	103 (1)	100	99 (2)	100	104	100	115 (2)					400 421 (5)
	建築学科	40	43 (1)	40	47	50	52 (1)	50	65					180 207 (2)
	情報工学科	60	60 (1)	60	59	60	60 (2)	60	94 (1)					240 273 (4)
	物理工学科	40	43 (1)	40	41	40	41	40	53					160 178 (1)
	計	400	418 (7)	400	407 (5)	430	445 (10)	430	566 (8)					1,660 1,836 (30)
生物資源学部	資源循環学科	60	64	60	66	63	71	63	78					246 279 (0)
	共生環境学科	85	96	85	94	88	95 (1)	88	115					346 400 (1)
	生物圏生命科学科	95	103	95	106	99	101	99	114 (1)					388 424 (1)
	計	240	263	240	266	250	267 (1)	250	307 (1)					980 1,103 (2)
合 計		1,310	1,393 (12)	1,310	1,380 (9)	1,390	1,452 (15)	1,390	1,709 (24)	120	123	110	114	5,630 6,171 (60)
大学院	人文社会科学研究科 修士課程	15	15 (7)	15	22 (3)									30 37 (10)
	教育学研究科 修士課程	41	40 (7)	41	66 (17)									82 106 (24)
	医学系研究科	修士課程 (医科)	15	7	15	14								30 21 (0)
		修士課程 (看護)	16	17	16	20								32 37 (0)
		博士課程	45	52 (2)	45	45 (4)	45	35 (4)	60	54 (3)				195 186 (13)
	工学研究科	博士前期課程	216	230 (4)	216	263 (6)								432 493 (10)
		博士後期課程	16	15 (6)	16	17 (3)	16	29 (3)						48 61 (12)
	生物資源学研究科	博士前期課程	88	102 (17)	88	93 (12)								176 195 (29)
		博士後期課程	12	12 (4)	12	16 (8)	12	20 (5)						36 48 (17)
	地域イノベーション学研究科	博士前期課程	10	12	10	10								20 22 (0)
		博士後期課程	5	9 (2)	5	3	5	7						15 19 (2)
	計	479	511 (49)	479	569 (53)	78	91 (12)	60	54 (3)	0	0	0	0	1,096 1,225 (117)
専攻科	特別支援教育特別専攻科	30	4											30 4 (0)

教員数

平成25年5月1日現在					
	教 授	准教授	講 師	助 教	計
人文学部	38	34	2	0	74
教育学部	57	31	4	0	92
医学部	50	45	72	165	332
工学部	47	39	3	28	117
生物資源学部	47	44	3	14	108
学内共同教育研究施設等	12	10	2	12	36
計	251	203	86	219	759

*医学部寄附講座の教員は除く

学びのサポート

学部における教員1名あたりの学生数は9名です。
充実した教員と学生の密接な関係の中で、
高度な教育・研究を進めています。

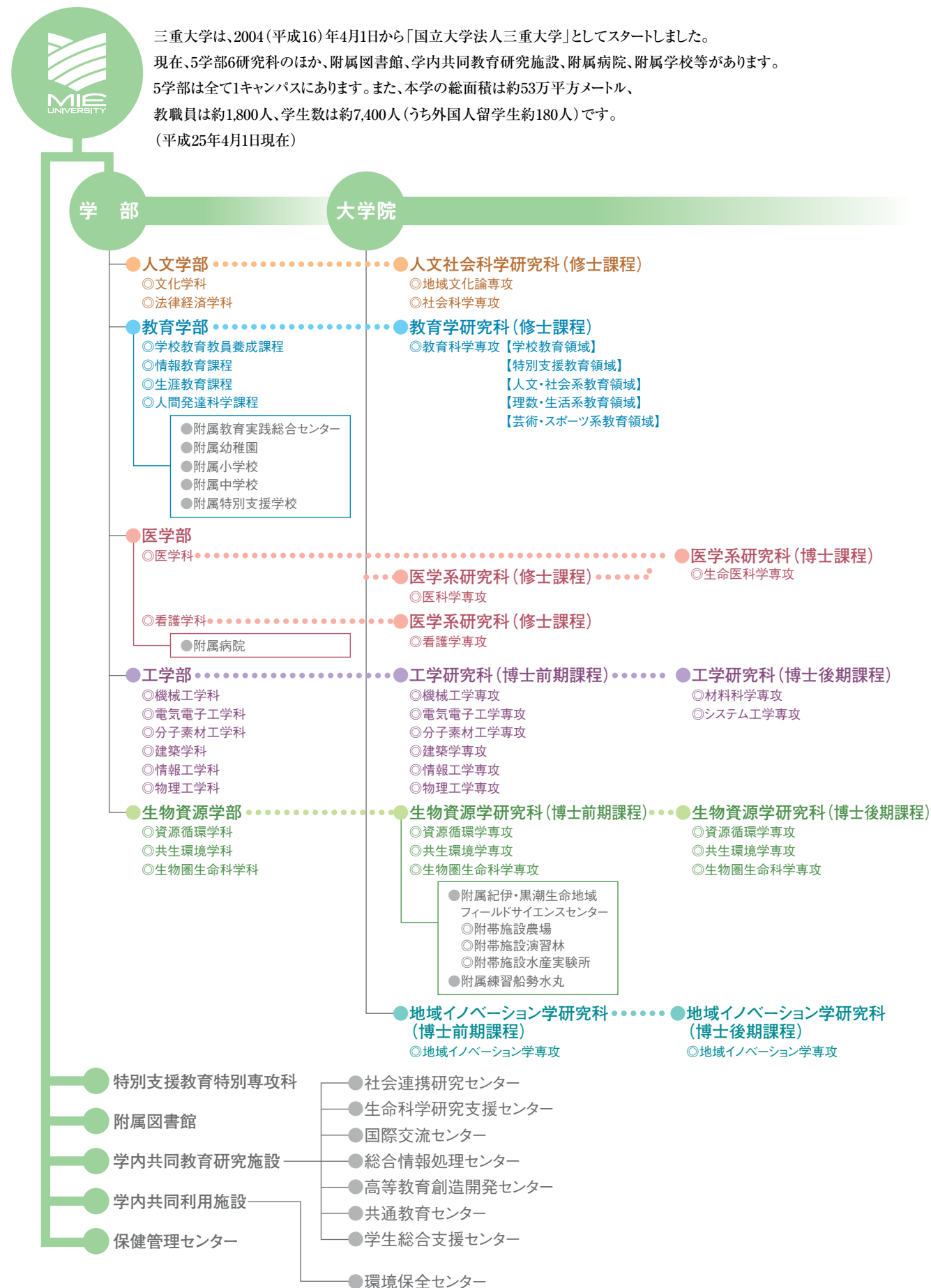


三重大大学の生い立ち

沿革



三重大大学の教育・研究組織



学内共同教育研究施設



社会連携研究センター

<http://www.crc.mie-u.ac.jp/>

社会連携研究センターは、産学官の連携を深め、三重大大学の知的財産活用や独創的な研究開発の推進等を図ることにより、三重大大学の研究、教育の進展、我が国および地域社会の産業、文化、福祉の向上に資することを目的とします。

【センターの活動】

- 研究における外部機関との連携・協力の推進
- 研究成果の民間事業者への技術移転の推進
- 知的財産の創出、管理および活用
- 新産業創出のための独創的な研究開発の推進
- 高度な専門的職業能力を持つ創造性豊かな人材の育成
- ベンチャー企業の育成および支援等です。



生命科学研究支援センター

<http://www.lsrc.mie-u.ac.jp/>

生命科学研究支援センターは、3つの研究分野からなり、その中に、7つの研究部門と5つの実験施設があり、三重大大学及びこの地域の多様な生命科学研究を総合的に支援する教育研究推進センターとして活動を展開しています。



国際交流センター

<http://www.cie.mie-u.ac.jp/>

国際交流センターは、三重大大学の国際化の要となることを目指し、2005年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。現在31ヵ国85大学と学術交流協定を締結し、学生の派遣・受入を行っています。

また外国人のための日本語教育、英語等による国際教育、国際キャリアアッププログラムなどを実施しています。



総合情報処理センター

<http://www.cc.mie-u.ac.jp/>

総合情報処理センターは、本学附属図書館と社会連携研究センターの中間に位置し、情報システムの日々の管理運用を行いつつ、これからの大学における情報基盤システムの構築並びに維持発展のための情報基盤の戦略策定を行っています。



高等教育創造開発センター

<http://www.hedc.mie-u.ac.jp/>

高等教育創造開発センターは、三重大大学の教育目標(「感じる力」「考える力」「生きる力」がみなぎり、地域に根ざし国際的にも活躍できる人材を育成する。)の達成に向け、教育諸活動の創造、開発、促進、支援を先導的に進めることを目的として、平成17年4月に学内共同教育研究施設として設置されました。

センターは、教育開発部門、教育情報システム部門、教育評価部門、教育連携部門、全学教育部門、入試広報部門及び、入学者選抜方法研究部門の7部門から構成され、三重大大学の教育目標の達成に向けた教育諸活動の創造、開発推進及び支援を行います。



共通教育センター

<http://www.mie-u.ac.jp/com/>

共通教育の企画・改善と効果的な運営を行うことを目的として、平成16年5月に学務部門、教養教育部門及び実践教育部門の3部門からなる共通教育センターを設置しました。

豊かな教養と学問の基礎的要素を学際的な広い視野のもとで育成する教養教育の充実に向け、実践外国語教育の導入や共通教育のカリキュラムと教育方法の一層の改善を図っています。



学生総合支援センター

<http://www.mie-u.ac.jp/life/>

「三重大大学学生支援方針」に従って、学生たちの中に眠る宝を発見し、その宝が輝く姿を思い描き、夢実現のステップをデザインし、宝が輝くための支援をします。「学生生活支援室」、「障がい学生支援室」、「学生なんでも相談室」、「キャリア支援センター」では、専門的な技能をもった教職員たちによって支援活動が行われています。

また、「ピアサポーター学生委員会」は、本学のカリキュラムを通して訓練を受けた学生たちが、学生たちに寄りそった活動をしています。本学は、教員、職員、学生が一体となって、学生を支援します。

学部・学科 INDEX

三重大大学での学びと進路から、あなたの「学びたい!」が見つかる

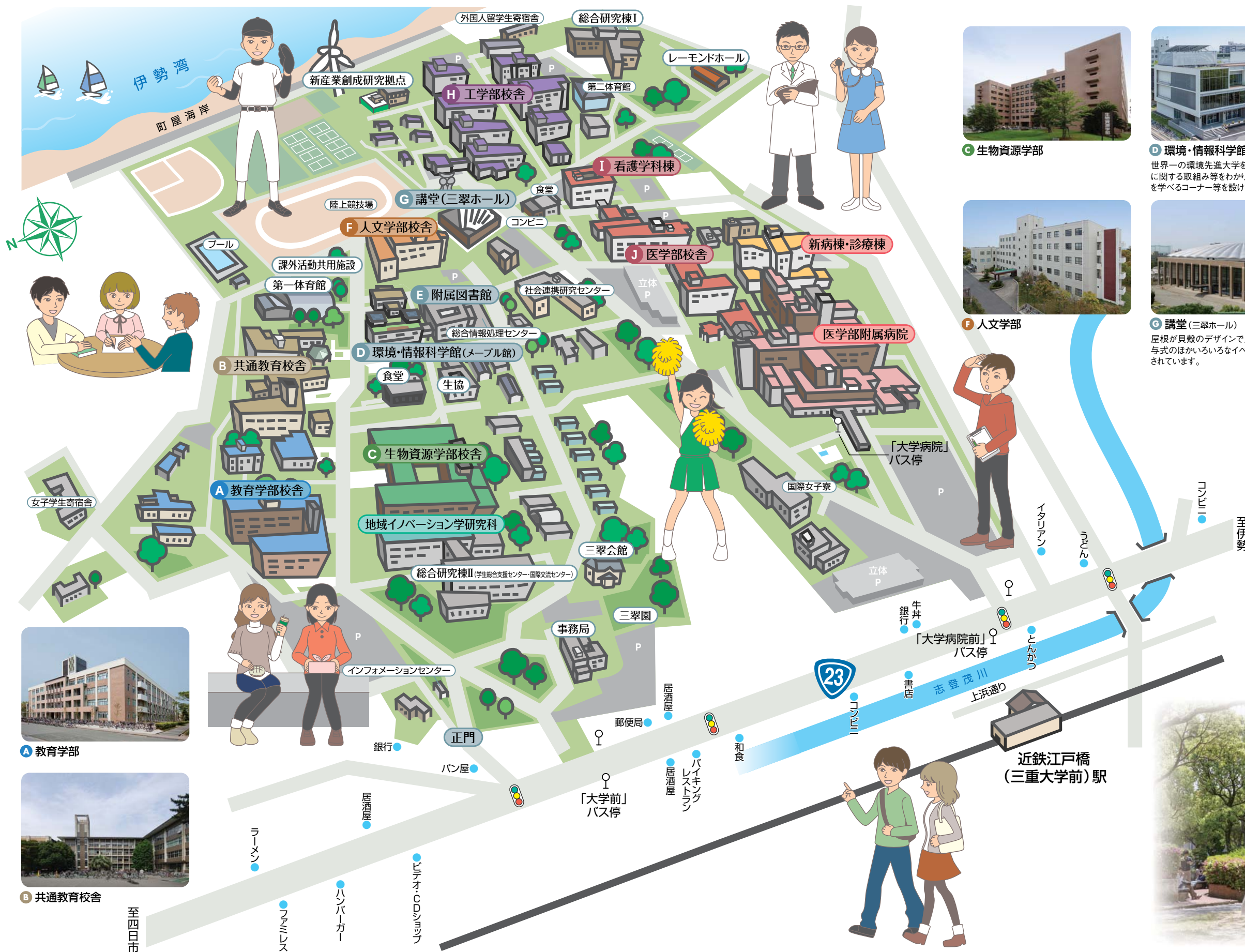
学べる内容	
人文学部 P21～P24	文化学科
	日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカの文化について、言語・文学・思想・歴史・社会・民族・地誌・環境等の視点から研究します。
	法律経済学科
	法学・政治学・経済学・経営学の学習を通して、現代社会の抱える諸問題の解決に取り組めます。また、専門的知識を獲得することにより、複雑で高度に専門化した現代社会に対する的確な判断力・対応力を身につけます。
教育学部 P25～P30	学校教育教員養成課程
	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、幼稚園の教員としてふさわしい専門的知識と指導力を身につけます。
	人間発達科学課程
	「現実的教育問題解決能力を育成する」観点から、教育現場での活動を行う人間発達実地研究や基本的コミュニケーション能力育成のためのコミュニケーション実習などを学びます。
医学部 P31～P34	医学科
	生命医科学研究を実践する能力を涵養し、医療、保健、福祉の担い手となる力を修得します。地域基盤型の実習を通して医療と社会の関係を学び、国際的な学習環境のなかで広い視野を身につけます。
	看護学科
	看護の定義や役割、問題解決思考を学習し、看護学の実践者としての基礎を学びます。あらゆる健康レベルにある個人・家族・地域社会に対する看護を実践できるよう、専門知識や看護技術、コミュニケーション技術を修得します。
工学部 P35～P42	機械工学科
	先進的ものづくりに必要な機械工学に関する講義と実技を通して、基礎（機械力学、熱力学、流体力学、材料力学、量子力学等）、応用（設計、生産加工等）、新分野（ロボット工学、生体力学、環境エネルギー機械等）が学べます。
	電気電子工学科
	テレビ、ディスプレイなどの電子機器、自動車、携帯電話などの通信技術、ロボット技術、太陽電池やナノテクなどの最先端技術など、今日の生活を支える様々な産業分野で活躍するために必要なエレクトロニクスに関する基礎的知識・技術が習得できます。
	分子素材工学科
	新物質・新素材を開発して科学技術を発展させ、社会に貢献するために必要な、化学の基礎と実験法を学びます。これによって、エネルギー、環境、バイオ、医療などの分野に役立つ知識と実践力を身につけることができます。
建築学科	建築スケールから都市スケールに至る生活空間を対象に、建築の設計に必要な専門知識（建築計画分野、建築構造・材料工学分野、建築環境設備工学分野）の習得、建築設計図面や建築模型の製作技術の習得をめざします。
	情報工学科
	コンピュータの仕組み（ハードウェア）や、コンピュータを用いた情報処理技術（アルゴリズムの設計とプログラミング）を学びます。企業などで、すぐに使える即戦力となる、高度な技術習得をめざします。
生物資源学部 P43～P48	物理工学科
	近年多方面から注目されているナノテクノロジーを理解するための物理学を学ぶとともに、機械設計・製図、電気電子回路といった機械工学、電気電子工学の基礎科目を習得することができます。
	資源循環学科
	生物資源の持続的利用と循環型社会の実現をめざしています。分子などのミクロレベルから人間の社会活動といったマクロレベルまでの循環について、生物、化学、物理、経済学的な視点から学び研究できます。
	共生環境学科
	自然と共存できる環境の保全・修復の理論と技術開発をめざした教育研究活動を行っています。環境に配慮した新素材やエネルギー問題、国土デザインや防災など、自然と調和した地球環境を考える研究をしています。
	生物圏生命科学科
	生命科学の基礎と生物生産に関する応用技術の開発をめざした教育研究活動を行っています。遺伝子レベル・細胞レベルでの生命活動の仕組みから、動植物の行動や生態までをふくめて、広く"いのち"について研究しています。

取得可能な免許・資格

【教員免許】 ● 中学校教諭一種（国語・社会・英語） ● 高等学校教諭一種（国語・地理歴史・公民・英語） 【その他】 ● 図書館司書 ● 学校図書館司書教諭 ● 学芸員	P22
	P23
【教員免許】 ● 幼稚園教諭一種 ● 小学校教諭一種 ● 中学校教諭一種（国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語） ● 高等学校教諭一種（国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・情報・工業・英語） ● 特別支援学校教諭一種 【その他】 ● 学校図書館司書教諭 ● 学芸員 ● 認定心理士（人間発達科学コースに限る）	P28
	P29
【受験可能な国家資格】 ● 医師	P32
【受験可能な国家資格】 ● 看護師 ● 保健師（選択科目履修） ● 助産師（選択科目履修） 【取得可能な免許】 ● 養護教諭二種	P33
【実務経験年数等により取得できる資格】 ● ボイラー・タービン主任技術者（1種、2種） ● 安全管理者 ● 技術士	P36
【卒業すれば資格取得が有利になるもの】 ● 電気主任技術者（試験科目免除） ● 電気通信主任技術者（試験科目一部免除） ● 無線従事者免許 【実務経験年数等により取得できる資格】 ● 安全管理者 ● 技術士	P37
【卒業すれば資格取得出来るもの】 ● 毒物劇物取扱責任者 【実務経験年数等により取得できる資格】 ● 安全管理者 ● 技術士	P38
【卒業すれば資格取得が有利になるもの】 ● 二級建築士（受験資格） ● 木造建築士（受験資格） 【実務経験年数等により取得できる資格】 ● 一級建築士（受験資格） ● 安全管理者 ● 技術士	P39
【卒業すれば資格取得が有利になるもの】 ● 情報処理技術者試験（基本情報技術者、応用情報技術者、データベーススペシャリスト 他） 【実務経験年数等により取得できる資格】 ● 安全管理者 ● 技術士	P40
【実務経験年数等により取得できる資格】 ● 安全管理者 ● 技術士	P41
【教員免許】 ● 高等学校教諭一種（理科・農業） 【その他】 ● 食品衛生管理者 ● 食品衛生監視員 ● 樹木医補 ● 学芸員	P44
【教員免許】 ● 高等学校教諭一種（理科・農業） 【その他】 ● 測量士補 ● 樹木医補 ● 修習技術者（JABEE）（地域保全工学講座） ● 学芸員	P45
【教員免許】 ● 高等学校教諭一種（理科・農業・水産） 【その他】 ● 食品衛生管理者 ● 食品衛生監視員 ● 樹木医補 ● 学芸員	P46

※資格等は、卒業に伴い取得出来るものではありません、詳しくは該当学部にご相談ください。

CAMPUS MAP



C 生物資源学部



D 環境・情報科学館 (メープル館)

世界一の環境先進大学を目指すために、環境に関する取り組み等をわかりやすく展示し、環境を学べるコーナー等を設けています。



E 附属図書館



F 人文学部



G 講堂 (三翠ホール)

屋根が貝殻のデザインで入学式や学位記授与式のほかいろいろなイベント会場として利用されています。



H 工学部



I 看護学科棟



J 医学部



1.PBLって何？

講義中心ではなく、学生の主体的な学習が中心の授業です。
教員は、学生の学習を支援し、議論を活性化する役割を担います。
PBL：Problem-based Learning;Project-based Learning

PBLの主な授業タイプの紹介

1. 問題提示型PBL
(事例シナリオ活用を含む)

学習の契機になる問題との出会いを教員が提示することによって学習が展開します。
学習課題の設定や学習の進行は学生の自己決定によります。
多人数あるいは少人数での授業、事例シナリオを活用した授業などの形態があります。

2. 問題自己設定型PBL

学習の契機になる問題も学習課題もすべて学生自身が設定することによって学習が展開していきます。共通教育授業、専門指向型授業のどちらでも可能です。またグループ全体で問題を探求したり、あるいは個人毎に探求する形態もあります。

3. プロジェクト型PBL

学内外の要請や課題設定に基づいて、ある企画の遂行・達成をめざして問題解決的な学習を行います。つまり問題解決及び課題達成の志向性が強く、企画や課題の内容や遂行方法によって、イベントなどの課題実践遂行タイプ、制作やものづくりを課題とするタイプ、問題解決のための提案をしていくタイプなどがあります。

4. 実地体験型PBL

様々な場での実地体験を通して、問題との出会い、問題・課題の発見、問題解決を進める学習です。ただし、何よりも体験することに重きを置いているため、問題解決の成果をもとめるよりも、実地での体験を重視します。主眼とする学習内容によって、学習課題の発見を重視するタイプ、専門的な基礎技能を習得するタイプ、実際の問題解決過程に参加するタイプなどがあります。

PBLの特徴は？

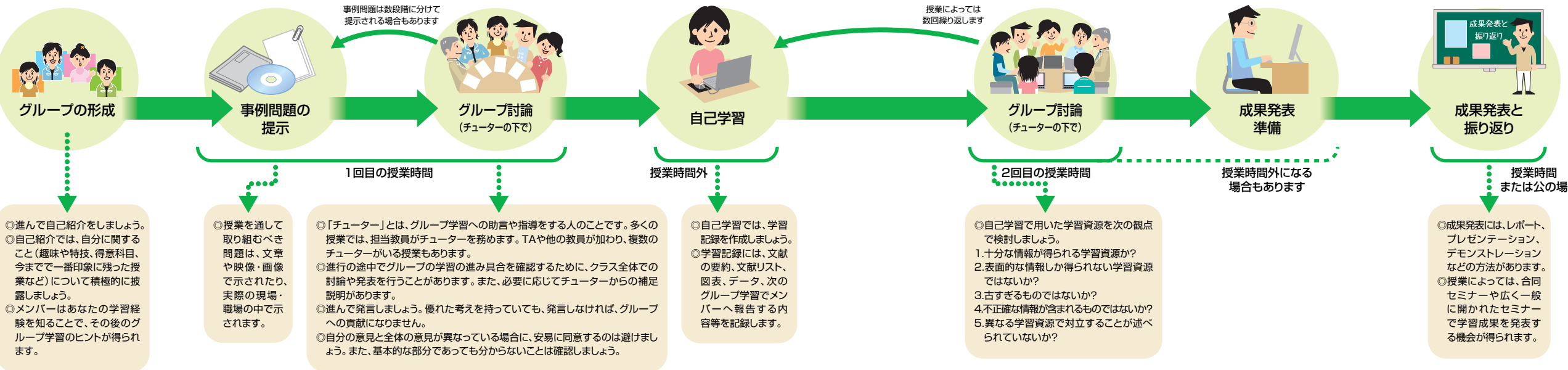
- PBL授業は、次のような点が特徴です。
- 数人の学生で1つのグループを作り、学習に取り組む
 - 予備知識に関わらず取り組むべき問題事例が示される
 - グループで問題解決のための学習計画を立てる
 - 授業時間外に個人で自己学習を進める
 - 学習に必要な学習資源(文献・資料)も自分で適切なものを選択する



PBL授業での学習の進め方

PBL授業を受けた学生から、「仲間が増えた」「プレゼンがうくなった」「自分で調べ物ができるようになった」「学習が楽しくなった」という声が聞かれます。
なぜでしょうか?その主なものとして、PBLは学生が主役の授業形態であることがあげられます。

PBLでの学習の進め方一例



2.eラーニングと eコミュニケーション

コンピュータやネットワークを利用して教育を行うことをeラーニングといいます。eラーニングは英会話学校などがインターネットを通じて教育サービスを提供しているほか、企業の社内研修、予備校の録画授業でも用いられています。

本学では、対面型の授業だけでなく、「ムードル」(Moodle)というツールを使って、ネットを活用したeラーニングやeコミュニケーションを進めています。ムードルを使えば、自宅から授業の資料を見たり、レポートを提出したりできます。また、ムードルのフォーラム(電子掲示板)やチャットで、学生どうし、学生と先生が、どこからでもコミュニケーションできます。

3.TOEICを用いた実践的な英語の授業！

TOEICとは！

- ◎Test of English for International Communication の頭文字をとって表記したものです。
- ◎英語によるコミュニケーション能力を客観的に判定する世界共通のテストで、全世界120カ国で実施、約600万人(日本227万人)が受験しています。
- ◎企業の新人採用、人事考課時の昇進・海外要員の選別、社内研修の成果指標として、ほかいろいろな場面の評価指標として採用されています。
- ◎TOEICは1問がおおよそ5点で、満点はリスニング495点、リーディング495点で、全体では990点が満点となります。

三重大大学の実践的英語カリキュラムとは！

- ◎実践的な英語力の育成、客観的評価基準の設定のため、TOEICを採用
- ◎1年生で必修6単位分の英語を集中的に履修
- ◎有機的に結びついた3種類の授業
 - 「英語 I TOEIC」：TOEICにおいて高得点を取ることができる英語力の養成
 - 「英語 I 大学基礎」：大学レベルで必要な文法、読解力を養成
 - 「英語 I コミュニケーション」：英語コミュニケーション力を養成
- ◎「英語 I TOEIC」の成績はTOEICスコアによる
- ◎必修の英語の授業は、全て4月入学時に実施されるTOEICによるプレースメントテストにより、習熟度別にクラス分け
- ◎入学時に習熟度の高い学生は、1年次から選択の英語を履修することが可能
- ◎E-learning システムの導入

語学e-learningシステム

- 語学e-learningシステムには学外からのアクセスも可能です。自宅などで積極的に利用して学習を進めてください。
- リスニング、リーディング、TOEIC演習など、さまざまなメニューが用意されていますので、自分のレベルに応じた英語学習が可能です。

共通教育

1.共通教育への誘い

本学には、学部別に行われる専門教育ばかりではなく、全学向けに行われる共通教育があります。共通教育では、専門につながる基礎的な学力と、分野にとらわれない幅広い教養および豊かな人間性を身につけられるような科目が準備されています。

本学が学生に身につけてもらいたいと願っている能力は、「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、および総合力としての「生きる力」です。私たちはこれらを「4つの力」と呼んでいます。自分が置かれた状況の中から課題を発見する「感じる力」を研ぎ澄まし、さまざまな学問的なツールを用いて解決する「考える力」を養い、人々とのかわりあいを通して「コミュニケーション力」を磨きます。このようにして、「生きる力」が養われていきます。

共通教育では、この「4つの力」を身につけるために、さまざまなプログラムを準備しています。新入生向けには、「4つの力」スタートアップセミナーと呼ばれるクラス指定の授業が行われています。このプログラムは、本学が皆さんに獲得してもらいたい「4つの力」とは何かを教え、グループワークを通して、実践的にその能力を獲得するきっかけを得させるものです。このセミナーを受講して、「4つの力」の基本を学んでください。

このセミナーを通して身につけた基本を、生涯にわたる人生設計に結びつけるために、「キャリアプランニング」などの科目を受講してください。キャリア形成のための能力を伸ばしたい人は、実践を重ねながらキャリア・ピア・サポーターの学内資格を得るための関連科目が準備されています。

本学の特色ある科目として注目を浴びている、PBLセミナーと呼ばれる問題発見解決型セミナーもお勧めです。受講生は、週2回の授業で、グループワークを通して問題を発見・解決し、その成果を公開報告会で発表します。また、環境資格を獲得したい人のためには、環境資格支援プログラムがあります。TOEICを用いた英語クラスを活用して、実践英語力を養うことも、いろいろな分野の授業を英語で学ぶことも可能です。また、国際社会で活躍するための語学力を、中国語、ドイツ語、フランス語などのクラスを利用して身につけることができます。最新の情報セキュリティや情報倫理を学ぶことも、体育を通して心身の健康を育むこともできます。

本学の共通教育を通して、「4つの力」を形成するための主体的学習習慣を身につけてください。そして、その成果を専門研究に生かし、卒業後のキャリアにつなげてください。本学は、あなたの能力や可能性を引き出し、伸ばす機会を惜しみなく提供していますので、意欲的にチャレンジして下さることを願っています。

専門教育と共通教育の「くさび型」履修

入学後2年間の共通教育を受けた後に、専門教育を履修する旧来のシステムではなく、共通教育中心の初年度から徐々に専門教育科目が増加する「くさび型」の履修システムをとっています。あなたの問題意識にしたがって、計画的に共通教育と専門教育の履修が可能です。

4年間のカリキュラムイメージ (生物資源学部例)

1年次	2年次	3年次	4年次
統合教育 外国語教育 基礎教育 保健体育	統合教育 外国語教育 基礎教育	統合教育 講座必修 選択科目 (教職科目) 自由科目	統合教育 講座必修
学部必修 学科必修	学科必修 講座必修 選択科目 自由科目	自由科目 卒業研究準備	卒業研究

共通教育 専門教育 卒業教育

- 共通教育とは：学部を超えて全学的に提供される教育
 - 1. 専門につながる基礎教育
 - 2. 幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を養う教育



2.大学での学習習慣・スキルを身につけるための授業

「4つの力」スタートアップセミナー

三重大大学では、平成21年度より、新入生向け前期週1コマの「4つの力」スタートアップセミナーを開講しています。
この授業を履修することによって、以下のような姿勢・能力・スキルを身につけることができます。
このようなセミナーは、時代の要請をふまえた、全国的に見ても先進的な試みです。

主体的な学習姿勢

大学においては、ただ授業に出席するだけではなく、自ら主体的に知識を獲得しようとする能動的な学習態度が求められます。学生は、共通教育で行われている「4つの力」スタートアップセミナーやPBLセミナーといった能動的な学習をきっかけにして、専門科目における各種の授業、さらには課外活動においても、自ら「4つの力」を獲得しようとする姿勢を身につけます。

例えば、「4つの力」スタートアップセミナーでは、半期の間にグループでプロジェクト活動を進めます。学生は、自ら目標を設定し、学習について振り返り、自律的に学習を進めていく習慣を身につけていきます。これらは、今後の大学生活だけでなく、社会に出てからも必要とされる姿勢・能力・スキルです。

社会の一員として自他ともに成長を目指す姿勢

大学においては、個人としての能力向上を目指すだけではなく、社会の一員としての自覚を持つ必要があります。「4つの力」スタートアップセミナーでは、さまざまなグループ活動を通して、異なった意見や価値観を尊重しながら、建設的な提案をする共感的態度を身につけます。

「4つの力」を獲得しようとする姿勢

三重大大学の教育目標である「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」、「生きる力」とは何かを理解し、「4つの力」スタートアップセミナーにおける実践を通して、他の授業や課外活動を通して、自ら「4つの力」を獲得しようとする姿勢を身につけます。

大学で学ぶ基本的な学習スキル

大学で学習をする上で、基本的な学習スキルが必要となってきます。「4つの力」スタートアップセミナーでは、アイデアの発想方法、情報の集め方、情報を批判的に検討・解釈する方法、ディスカッションの方法、レポートの書き方、プレゼンテーションの技法などを身につけることができます。

3.三重大スタイル【特色ある共通教育プログラム】

PBLセミナー (Problem-Based Learning Seminar; Project-Based Learning Seminar)

PBLセミナーは、学生が小グループで主体的に取り組んで、問題を発見・解決をしたり、プロジェクトを遂行したりするセミナーです。世界におけるPBL教育の最先端の成果を取り入れ、4つの力をバランスよく伸ばすために、次のような特徴を持たせています。

- ① 能動的学習
学生が主体的に取り組む、教員はファシリテーター（協力者）となります。
- ② グループ学習
学生は小グループの中で議論を重ねながら学習をします。
- ③ ゆとりある学習時間
能動的学習やグループ学習を保证するため、週2コマが確保されています。
- ④ 公開発表
PBLの成果を「PBLカフェ」と呼ばれる公開の発表会で報告します。



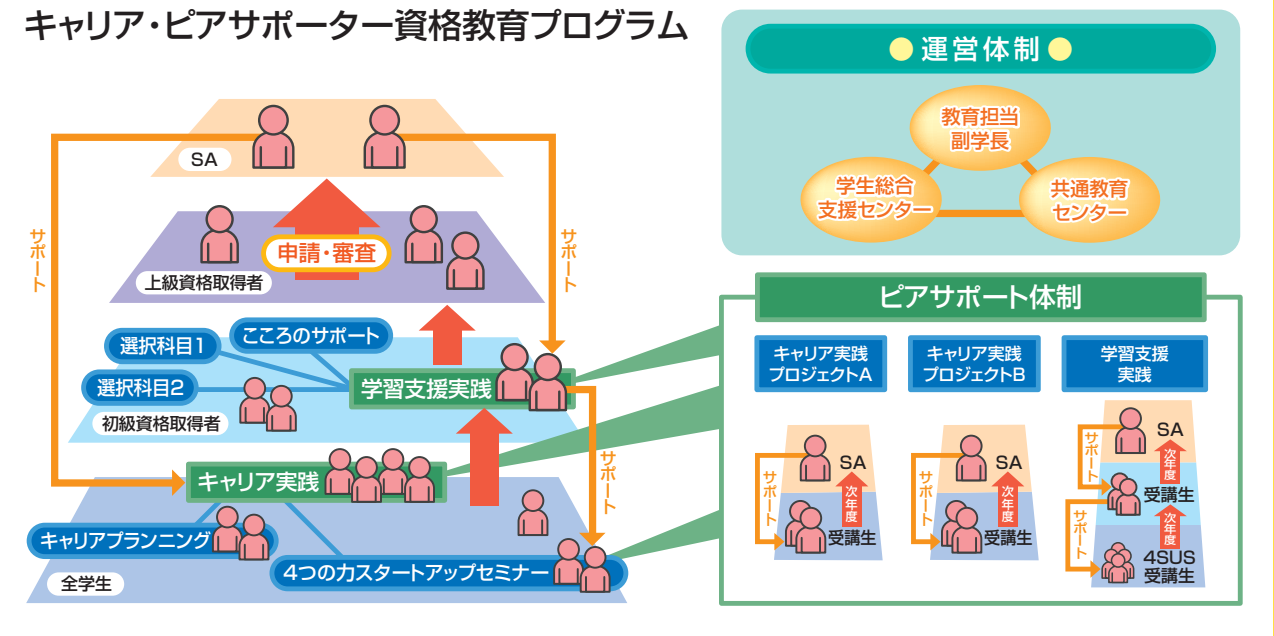
キャリア・ピアサポーター資格養成プログラム～「生きる力」を備えた職業人養成にむけて～

共通教育では、すべての科目が、「4つの力」養成にかかわるようにカリキュラムが組まれています。その中で、総合力としての「生きる力」を1年の時から系統的に身につけるために、キャリア・ピアサポーター資格養成プログラム（主題I）を設けています。

初年次には、「4つのカスタートアップセミナー」に加えて、自分を知り、将来にわたるキャリア計画を立てる「キャリアプランニング」、および学内外の実践的な業務遂行を通して実践力を身につける「キャリア実践」科目を履修することにより、キャリア・ピアサポーター初級資格を取ることができます。さらに、「4つのカスタートアップセミナー」の授業のファシリテーター実践や、心のサポートを行う基礎知識を身につける科目を履修し、諸要件を満たすことによって、上級資格を獲得することができます。上級資格取得者は、共通教育の提供する授業や補習のSA（チューデント・アシスタント）につく資格を持ち、履歴や実践力を通して就職に生かすことができます。

選択科目として準備されている「キャリアインターンシップ」は、初年次から受講可能であり、キャリア形成のために積極的に活用されています。

キャリア・ピアサポーター資格教育プログラム



4つの力を伸ばす
多彩な授業

統合教育科目	総合科目	■ 主題A 社会のしくみ ■ 主題B 感性を磨く言語と芸術 ■ 主題C 情報化社会と数理科学 ■ 主題D 自然は生きている ■ 主題E 国際理解と異文化接触	■ 主題F 心と体を見つめなおす ■ 主題G 環境と持続発展教育 ■ 主題H 英語等による国際教育科目 ■ 主題I 生きる力とキャリア形成
	通常科目	※それぞれの主題は、様々なテーマ別の区分であり、かつ一定の知的領域の区分を示す。	
	共通セミナー PBLセミナー		
外国語教育科目	既習外国語（英語） 未習外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語）		
保健体育教育科目	スポーツ健康学実習、スポーツ健康学概論、スポーツ実習		
基礎教育科目	情報科学、理系基礎科目（数学、統計学、物理学、化学、生物学、地学）		

3.三重大スタイル【特色ある共通教育プログラム】

大学にしながら留学体験！…英語等による国際教育科目(主題H)

英語等で行われる授業が、主題Hとして設けられています。その分野は「日本の社会と文化」、「三重の社会と文化」、「異文化間コミュニケーション」、「自己発見と自己表現」、「環境問題と地球」、「英語による論文作成演習」、「英語による口頭発表演習」など、多岐にわたります。日本にしながら、英語等の講義を通して多様な分野の知識を獲得することができます。

また、「海外英語研修」や「海外ドイツ語研修」など、海外における語学研修を組みこんだ授業も開設されています。

実践的な外国語教育

語学力を高めるだけでなく、異文化に触れ、外国の考え方を理解する糸口となる国際的なコミュニケーション力を育成するために、実践的な外国語教育を行っています。英語では、習熟度別クラス編成を行っており、TOEICテストで評価しています。インターネットを用いた自習システムを採用しており、授業と並行してTOEICスコアを上げるための自習を行います。ドイツ語ではドイツ語技能検定試験を、中国語では中国語検定試験を導入しています。ドイツ語、フランス語では、会話クラスなどにより、実践的な能力の習得を目指します。また、中級・上級クラスでは、より発展的な学習を行うことができます。

最新の情報セキュリティ・情報倫理教育

コンピュータとインターネットの急速な発展により、情報セキュリティ、情報倫理の教育の重要性が増しています。最新の情報セキュリティと情報倫理について、総合情報処理センターによる共通テキストを用いて、全学的な必須学習内容として教育を行います。



幅広い職業人を養成する全学的教育プログラム

2005年に「キャリア支援センター」を設置し、就業力、職業観を育成するキャリア教育に取り組んできたのが本学です。「考える力、感じる力、コミュニケーション力を通して生きる力を養成する」という教育方針のもと、さまざまな試みが行われています。その目的は学生の自立性と社会性を育てることです。

それを具現化するのが、多彩な共通教育プログラムです。新生が必修受講する「4つの力 スタートアップセミナー」は、課題発見から解決、実行までの流れをグループワークで学びます。また、大学そのものを一つの社会ととらえ、学生が学生を支援することで社会性を身につける特徴的な試みが「キャリア・ピアサポーター資格教育プログラム」です。キャリア実践科目など教養科目を履修した上級生が、下級生の学習支援に当たります。「学生が学生を支援するプログラムを通して、社会性と自立性をバランスよく身につけ、自他ともに成長を目指す幅広い職業人を養成していく」と学生総合支援担当副学長。

サポートの質を保証するため学内資格を設け、多数の学生が資格を取得しました。共同発表の場を設けるなど、学生を輝かせる舞台を作り上げ、本学オリジナルの就業力育成に結びつけています。

持続発展教育(ESD)プログラム

環境問題は経済活動や人々の生活と密接に関連しています。早急な社会的覚醒と政策的対応が求められており、世界は国際的に活躍する環境人財を必要としています。このプログラムは、そうした時代の要請に応じて、環境意識と環境資格を備えた人財の育成を念頭に構成されています。在学中に取得できる能力や資格は限られていますが、自ら目標を立て将来的に付加価値を高めていくことで「生きる力」を身につけることができます。

三重大独自の環境教育を通して、環境に関わる三重大の環境リソースを最大限に活用し、地球規模の視野を持ち、世界や地域で活躍する人財を育て、その中では環境活動への実践的な取組方法や環境関連の資格取得のための効果的な学習等ができるように考えられています。

このプログラムが指定する科目を履修した学生には「持続発展教育(ESD)プログラム修了証」が授与され、本学における一定の環境関連知識習得の証明となります。修了証明書も発行でき、履歴書への記載などにより就職活動等にも役立てることができます。

インターンシップの整備

授業やセミナーばかりではなく、社会の現場で体験を通して学ぶインターンシップを準備しています。キャリアについて実践を行うキャリアインターンシップ、環境保全活動を実践する環境インターンシップ、海外で体験を行う国際環境インターンシップが共通教育の単位としても認定されます。

学部・学科紹介

人文学部

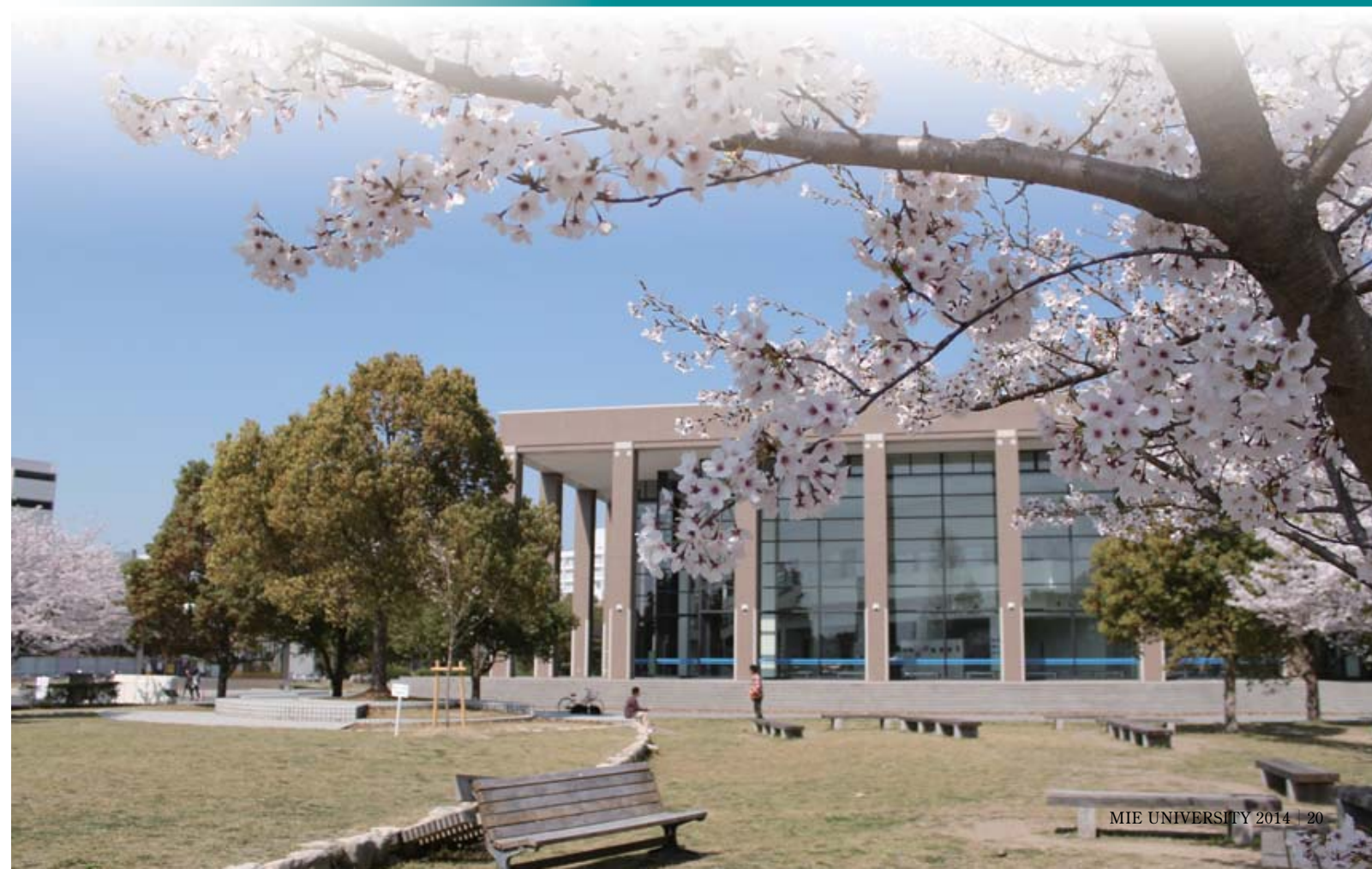
教育学部

医学部

工学部

生物資源学部

大学院 地域イノベーション学研究科



人文学部

文化学科

法律経済学科



知識欲を満たす2学科の扉が開く

第二次世界大戦での敗戦の廃墟のなかから経済成長した日本は、20世紀の後半に世界第二位の経済大国となりました。21世紀の今、中国が「世界の工場」となりつつあり、食糧や環境、平和等といった、諸国民が共同で解決すべき問題が差し迫ったものとなっています。言い換えれば、日本と世界の、そして人間の文化と社会が大きな激動を経験しています。こうしたなか、人文学部での研究と教育がますます重要となっています。文化学科では、日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海およびアメリカといった各地域についての理解を深めます。法律経済学科では、法律、政治、経済および経営を学び、国際法等のグローバルな、そして、地方財政等といったローカルな問題が教授されています。人文学部は、世界の各地域の特色とそれらの交流という視点とグローバルからローカルまでの課題への挑戦という観点から、専門を軸に、人間の文化と社会を立体的横断的に学びそして研究する可能性をもってしています。1983年に発足した人文学部は2013年に30周年を迎えます。30周年に向けて、人文学部は、その特色を活かして、人間の文化と社会についての知識の探求と課題の発信に挑戦していこうとしています。



人文学部長
樹神 成

アドミッション・ポリシー

“このような人を求めます”

- ◎人間の文化、または、社会の動きやしぐみに強い関心・好奇心を持っている人。
- ◎積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- ◎現代社会における諸問題を理解し、解決策を探索しようとする意欲がある人。
- ◎そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持ち、これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

“このような人を育てます”

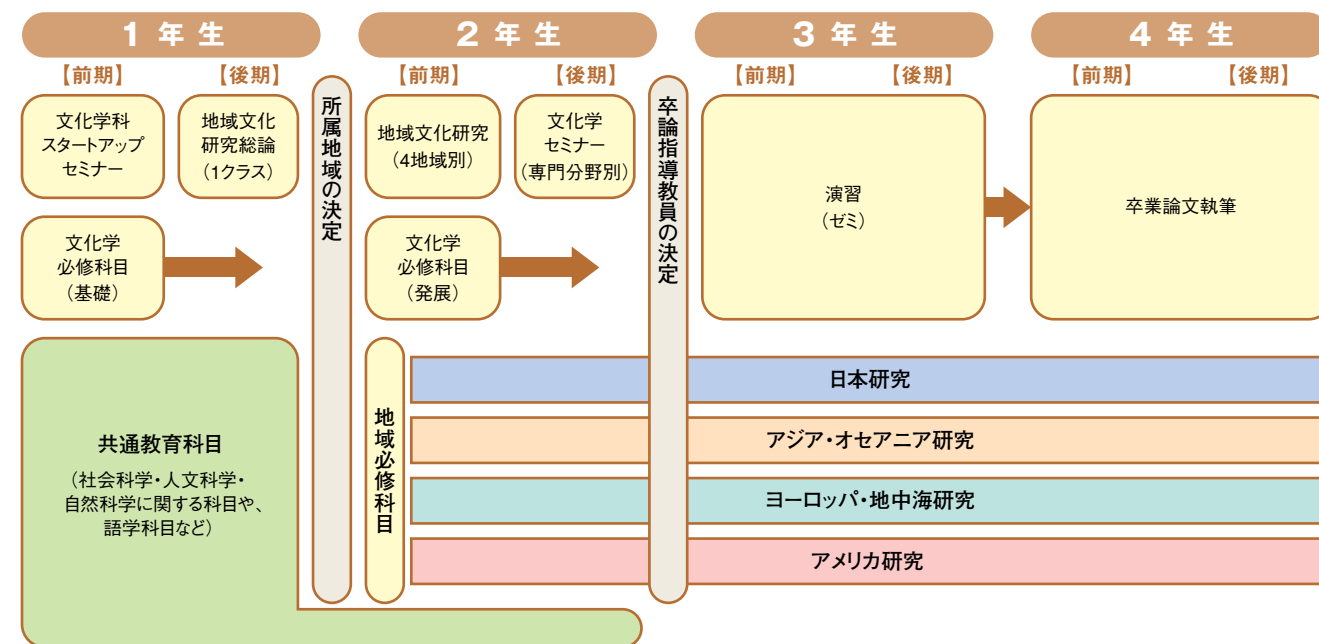
人文学部は、人間が創り出してきた文化や社会を、より広く深く理解するための多様な知的探求を行います。

人文科学や社会科学のさまざまな研究分野にふれ、それらの理論にもとづき、人間社会のかかえる問題を見いだす“感性”を、その問題の適切な解決へのアプローチを学ぶことによって、分野の壁をこえて文化や社会をとらえる総合的な視点や、古い枠にとらわれない“思考力”を育てます。また、このような学びの場を通じて、現代社会を“生きぬく”ための知的立脚点の獲得をめざします。そして、いつの時代にも変わらぬ人間の本質を見つめつつ、複雑化する現代世界と激しく変化する人間社会を正しく認識し、次々と生じる問題に立ち向かい創造性あふれる提言ができる“コミュニケーション力”を培います。卒業後は、企業、官庁、教育界からNPO、起業などの新たな分野に至るまで、地域においても国際的にも幅広く活躍できる人材を育成します。

文化学科

さまざまな地域の文化について、言語、文学、哲学・思想、歴史、社会、地誌など人文科学の観点から研究します。1年次末に、4つの地域—日本、アジア・オセアニア、ヨーロッパ・地中海、アメリカ—のいずれかを研究対象地域として選びます。2年次以降、その地域の文化について幅広く学びます。同時に深く専門的に研究するために、2年次後期には人文科学の専門分野を決めます。ある地域の文化を多面的・総合的に学ぶことを、専門性を高めることで強化する、それが文化学科のカリキュラムの考え方です。

文化学科教育カリキュラム



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【アジア・オセアニア思想演習】 (サンスクリット語文法)

サンスクリット語はインドの古典語です。インドの思想や文化を知るためには不可欠な言語ですが、東アジア・東南アジアをはじめ、他地域にも大きな影響を及ぼしました。また、ヨーロッパの諸言語の起源とも深い関係があります。

この授業では、サンスクリット語の文字と文法を学び、基本的な文章の読解能力を身につけます。

サンスクリット文字を書いてみる



★STRONG POINTS★ 文化学科のここに注目!

現地に出向いての実践的演習 — 生の文化財に触れる学び —

三重県には歴史的文化財や文芸資料が豊富に遺されており、日本の地域文化を研究する格好の地です。大学で基礎的な技能を学んだ上で、文化財調査や遺跡発掘、聞き取り調査などを、地元の人たちと一緒にしています。こうした経験を活かして、行政の文化財担当や学芸員として働く卒業生もいます。

県立博物館にて、市民グループと共同で行った横の下貼り古文書の調査風景



法律経済学科

法学・政治学・経済学・経営学の学習を通して、現代社会の抱える諸問題の解決に取り組みます。また、専門的知識を獲得することにより、複雑で高度に専門化した現代社会に対する的確な判断力・対応力を身につけます。基礎総合・専門基礎科目などを学んだ後、2年次前期末には3年次から所属するゼミを選択し、それに応じて法政コース・現代経済コースへの所属が決定します。

学びの特色

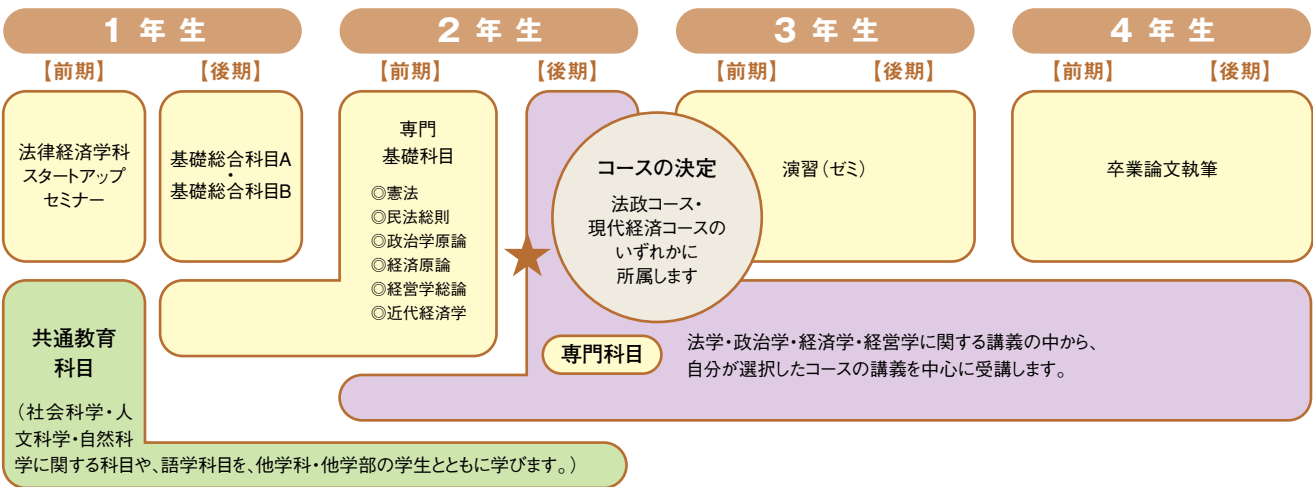
専門性と学際性を兼ね備えつつ、積極的な学びを進めます

1年前期に法律経済学科スタートアップセミナー、後期には法学・政治学・経済学・経営学の基礎的学習を進めます。こうした総合的な学びを通じて、現代社会の諸課題を把握し学際性を身につけます。2年前期には本格的な専門学習に入り、後期に専門分野を確定します。学際性を基礎に専門性を高めることで能力向上を図っています。

主体性・問題解決能力形成を目指した学びを進めます

初年度からの積極的な小集団教育により、主体的学習能力の早期形成を重視しています。専門学習では論理的思考力や問題解決能力の形成を重視し、3年専門演習では集団的学習成果を論文としてまとめ『学生論集』にて公表しています。個人研究成果である卒業論文とあわせて、社会で求められる主体的な能力形成を目指しています。

法律経済学科教育カリキュラム



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

特殊講義【コーポレートファイナンス】

日本政策金融公庫の役職員による授業です。身近な中小企業におけるコーポレートファイナンスを中心とした講義で、将来の企業経営者やマネージャー、あるいは金融機関職員、税理士、中小企業診断士等事業支援者としての役割を果たしていく上で基礎となる知識や考え方を学ぶことができます。



★STRONG POINTS★ 法律経済学科のここに注目!

履修プログラム

選択したゼミに応じて、コースのほか履修プログラムが決まります。各コースに設けられた履修モデルのようなもので、このモデルに従って受講することにより、系統的な学習が可能です。あくまでも学習計画に指針を与えるものであり、学ぶ自由を束縛するものではありません。法律だけ、経済だけというのではなく、多様な学問分野を学べるのが、法律経済学科の特徴です。

法政コース

法学や政治学といった学問分野を中心に学びます。

統治システム履修プログラム

憲法、政治学原論、行政学、行政法、国際関係論など国内外の統治システムに関わる専門科目からなっています。

生活法システム履修プログラム

民法、商法、刑法、民事訴訟法など日常生活と関わる法分野と、法哲学や法思想史などの基礎法学からなっています。

現代経済コース

経済学や経営学といった学問分野を中心に学びます。

地域経済履修プログラム

マクロ経済、ミクロ経済などの経済の基本的な仕組みに関する専門科目と、経済政策、福祉経済などの具体的な経済問題に関する専門科目からなっています。

企業経営履修プログラム

経営学総論、会計学、マーケティング論など企業経営を理解するための科目と、経済原論、金融論、日本経済史など企業環境を正しく読み解くための専門科目からなっています。

将来のVISION ～人文学部で目指す主な進路～

進学・就職状況 / 過去2年間の卒業生の進路

人文学部は、これまでに7,000人近い卒業生を送りだし、初めの頃の卒業生からは、各方面で社会の中堅として活躍しているとの便りが届いています。卒業生の進路は、極めて幅広く、主に一般企業・公務員・教員の3方面に分かれますが、大学院に進学する人もいます。最も多く就職するのは一般企業で、その分野は、製造業・情報サービス・卸小売業・金融保険業・建築業・運輸通信など多様です。就職先の地域別割合は、県内が2～3割、東海地域が4～5割で、地域に根を下ろした本学部の特徴が表れています。

【一般企業】

三菱重工、積水ハウス、住友電装、トヨタコミュニケーションシステム、三重交通、東海旅客鉄道、東日本旅客鉄道、名鉄運輸、メディカルー光、八神製作所、ジェイアール東海高島屋、百五銀行、三重銀行、第三銀行、大和証券、岡三証券、東京海上日動火災保険、日本興亜損害保険、日本生命保険相互会社、損害保険ジャパン、長島観光開発、JA鈴鹿、郵便局

【公務員関係】

名古屋国税局、愛知県警、三重県警、三重刑務所、愛知県庁、三重県庁、青森県庁、津市役所、桑名市役所、四日市市役所、鈴鹿市役所、伊賀市役所、松阪市役所、鳥羽市役所、刈谷市役所、神戸市役所、岩倉市役所、今治市役所

【教員・その他】

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、大学職員、専門学校職員

【大学院進学】

三重大大学院、名古屋大学大学院、北海道大学大学院、京都大学大学院、名古屋市立大学大学院、関西学院大学大学院、同志社大学大学院、南山大学法科大学院

大学院で学ぶ

人文社会科学研究科は、人文社会科学の諸分野における高度の専門知識に基づき、狭い専門領域にとらわれず、学際的、総合的な教育研究を行うことにより、複雑化、多様化する現代社会に柔軟に対応でき、創造的な知性と国際的な視野をもった研究者及び専門的職業人を育成することを目指します。

大学院人文社会科学研究科

地域文化論専攻 (修士課程・2年間)

◎地域社会文化論専修

歴史学、思想、社会学、地理学、図書館情報学および環境学等の授業科目を広く提供することにより、日本、アジア、オセアニア、ヨーロッパ、アメリカの諸地域における社会と文化について教育研究を行います。

◎地域言語文化論専修

日本、中国およびその周辺、ヨーロッパ、アメリカの言語と文学に関する授業科目を幅広く提供することにより、それぞれの地域社会における言語文化について教育研究を行います。

社会科学専攻 (修士課程・2年間)

◎地域行政政策専修

政治学、公法学、経済学(経済理論・経済政策)に関連する授業科目を広く提供することにより、地域の公共的な政策課題に関する教育研究を行います。

◎地域経営法務専修

経営学、民事法学、経済学(経済史・経済学各論)に関連する授業科目を広く提供することにより、地域で活動する企業・NPO・市民の経済的・法的課題に関する教育研究を行います。

Student's Voice ～学生からのメッセージ～

チャレンジした分だけ新たな発見と忘れられない出会いがあります。

大学生になると、高校時代とは違い、自分の生活を自分で決めることになります。三重大大学人文学部では、入学してから専門分野を選択することができます。1年生では主に一般教養科目を学び、2年生から専門科目を受講し始めるのです。私は当初、法律を勉強しようと考えていました。しかし、一般教養科目を受講する中で経済分野に興味を湧き、2年生から始まる専門科目では経済や経営に関する講義を多く選択しました。数学が苦手だった私にとって、経済分野への興味は新鮮な発見であり、食わず嫌いだったと感じています。また、余暇の過ごし方も自分次第です。サークル活動やアルバイトなど活躍の場は様々ですが、私は国際交流活動に積極的に参加してきました。留学生サポートサークル「寺子屋」に所属し、三重大大学に留学している世界各国からの留学生と様々な交流を行ってきました。また、長期休暇を利用して、夢だったカナダへ短期留学も経験しました。こうした活動を通して多くの人と出会い、文化や価値観の違いを知ること、視野を大きく広げることが出来ました。学生生活は、自分からチャレンジしなければ何も始まりません。しかし、チャレンジした分だけ新たな発見と忘れられない出会いが待っています。みなさんもぜひ三重大大学人文学部で自分だけの有意義な4年間を過ごしましょう!



人文学部法律経済学科 4年
鈴木 里歩 さん



人とともに育ち、それを喜びとする職業人に。

まずは、大切なお知らせです。教育学部は、平成26年度に改組されます(申請中)。教員採用数の増加に対応して、学校教員養成課程の学生定員を145人から180人へと増加させます。これに伴い、情報教育課程と生涯教育課程(スポーツ健康科学コース・消費生活科学コース)は学生募集を停止します。なお改組により、学校教育教員養成課程の中に情報教育専攻を配置します。また各教科教育コースには、初等教育選修と中等教育選修を設けて学生募集をいたします。

続きまして学部紹介です。教育学部は、良識ある社会性と豊かな教養を身につけ、多様化・複雑化する今日の教育的課題に対して、適切かつ柔軟に対応できる質の高い職業人の養成を教育目標としています。

本学部は、1820年に創設された藤堂藩の藩校・有造館に源を発し、明治時代には県立三重師範有造学校、戦後は三重大学学芸学部を経て、1966年に教育学部となり今日に至っていますが、戦前・戦後を通じて三重県内を中心に幾多の有為な人材を教育界に輩出してきました。

教育学部には、教育・研究・実践の実験校として4つの附属学校園(幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校)と、教育工学や教育臨床に関わる附属教育実践総合センターがあり、それぞれに公開研究会をはじめとする各種研究会を通じて、新しい教育への取り組みを広く発信しています。



教育学部長
藤田 達生

また、本学部に隣接した諸学校園と連携協力して、学生・院生の教育実践力を高度化し支援する取り組みを進めるなど、地域に貢献する学部となるべく取り組んできました。さらには、海外の大学と連携して、語学研修や交換留学などによって教育環境を充実させ、国際社会に貢献する学部としても力強く発展しています。

アドミッション・ポリシー

“このような人を求めます”

- ◎子どもの発達や心理、教育環境(学校・地域・社会)に関心を持ち、情熱を持って教育にあたろうという意欲のある人。
- ◎総合的な基礎学力を有し、教育課題に対する専門性を高めようと努める人。
- ◎教育問題に対して関心を持ち、その解決に協同で粘り強くあたるとともに、コミュニケーション力を磨こうとする人。
- ◎自分の成長を振り返り、自己決定のもとに、よりよい学びを創りだそうと努める人。

“このような人を育てます”

- ◎教育をめぐる現実的課題について、専門的知識に基づいて適切な対応を考えることができる。
- ◎教育に関する課題を意識した実践を企画・運営し、関係者と協力して問題解決に取り組むことができる。
- ◎教育に関わる職業人に求められる使命感・責任感を持ち、異文化、多世代の人と連携・協力することができる。
- ◎自律的な学習者として、主体的に学び、振り返ることができる。

教育学部は、平成26年度に改組されます(申請中)。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の内容が変更となる可能性があります。詳細については、学部ホームページをご確認ください。

2014年、教育学部が進化する

改組のお知らせ

学校教育教員養成課程の募集人員が180人に

改組前の学校教育教員養成課程の募集人員は、145人でした。改組によって募集枠が広がり、将来教員を希望する仲間たちが増えます。

人間発達科学課程と合わせて、教育学部全体の募集人員200人は、これまでと同じです。

教育実践力を身につける

1・2年次

児童・生徒の理解を深めるカリキュラム(教員養成コア科目群)が設定されており、児童・生徒との交流を中心とした体験を通して、児童・生徒を注意深く観る姿勢を身につけます。

2年次

教育実習生(先輩)の授業を参観することで、授業運営について考え、3年次の教育実習にむけての素養を身につけます。

2・3年次

授業運営のサポート・教科指導を通して、児童・生徒の理解や教科指導について実践的な指導を受けます。

また、小学校教員をめざす学生のために、外国語活動、教育の情報化、ものづくり教育といった、近年小学校で求められている現代的な課題に応える科目を学びます。

3年次

教育実習があります。教育実習では、それまでに蓄積してきた知識と教育実践力をもとに、4週間にわたり教育現場での生徒理解・教科指導・授業運営について学ぶことができます。

4年次

授業科目「教職実践演習」などを通じて、3年次までに身につけてきた教員としての基本的な力が、確かな実践的指導力として形成されているかを確認し、教員生活のより円滑なスタートに結びつけます。

小学校教員をめざす 中学校教員をめざす

小学校教員になりたい、中学校教員になりたいといった将来の希望とそれをめざす目的意識にそって、コースや併願方法を選択できます。

専門分野の力を伸ばす

教科に関して充実した専門知識を持つことは、教科指導・授業運営の質を向上させる上で重要な要因です。本学部では、教科別コース制であるため、比較的少人数で、各専門教員による質の高い指導を受けることができ、教科に関する高い専門能力を身につけることができます。

情報教育に関心のある皆さんへ

学校教育教員養成課程に情報教育専攻を設置します。高等学校教諭一種免許状(情報)が取得できるほか、中学校や高等学校の数学の免許状が取得しやすいようにカリキュラムが設定されています。また、授業の履修を工夫することで小学校の免許状も取得できます。

2014年、教育学部が進化する

改組のお知らせ

入学試験

変わること

入学定員

学校教育教員養成課程の募集人員が180人に増えます。

情報教育課程・生涯教育課程は、募集を停止します。

一般入試の併願

一般入試では、前後期とも、出願時にコースを3つまで併願できます*。

学校教育教員養成課程では、コース内で初等教育選修(小学校教員養成)・中等教育選修(中学校教員養成)を希望順に併願できます*。

*併願には一部例外があります。

変わらないこと

大学入試センター試験の利用教科・科目、本学が実施する個別学力検査の教科・科目等は、平成25年度と同じです。

入試の詳細は、平成26年度入学者選抜要項及び学生募集要項をご覧ください。

平成25年度入学定員(募集人員)

課程	入学定員	コース	募集人員
学校教育教員養成課程	145	国語教育コース	13
		社会科教育コース	11
		数学教育コース	16
		理科教育コース	16
		音楽教育コース	8
		美術教育コース	8
		保健体育コース	11
		技術教育コース	8
		家政教育コース	8
		英語教育コース	15
		特別支援教育コース	12
		幼児教育コース	10
		学校教育コース	9
情報教育課程	20		20
生涯教育課程	15	スポーツ健康科学コース	8
		消費生活科学コース	7
人間発達科学課程	20	人間発達科学コース	10
		日本語教育コース	10
合計	200		

平成26年度入学定員(募集人員)

課程	入学定員	コース	募集人員	選修	募集人員
学校教育教員養成課程	180	国語教育コース	15	初等教育選修	8
				中等教育選修	7
		社会科教育コース	16	初等教育選修	9
				中等教育選修	7
		数学教育・情報教育コース	20	初等教育選修	10
				中等教育選修	10
			10	中等教育選修	10
				中等教育選修	10
		理科教育コース	18	初等教育選修	9
				中等教育選修	9
		音楽教育コース	9	初等教育選修	6
				中等教育選修	3
		美術教育コース	8	初等教育選修	5
				中等教育選修	3
		保健体育コース	16	初等教育選修	8
				中等教育選修	8
		技術・ものづくり教育コース	9	初等教育選修	4
				中等教育選修	5
人間発達科学課程	20	家政教育コース	12	初等教育選修	7
				中等教育選修	5
		英語教育コース	10	初等教育選修	3
				中等教育選修	7
		特別支援教育コース	18		
		幼児教育コース	10		
		学校教育コース	9		
合計	200	人間発達科学コース	10		
		日本語教育コース	10		

Program for Teacher Training

学校教育教員養成課程

教職への意欲、社会人としての教養や常識、ならびに教育と学問に対する専門性やコミュニケーション能力を高め、現代の教育現場において強く求められている適切な判断力、十分な実践力、豊かな独創性、そして総合力を備えた教員となることを目指します。教員免許の取得を卒業要件としています。

13の専門コース

13の専門コースに分かれ、コース専攻の専門的知識、技能を身につけます。国語、社会科、数学*、情報*、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各教科への専門的理解を深める10コースと、知的障害・肢体不自由・病弱のある人々の教育に必要な知識と技術を修得する特別支援教育コース、子どもたちが豊かに過ごして成長できるための幼稚園教育の理論と実践を学ぶ幼児教育コース、教育学および教育心理学を基礎とした教育実践を行いながら、教育全般に関わる諸問題を体系的に学び研究する学校教育コースがあります。

*数学教育・情報教育コースには、数学教育専攻と情報教育専攻があります。

学びの特色

教育実践力を身につける

教科及び教職に関する専門的科目の学習以外にも、学校現場での実地的な学習と省察を通して、実践的な教育力を身につけることが求められています。そのために、1年次の必修科目である「教育実地研究基礎」をはじめとして、4年間を通した系統的な学校現場体験及び教育実習によって、教育現場に通用する資質・能力としての教育実践力を身につけるためのカリキュラム(教員養成コア科目群)が設定されており、体系的な学びを進めていくことができます。

附属学校園での実地活動

教育学部には4つの附属学校園(附属小学校、附属中学校、附属幼稚園、附属特別支援学校)があります。各附属学校園では主に教育実習を行います。それだけでなく、そこでの日常的な教育活動(学習支援、自習監督、運動会等の補助、クラブ活動の支援等)に指導補助者として参加することができ、実地活動として学部の教員からきめの細かい実践的な指導を受けることができます。

地域の学校・社会との連携

教育学部に隣接する一身田校区の5校園(白塚幼、栗真小、白塚小、一身田小、一身田中)及び橋北校区の6校園(北立誠幼、南立誠幼、北立誠小、南立誠小、西が丘小、橋北中)と連携しています。各学校園の教育活動に指導補助者として参加し、教育実践力を身につけることができます。その活動は、学習支援・理科実験・体育活動・幼児教育支援・食教育・音楽祭など、多岐にわたっています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【教育実地研究基礎】

「教育実地研究基礎」は、1年次に位置づけられている必修科目であり、附属学校園および近隣の小中学校等において、授業参観、学習支援、文化祭支援、イベントのサポートなど、教育に隣接する「現場」に入って子どもたちとのふれあいを通して、自らの学習を発見する体験実践です。この科目をスタートとして、3年次の4週間の教育実習に向けて準備を進めていきます。



【総合的な学習の実践と展望】

現代の複雑化、高度化する社会に適応できる児童・生徒を育成するためには、教員は多領域にまたがる話題を材とし、授業を構築できる力量を身につける必要があります。総合的な学習の時間を対象に、その教育課程の中における位置づけや性格を明らかにしつつ、教科横断的な学習について学びます。



★STRONG POINTS★ 学校教育教員養成課程のここに注目!

教職入門

教師の仕事、役割とはどのようなものでしょうか。教職の導入科目に位置づけられているのが「教職入門」です。教職という仕事の性格・特徴を理解し、また三重で働く教育関係者の講演を通じて、教師がどのような状況の下で日々「教える」という営みを行っているかを学びます。そして、実際の教師の生き方にもふれながら、自分自身にとって教職の持っている意味を問い直します。



PBL教育

三重大学では、PBL (Problem/Project based Learning)を推進しています。PBL教育では、グループで問題解決のための学習計画を立て、学習資源(文献・資料)を選択します。知識伝達型の授業とは異なり、教員は学びの支援者としての姿勢が求められ、学生は自律した学習者としての姿勢が求められます。



Program for Human Development
人間発達科学課程

人間発達科学課程は、人間発達科学コースと日本語教育コースに分かれます。人間発達科学コースでは、教育や発達に関わる幅広い知識を身につけ、子どもを支えることができる人材の育成を目指します。日本語教育コースでは、「日本語」に関わる幅広い知識を身につけ、海外や地域の国際化に対応できる人材の育成を目指します。

■ 人間発達科学コース

人間教育ができる人、いじめや不登校、子どもが加害者や被害者になる事件が起こらない社会を作る教育力を持ち、地域に根づく教育者を養成します。

■ 日本語教育コース

国内外の日本語を母語としない学習者を対象に適切な日本語教育をほどこし、円滑な異文化コミュニケーションをはかることのできる人材を育成します。

学びの特色

人間の発達を
広い視野から支援できる総合的カリキュラム

教育学・教育心理学から人の発達に関わる知見を紹介する理論的な授業とともに、それを現場で生かすための実践的な科目が準備されています。これらを通して優れた実践力を育成します。また人間の発達を支援する基盤となる力を育てる科目も準備されています。

「日本語」からの新発見

日本語ってどんな言語でしょう?日本語でのコミュニケーションにはどんな特徴があるのでしょうか?日本語教育コースでの学びは、皆さんが日々何気なく使用している日本語を「一つの言語」として客観的に見直すことから始めます。このような視点を持つことで、日本語・日本文化・コミュニケーションのあり方・外国語教育と学習など様々な分野で、今まで気が付かなかった、新しい発見ができるはずです。ぜひ一緒に新発見を体験してみましょう。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【コミュニケーション実習Ⅱ】

今、社会ではコミュニケーション力が求められています。では、「コミュニケーション」とは、具体的には何を指すのでしょうか。授業では、友達の会話を観察したり、話をすると気持ちのいい、人との距離を測ったり、ゲームをしたりします。勉強しつつ、体も使うことによって今まで気づけなかったことが発見できるでしょう。



【日本語教育実習】

日本語教育実習では、「日本語で日本語を教える」方法を学びます。絵教材の作り方や示し方、教師の発話など、様々なことに配慮しながら、模擬授業を行います。教師と学習者の立場をお互いに経験しながら、より効果的な教え方を考えていきます。



★STRONG POINTS★ 人間発達科学課程のここに注目!

- 学校と連携・協力できる地域住民を目指す
- 教職にこだわらず発達やその支援を見つめる

人間発達科学コースでは、学校現場だけでなくスクールカウンセラーや児童相談所なども含めた地域から子どもの発達を支えることができる人材を育成します。子どもの学びや成長などに関する幅広い専門的な知識を身につけることを目指します。卒業後には教育・心理・福祉などの多様な機関や一般企業での人材育成などの分野で活躍が期待されます。



- 国際的視野で「日本語教育」を学ぶ
- 多岐に渡る分野から日本語教育にアプローチ

日本語教育コースでは、日本語という言語だけでなく、日本語を支える文化や社会、言語習得と教授法、異文化コミュニケーション、中国語等の幅広い学びを通し、国際的視野を持つ人材を育成します。留学生と共に学ぶ機会もあり、国際感覚が深まります。卒業後には国内外での日本語教師や国際交流の分野で活躍が期待されます。



将来のVISION ～教育学部で目指す主な進路～

進学・就職状況 / 過去2年間の卒業生の進路

就職率が高い!

学校教育教員養成課程の平成24年度卒業生における教員就職率は60.8%でした。また、教育学部の平成24年度卒業生における産業別内訳として教員106名、企業等54名、公務員11名です。これに加え、17名が大学院に進学しました。

また、地域別就職者内訳は三重県52.1%、東海地区26.3%、関東地方11.1%、近畿地方7.6%、その他地方2.9%です。

平成20年4月に設置された教職支援室は教員採用試験の受験生をサポートしています。公立学校を退職した教員が、豊富な現場経験をもとに、教員採用試験に向けた様々なセミナーや相談および実践的な対策を行っています。

平成23年度の教員就職率(学校教育教員養成課程) 66.0%

平成24年度の教員就職率(学校教育教員養成課程) 60.8%

本学部卒業生の教員就職率は、近年では60%台の高い水準を維持しています。これは、団塊世代の退職が1つの要因だと思われますが、その他の諸要因も考慮すると、三重県での教員採用予定者数は、ここ10年ほどは横ばい状況とも言われています。したがって、教員就職率及び教員採用試験の合格者実数は従来の実績を維持し続けるものと期待されます。

【教員就職先(全課程)】公立小学校:三重県、愛知県、名古屋市、大阪府、神奈川県、静岡県、福井県、和歌山県、滋賀県、兵庫県、香川県、横浜市/公立中学校:三重県、愛知県、名古屋市、大阪府、京都府、長野県、滋賀県、島根県/公立高校:三重県、愛知県、岐阜県/幼稚園・保育園:三重県、愛知県/特別支援学校:三重県、愛知県/私立学校:暁学園(小学校)、津田学園(中学校)、鈴鹿中学校、三重高校

【公務員】三重県庁、四日市市役所、桑名市役所、鈴鹿市役所、松阪市役所、豊橋市役所、岡崎市役所、東京消防庁、国立大学法人三重大学など

【一般企業】(株)百五銀行、(株)第三銀行、(株)三重銀行、(株)三菱東京UFJ銀行、(株)大垣共立銀行、岡三証券(株)、東京海上日動火災保険、明治安田生命保険相互会社、ソフトバンクグループ、(株)富士通システムズ・ウエスト、近畿日本鉄道(株)、住友電装など

【大学院進学】三重大学大学院、名古屋大学大学院、筑波大学大学院、神戸大学大学院、広島大学大学院、鹿児島大学大学院、University of Australia(大学院)など

大学院で学ぶ

大学院教育学研究科は1つの専攻を持ち、5つの教育領域によって構成されています。研究科は、人間の発達及び教育に関する高度な専門的研究を進めるとともに、教育現場における諸問題の解決にリーダーシップを発揮できる人間性豊かな教員の養成のための高度な教育・研究を行うことを目的としています。学部卒業だけでなく多くの現職教員の方々が学んでいます。

大学院教育学研究科

教育学研究科

教育科学専攻(修士課程・2年間)

学校
教育領域特別支援
教育領域人文・
社会系
教育領域理数・
生活系
教育領域芸術・
スポーツ系
教育領域

★特色ある制度【長期履修制度】

大学院の標準的な修業年限は2年ですが、職業を有しているなどの事情により2年間で修了することが困難な学生のために、修業年数を3年間ないしは4年間と設定できる長期履修制度を設けています。

また、本研究科では、この長期履修制度を利用して教育職員免許状を取得することができます。教育職員免許状を持たないが教育に強い

関心を持つ学生を対象に、学部の授業を受講し、単位を取得することで希望する校種・教科の教員免許状を取得できます。

職業を有している等の事情のある方、あるいは教育職員免許状の取得を希望する方など長期履修制度を利用したい方に対しては、出願前に可否審査を行います。詳しくは募集要項をご覧ください。

Student's Voice ～学生からのメッセージ～

刺激し合えるたくさんの仲間と支え合い成長できる。

三重大学の教育学部は、人と人とのつながりがとても強い学部です。一つ一つの専門コースの人数が少なく、その分だけコース内での関わりが強くなります。同期だけでなく、先輩や後輩を交えたコースならではの行事があったり、普段から気軽に食事に行けたりと卒業するころにはたくさんの思い出ができています。また、教育学部では専門のコース以外の人も関わることのできる授業がたくさんあります。コースの垣根を越えて多くの人と関わることで、仲良くなったり、刺激し合える仲間になったり…。3年次、4年次にある教育実習では、特に仲間とのつながりを強く感じます。大変なことがあっても、みんなで声を掛け合い支えあって乗り越えました。教育実習を経てさらに学部内でのつながりが強くなったように感じています。

また、大学には本当にたくさんの人がいるので、今まで自分の周りにはいなかった考え方をする人にも出会うことができます。教育学部内だけでも、子どもが大好きな人、海外旅行が好きな人、部活に打ち込む人、学問に興味のある人など、挙げ出すとありません。特に三重大学は総合大学なので、他学部の人との関わりを持つととっても面白い出会いがあると思います。いろんな考え方の人といて、それでも人とのつながりを感じることができているのが教育学部の魅力だと思います。私はそんな教育学部が大好きです。

教育学部学校教育教員養成課程
国語教育コース 4年

出口 ひかる さん

Faculty of Medicine 医学部

医学科
看護学科



優れた知識と技術、そして豊かな 人間性を兼ね備えたプロフェッショナルに！

本学医学部は、昭和18年に三重県立医学専門学校として開設され、三重県立大学を経て昭和47年に国立三重大学医学部となりました。さらに平成9年の看護学科の設置、平成13年の医学研究科修士課程の設置、平成24年の附属病院新病棟の完成などを経て、現在は、附属病院の新外来棟が建設されているところです。およそ70年に及ぶ歴史の中で、本学部は、三重の地にしっかりと根をおろして成長を続け、この地で医学教育や研究、医療に力を注いできました。

医療は技術と心で支えられています。技術の基盤は科学であり医学研究です。技術と心は決して相反するものではなく、両立させることが求められています。医学部の教育では、確固たる使命感と倫理観を持つ医療人を育成し、豊かな創造力と研究能力を養うことを目標に、課題を探索し解決する能力の涵養や倫理を含む臨床実践力の体得に向けた独自カリキュラムなどに力を注いでいます。

また、大学院ではその使命を「豊かな独創性と使命感を持って医学・看護学を発展させ、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成すること、さらに、優れた研究成果を世界に発信することによって、人類の健康と福祉に貢献すること」と定めています。医学や高度先進医療で世界に伍する気概や覚悟を持たなければ、地域や社会に十分に貢献することはできません。

地域医療を含むさまざまな問題を抱える現代社会にあって、大学には、問題解決の知恵や力を発揮することが求められています。地域を愛しつつ世界に羽ばたく心の翼をもった医療人、医学研究者の育成によって、地域と社会に医学で貢献して行きたいと思います。



医学系研究科長・医学部長
緒方 正人

医学科アドミッション・ポリシー

“このような人を求めます”

医学科の教育方針は、問題探索力と解決力を養成する教育、協同学習・生涯学習能力を高める教育、地域社会と国際社会を学びの場とする教育、診療現場での実践的な教育にあります。これらの教育方針のなかで学習に主体的に取り組むことができる学生を求めており、入学者選抜の方針（アドミッション・ポリシー）として以下の3項目を提示しています。

- ◎人間性に優れた人。
- ◎困難に立ち向かう力強さを備えた人。
- ◎人類の健康と福祉の向上のため、地域および国際社会に貢献できる人。

さらに、三重県の地域医療に貢献する強い意志を持つ人材を求めています。

“このような人を育てます”

三重大学医学部は、建学の基本理念として、「確固たる使命感と倫理観をもつ医療人を育成し、豊かな想像力と研究能力を養い、人類の健康と福祉の向上につとめ、地域および国際社会に貢献する」ことを掲げています。この基本理念の下、臨床医学、医学・生物学研究、あるいは公衆衛生の領域で、地域社会、あるいは国際社会に貢献する人材の養成を目指します。

そのために、コミュニケーション能力、探索した問題を論理的かつ科学的思考によって解決する能力、幅広い医学知識、優れた診療技術を修得するための教育を実施します。

看護学科アドミッション・ポリシー

“このような人を求めます”

看護学科では特に以下の人を求めます。

- ◎人間性に優れた人。
- ◎困難に立ち向かう力強さを備えた人。
- ◎人類の健康と福祉の向上のため、地域および国際社会に貢献できる人。

“このような人を育てます”

看護学科では、誕生から死に至るまでの様々な健康状態にある人たちの健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう、Heart（こころ）・Head（専門知識）・Hand（専門技術）を伸ばす教育を通じ、広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。倫理観と責任感を備え、協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち、地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

Department of Medicine

医学科

入学から第2学年前期まで、社会人としての教養と医療人に求められる専門職意識（プロフェッショナリズム）を身に付けるための共通教育と初期医学教育とが行われます。第2学年後期から第3学年前期に基礎医学教育（解剖学や生理学などの講義、実習）を受け、第3学年後期から第4学年前期まで研究室研修と問題基盤型（PBL：problem-based learning）チュートリアル教育に参加します。研究室研修では、学生が個別に研究室に配属され、教員や大学院生とともに医学研究活動に従事します。PBLチュートリアル教育では、学生が主体的に学習する能力、仲間と協力して学習する能力の養成を図りながら、臨床医学と基礎医学との関係を学びます。第4学年には、診療技能を学ぶ基本的臨床技能教育が行われ、その実習終了後には、共用試験実施機構（全国80大学医学部により組織された試験統括機関）によるコンピュータ支援学力試験と客観的臨床能力試験を受験します。これらの試験に合格すれば、第4学年後期からの病院実習に参加することができます。病院での臨床実習では、平成24年に開設された新しい附属病院と地域の協力病院、海外の交流病院での実践的な教育が行われます。

問題基盤型チュートリアル教育

第3学年後期・第4学年後期には、問題基盤型チュートリアル教育が行われます。これは、少人数グループによる協同学習と自学自習を通じて、学生が能動的な学習能力を向上させる学習方法です。実際の患者診療をシミュレーションした課題から、学生自らが学習課題を発見し、基礎医学教育で学んだ知識を駆使して問題解決をはかります。

学びの特色

実践的な臨床医学教育

臨床医学教育は、臨床課題を使用した問題基盤型チュートリアル教育から始まり、基本的臨床技能教育、診療参加型臨床実習に繋がっていきます。マナーやコミュニケーション能力を指導する専任教員が配置され、多くの診療シミュレーターが設置されています。

医学研究を志向する学生のためのカリキュラム

6年間を通して研究活動に参加する新医学専攻コースが選択コースとして提示されています。3・4年次には、全員が研究活動に参加する研究室研修があります。卒業後は、大学院医学研究科への進学が可能です。

国際性豊かな学習環境

多くの海外交流大学からの交換学生が、本学での臨床実習に参加しており、国際的な学習環境が提供されています。また、早期海外体験実習、海外臨床実習など海外で学ぶ機会も多くあります。

地域を学びの場とした教育

入学後早期から、三重県や市町と連携した地域基盤型保健医療教育が実践されています。第5・6学年の臨床実習では、大学附属病院、地域病院、診療所での実習に参加します。

診療参加型臨床実習

第4学年後期・第6学年前期には、附属病院、および関係教育病院での1年6ヶ月の臨床実習に参加します。従来の見学型臨床実習から脱却した診療参加型臨床実習であるクリニカル・クラークシップ方式を三重大学医学部医学科では他大学に先駆けて導入しています。医療チームの一員として患者さんに接することによって生まれる使命感を大切に、実地診療の場で、病気の診断・治療、患者さんへの生活支援を学んでいきます。第4・5学年学生は、全診療科のローテーション実習、第6学年学生は、各診療科の専門領域、地域病院、海外の交流大学附属病院での選択実習に参加します。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【地域基盤型保健医療実習】

入学後から2年次まで、医師に求められるプロフェッショナリズムを理解し、地域貢献に求められる基本的な態度を学ぶための「地域基盤型保健医療実習」の授業があります。授業は、学内での講義と保健医療機関や地域コミュニティでの体験型学習により構成されます。この授業を通して、困難を持つ人々への共感的態度、医療倫理、医療と生活の関わりを理解する能力、コミュニケーション力などを修得します。



看護師、保健師（選択科目履修）、助産師（選択科目履修）として必要な専門知識や看護技術、価値観、倫理観、これらを講義、演習、実習を通し段階的に学びます。主体的な学習が中心のPBL教育も多く取り入れられており、特徴的なものに学内演習やゼミナール教育があります。

学内演習では、看護技術やコミュニケーション技術を模擬体験により学びます。また、看護実践の基本となる問題解決能力を磨くため、事例学習により問題解決の展開プロセスを体験し、論理的な思考法と看護の実践場面への適用法を学習します。

少人数による学習の場であるゼミナール教育では、主体的・能動的な学習態度を養い、選択した看護領域の学びを深めます。健康問題や看護の専門知識について文献をもとに学習します。討論や質疑応答を通し批判的な思考能力や論理的な表現能力を伸ばし、学生同士の相互作用により創造的な問題解決能力を高めます。



1年生のPBL教育

臨地実習

医療や保健・福祉の現場で、看護の対象（患者、入所者、地域住民）と向き合いながら看護の実践力を高めます。附属病院での基礎看護学実習Ⅰ（1年生）と基礎看護学実習Ⅱ（2年生）を経て、3年生の後期から病院や高齢者施設で母性、小児、成人、老年、精神の領域別臨地実習を行います。4年生では各自が選んだ専門領域で行う統合実習Ⅰ・Ⅱがあり、学年進行にあわせて段階的に実習内容を深め、看護の専門性、対象や家族との関係づくり、医療や保健の現場における連携について実践的に学びます。



助産学実習前の演習（助産課程専攻）

学びの特色

広い知識と豊かな人間性を養う恵まれた環境

全学部が1つのキャンパスに統合され、共通教育やクラブ活動などを通して他学部との交流・情報交換を深めることができます。

医学科と看護学科の連携した教育・研究体制

医療は日々進歩しているため、豊富な講師陣が最新の医学や看護学の知識を教育・研究に提供しています。

隣接する附属病院を中心とした実習体制

看護学の臨地実習は長期にわたりますが、隣接する高度先進医療を担う附属病院での実習を続けることができます。

活発な国際交流

国際インターンシップ制度等を利用した海外での研修や学内での講義等を通じて国際社会で幅広く活躍できる能力を養う機会があります。



医学科

卒業生の進路

全員が医師、医学研究者、保健行政担当者として活躍しています。

三重大学医学部附属病院、国立三重中央医療センター、三重県立総合医療センター、三重県立志摩病院、市立四日市病院、名張市立病院、松阪市民病院、市立伊勢総合病院、伊勢赤十字病院、済生会松阪総合病院、鈴鹿中央総合病院、松阪中央総合病院、山本総合病院、鈴鹿回生病院、三重病院、伊賀市立上野総合市民病院、尾鷲総合病院、紀南病院、東京大学医学部附属病院、国立がんセンター、国立国際医療センター、聖路加国際病院、トヨタ記念病院、三重県健康福祉部、国立感染症研究所、St. Jude Children's Research Hospital、Scripps Research Institute、Indiana University School of Medicine、Mayo Clinic など

看護学科

全員が看護師、保健師、助産師等として活躍しています。

最近の卒業生の進路

看護師、助産師

三重大学医学部附属病院、国立病院機構三重病院、済生会松阪総合病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋市立大学医学部附属病院、東京医科歯科大学病院、虎ノ門病院、聖路加国際病院 等

保健師・養護教諭

三重県内市町村、三重県内学校、愛知県内市町村、愛知県内学校、大阪府内市町村、大阪府内学校 等

進学

三重大学大学院医学系研究科、岡山大学（養護教諭特別別科）、金沢大学（養護教諭特別別科）、和歌山医科大学（助産師課程）

医学科

大学院医学系研究科

医科学専攻（修士課程・2年間）

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究指導により、医学や医療産業に貢献する優れた研究・実践能力を有する人材を育成します。

生命医科学専攻（博士課程・4年間）

生命科学・医科学の理論と応用の教育・研究指導により、地域及び国際社会において指導性を発揮する人材を養成し、かつ優れた研究成果を世界に発信します。

看護学科

大学院医学系研究科

看護学専攻（修士課程・2年間）

看護学専攻修士課程は、社会の要請に応えるべく、専門知識・技術を備え、科学的判断・論理的思考に基づく看護介入が出来る高度看護実践者、あるいは看護ケア・看護教育・看護システムの改善において指導性を発揮できる看護専門職者を育成します。3つの教育研究領域と9つの専門分野から構成され、修士論文コースと専門看護師（CNS）コースがあります。CNSコースはがん看護と老年看護が開設されています。

Student's Voice ～学生からのメッセージ～



地域から、世界から必要とされる医師を目指して。

医学部医学科 4年
向原 千夏 さん

三重大学には世界と三重県の地域に根差した特色ある学びの機会がたくさんあります。初期海外体験実習ではエチオピアで日本との医療格差を、地域基盤型保健医療実習では、地域に溶け込んでその地域で求められる保健医療を学びました。また世界や地域で活躍する医師による授業もあり、自分のロールモデルとなる医師に出会えました。さらに小児がんを経験した患者さんのためのキャンプや小児病棟でのボランティア活動、心肺蘇生法を一般市民へ広める活動を通して貴重な経験をさせていただいています。医師というのは、地域から、世界から必要とされる職業だと思います。どんな医師になりたいか、自らの将来像を想像するなかで湧き出る悩みに対して、求めれば答えてくれる環境がこの大学にはあります。あなたも三重大学でともに学びませんか？



総合大学ならではの様々な分野の人との交流が魅力です。

医学部看護学科 4年
中島 麻里 さん

私が三重大学を志望した理由は、総合大学で様々な分野の人と交流を持てると思ったからです。学生生活としては医学部の部活と全学サークルを掛け持ちし、また長期休暇を利用して自分の視野を広げるために海外留学なども経験しました。3年の後期から本格的な看護実習が始まり、たくさんの患者様と関わらせて頂いたことでより患者様の気持ちに寄り添ったケアをしたいと感じるようになりました。今後のなりたい看護師・助産師像をみつける学びにも繋がりました。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【人体機能学・人体構造学】（専門教育科目・必修）

担当教員／成田 有吾 教授 基礎看護学

受講対象・人数／看護学科1年生・約80名

看護師等には、解剖学や生理学的な知識が必須です。医学科でのPBLチュートリアル学習の経験から、看護学科でも状況を調べて平成22年度から導入しています。高校までの受動的な学習から脱却し、卒業後の臨床場面等を認識しながら、能動的かつ自発的に情報収集と交換（議論）することで、知識の集積とコミュニケーション能力を育成しています。





Face to Face による丁寧な教育で 実践的なものづくりの力を!

工学部とは、数学や自然科学に根ざし(時には、人文社会科学も範疇に入れ)ながら、人類に役立つ「もの」を創る(作る、造る)技術について教育・研究するところ。

「もの」というのは何も手に触って見ることが出来るものばかりでなく、一つ概念であったり、バーチャルなシステムであったりもします。そこから生まれた技術が、ゲーム機のように皆さんの生活を楽しくするものの生産に役立ち、発電所のように生活の基盤を支える技術につながります。昨今のエネルギー・環境問題を解決するのも、結局は工学の技術にかかっています。そのような分野に携わって積極的に物事を解決することのできる、広い視野と高度な専門知識や指導力を持つ研究者や技術者を養成するのが、工学部の目的です。



工学部長
伊藤 智徳

アドミッション・ポリシー

“このような人を求めます”

- ◎自然、社会、文化等に対して幅広い関心を持ち、それらの基礎学力を持った人。
- ◎工学を理解するために必要な数学、理科に興味を持ち、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- ◎工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探究し続ける姿勢を持った人。
- ◎工学における問題解決の実践に情熱をもち、社会に貢献しようという気概を持った人。

“このような人を育てます”

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

レオナルド・ダヴィンチがヘリコプターで空を飛ぶことを夢見たように、機械は豊かな生活を築き上げるために必要とされてきました。現在では、人体から宇宙まで守備範囲は広がっています。機械工学科では、講義・演習、工場見学、企業でのインターンシップを通じて、社会に貢献する創造的設計・製造に不可欠な知識・技術を習得します。

学びの特色

専門分野をしっかりと身につけるカリキュラム

大学での講義に必要な基礎的な物理、数学の導入教育の実施、専門分野を自主的に学習し応用力を高めるための演習付き科目の充実、設計能力、問題解決能力を開花させるための創成型科目、卒業研究の実施を通して、専門的な能力を着実に修得するカリキュラムが用意されています。

社会で活躍できる人材の育成

機械技術者、研究者として成長することを早期に自覚するため、入学初年度から工場見学、合宿研修が実施されています。専門知識の修得に加え、教員による綿密な研究指導、学科独自のポスター発表会によりコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を修得し、社会で通用する総合的な能力が身につけられます。

■ 量子・電子機械講座

量子力学に基づいた材料開発や機械的な現象の解明、医療分野への展開を目指した心臓や脊椎の力学的機能評価や生体模倣機能性材料の開発を行っています。また、知能ロボットや介護ロボットの創出を目的とした、知能機械システムやロボット制御技術の研究を行っています。

■ 機能加工講座

もの作りの基礎 である、材料から必要な形状を作り出す加工技術に関する研究を行っています。材料を削って必要な形にする除去加工や通電加熱を利用した変形加工、レーザを用いた溶接や切断、異なる材料間での接合について、そのメカニズムの解明と新加工法の開発を行っています。

■ 環境エネルギー講座

流体工学や熱工学に基づいた、新しいエネルギーの開発やエネルギーフローの効率化による環境配慮型の資源利用の達成を目的として、風力発電や燃料電池に関わる技術開発や、自動販売機や空調の高性能化・省エネ化技術の開発、これらの機器の要素開発に不可欠である複雑乱流や混層流のシミュレーション及び実験技術の開発を行っています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【機械工学セミナー】

機械工学の果たす社会的役割、技術論について、小グループに分かれて課題調査を行い、意見の取りまとめ、発表並びに意見交換を行うことで、自主性、協調性、指導力、並びに発表力を養います。また、ある題材に対して、構想、設計、製作まで一貫して行うことで、モノ作りを体感すると共に、試行錯誤を交えた“創成能力”を育成します。

そのほかこのような研究をしています。



レーザ切断機で製作した小さい歯車



風洞による流れの可視化実験

★STRONG POINTS★ 機械工学科のここに注目!

メカトロニクス研究室

メカトロニクス研究室では、人間と機械の共生を実現するロボット制御技術を開発し、社会に貢献できる機械システムや知能ロボットを創出することを研究目標としています。特に、ロボット技術の活躍が期待されている生命・医療・福祉の分野における支援ロボットの開発に力を入れています。(写真は上肢が不自由な方でも車いすが使用できるようになる上肢支援ロボットです。)



電気電子工学科

テレビなどの家電製品のみならず、携帯電話、自動車、さらには進展が著しいロボット技術やディスプレイ技術は、エレクトロニクスによって支えられています。また、太陽電池などの環境技術、ナノテクなどの最先端科学も電気電子工学の技術者が活躍する分野です。電気電子工学科では、広く社会から求められているエレクトロニクス分野で活躍する技術者を育てます。



■ 電気システム工学講座

介護やリハビリ支援までもこなせる自律性の高いロボットや、温度・負荷などの環境変化への適応能力をも備えた自動制御システム・機器への需要がますます高まっています。また、電子材料をナノレベルで分析する高度な技術も求められています。電気システム工学講座では、自律ロボット、自然エネルギー利用発電などの研究・開発によりこれら課題に取り組んでいます。

■ 情報・通信システム工学講座

情報をデジタル化し処理する技術は様々な分野で応用され、人々の生活環境向上に大きく貢献しています。また、高度に洗練された情報通信端末が広く浸透し、だれもが、どこでも、地球の裏側の相手とでも瞬時に情報をやり取りできる時代が到来しています。情報・通信システム工学講座では、情報処理技術の医学・教育分野への応用、次世代通信方式の研究・開発に取り組んでいます。

■ 電子物性工学講座

あらゆる電子機器の中には、半導体・誘電体・磁性体・超伝導体などの電子材料が様々なかたちで使われています。それら電子材料の機能を最大限に発現させる上で、基礎物性に関する深い知見や、素子作製プロセスの確立は欠かすことができません。電子物性工学講座では、エレクトロニクスを支える電子材料を広範に扱った研究・開発に取り組んでいます。

学びの特色

自ら考える力をつけ、
技術者に必要な基本的スキルを学ぶ

1・2年生では、工学に必要な数学や物理、化学などの自然基礎科目とともに、電気電子工学の重要な基礎科目である電気回路論、電子回路論、電磁気学および計算機基礎などを学びます。これらの科目では講義のみならず演習も取り入れることにより、自ら考える力を身につけます。また3年生では、電気システム、情報・通信、電子物性の3つの専門分野について本格的に学びます。専門的な講義に加えて、実験や実習を数多く取り入れることにより、計測技術や報告書の書き方といった技術者として基本的なスキルも習得します。

先端研究に従事して、
もの作りと仕組み作りを理解します

4年生では、電気電子工学の技術者として必須である専門英語やプレゼンテーション技法について学ぶとともに、各研究室に配属されて最先端の研究活動に従事します。卒業研究を通して、修士の先輩・仲間とのコミュニケーション能力を養い、工学としての「ものづくり」、「仕組み作り」を理解します。

分子素材工学科

分子素材工学とは、化学の観点から有用で新しい機能をもった物質を研究・開発して科学技術を発展させ、社会に貢献する分野です。これによって、エネルギー変換技術の確立、環境問題の解決、バイオテクノロジーや医薬開発による医療分野の発展、新材料による情報通信の高速・大容量化などを実現します。本学科では、こうした社会で大きな期待が寄せられている分野で活躍するための、知識と実践力を身につけることができます。

学びの特色

化学関連分野の基礎的・系統的な教育

1～2年次では分析化学、有機化学、無機化学、物理化学、生物化学の5つの基礎教科を学び、更により専門的な化学関連教科を系統のかつ総合的に網羅し学びます。講義で修得した専門知識に基づいて2～3年次では化学実験を行い、実験技術および実験結果の解析法を学びます。卒業年次(4年)には研究室に配属され、最先端の実験研究を行います。卒業後は研究者・技術者として化学関連分野において創造的な活動に従事し活躍できる力が身につきます。

国内外の関連学会での活発な研究発表

卒業年次(4年)および卒業後に進学できる大学院工学研究科(博士前期課程)分子素材専攻では教育活動と並んで、研究活動も盛んです。学生は化学関連分野において、より専門的な視野に立った研究能力を身につけるため、分析化学、有機化学、高分子化学、無機材料化学、物理化学、電気化学、生化学、環境化学などの国内・国外での関連学会に積極的に参加し研究成果を発表します。

■ 分子設計化学講座

新規モノマーおよび重合反応の研究を基に機能性高分子材料を創製する高分子設計化学研究室、環境に優しい反応手法を開発してファインケミカルズを合成する有機精密化学研究室、有機活性分子の特性解明を通じて有用な機能材料を開発する有機機能化学研究室、量子化学計算により化合物の物性および化学反応をシミュレーションして予測する計算化学研究室から構成されている。

■ 生物機能工学講座

機能性セラミックスとその電気化学的応用を研究するエネルギー変換化学研究室、ナノカーボンや関連複合ナノ物質の形成および応用研究を行うレーザー光化学研究室、超微量の金属元素や有機物質の計測技術、サステナブルな環境を指向した環境負荷低減化技術を開発する分析環境化学研究室、DNA・タンパク質・脂質などの生物化学を基盤としてメディカル・ライフサイエンスに有益なものづくりをめざす分子生物工學研究室から構成されている。

■ 素材化学講座

高分子・界面活性剤・液晶などのソフトマテリアルを混合した複雑系材料の製造と構造解析、新機能の開発を研究する有機素材化学研究室、環境に配慮した触媒、非線形光学材料、エコガラスなどの新規な無機素材物質の製造、物性評価、機能創生を研究する無機素材化学研究室、細胞や組織の画像および分子生物学的情報を統合した解析を用いて、生体組織が再生・修復する機構を研究する生体材料化学研究室から構成されている。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【電気電子工学基礎実験】

電気電子工学分野を専門に扱う技術者にとって、各種計測機器を駆使した実験、実験データの適切な整理・分析、そして第三者への適切な情報伝達は大切な素養となります。「電気電子工学基礎実験」では、基本的な電子回路の動作確認などの基礎実験を通し、電気諸量の基本的な測定原理・手法を習得します。さらに実験レポートの作成を通して、技術報告書の書き方を体得します。



★STRONG POINTS★

電気電子工学科のここに注目！

世界に一つだけの分析装置開発

量子エレクトロニクス研究室では、ナノテクノロジーを支える物性計測技術の高性能化を目的に、高輝度量子(電子、イオン、X線、etc.)ビーム源の開発を行っています。量子ビーム源を普段の生活で目にすることはまれですが、様々な工業製品の品質保証や高性能化に必要不可欠です。開発した量子ビーム源の性能を評価するためのユニークな評価装置開発を通じて、ものづくりの楽しさや喜びを体感できます。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【化学基礎】

1年生は、11研究室のグループに分かれ、各教員と密着した少人数によるPBL教育により化学に関する基礎知識を学習します。口頭発表のための資料作成、実際の発表と討論を通して、主体的学習のモチベーションを維持し、向上させることができます。また、各研究室での指導により、大学の教育環境へスムーズに適應することをサポートします。



★STRONG POINTS★

分子素材工学科のここに注目！

新薬や新たな機能性化合物の創製

有機精密化学研究室では、人に優しいファインケミカルズの次代を見つめ、新薬や新たな機能性化合物の創製を促進させる、環境に優しい合成法や有機化合物の開発に取り組んでいます。

新しい無機素材物質の創製を目指して

無機素材化学研究室では、新規な無機素材物質の製造、物性評価、機能創成を研究しており、環境に配慮した触媒、非線形光学材料、エコガラスの開発に成功しています。

二十世紀の成長する都市の時代から二十一世紀の成熟社会の時代へ。人口減少、超高齢社会、大規模災害、地球温暖化などの諸問題に対応した新しい建築像・発想が求められています。建築学科では、建築スケールから都市スケールに至る生活空間を取り上げ、建築の設計に必要な専門知識、建築設計図面や建築模型の製作技術などの習得を目指します。

学びの特色

実習を通じて学びます

歴史的建築物や伝統的な町並みが残る地域でのフィールドワークを通じて、環境と共生する新しい建築の可能性について学びます。

幅広い分野を総合的に解釈し、自分の作品をつくりながら学びます

建築は幅広い知識が必要とされる学問です。そのため、歴史、文化、芸術、都市、環境、構造など様々な分野について学びます。建築学科で学んだこれらの知識は、すべて自らの建築作品を設計するための基礎となります。戸建住宅、ギャラリー、図書館、小学校、集合住宅、複合ビル・・・多様な作品を設計することで確かな知識と技術を身につけていきます。

先進的な研究および技術をもとに学びます

先進的な環境、構造研究をもとに、災害に強い省エネルギーな暮らしを実現するための技法を学びます。

快適な環境で学びます

三重大学は海に面した大学です。中でも建築学科は最も海に近い場所に位置しています。そのため、製図室からは伊勢湾を眺めることができ、朝夕の景色は印象的です。この製図室は自分の居場所として、また勉強部屋として学生がいつでも使用できます。また学科内には図書室も整備され、建築に関する専門書を自由に閲覧できるようになっており、建築を学ぶための快適な環境が整えられています。

情報工学科は、情報化が進展する社会の中で、情報技術分野での有能で即戦力となる人材を育成するとともに情報工学の進歩に貢献することを目的としています。カリキュラムには、情報を扱うための基礎理論をはじめ、コンピュータの仕組み、コンピュータを用いた情報処理技術を学ぶ授業科目があり、専門的な知識を身につけるとともに、論理的な思考力とコミュニケーション能力を養うことができます。

学びの特色

資格試験にも対応した「標準」カリキュラム

ICT (Information and Communication Technology) が広く普及した今日の社会で、ICT技術者が活躍するステージはますます広がっています。このためハードウェア・ソフトウェア・通信事業・インターネット・自動車など様々な分野で多数のICT技術者が必要とされています。情報工学科では卒業生がICT技術者としてどんな分野にもスムーズに入っていけるよう、情報工学の基盤となる能力の形成に必要な学会推奨の「標準」カリキュラムによる教育を推し進めています。

また、このカリキュラムはICT技術者の技能レベル国家資格である「情報処理技術者試験」にも対応しており、多くの学生が卒業までに「基本情報技術者」や、その上位の資格を取得しています。

応用力の身につく実習・演習の充実

情報工学科のカリキュラムの特徴は充実した実習、演習科目の存在です。もちろん講義で様々な理論や原理を学ぶことは非常に重要ですが、原理を知っているだけでそれを活用できないのではエンジニアとしての活躍は望めません。そこで、情報工学科では、プログラミングやプロセッサ設計など実務に近い実習・演習を充実させて、応用力の養成に力を注いでいます。また、これら実習、演習には先輩（大学院生）がティーチングアシスタント（TA）として多数参加しています。受講生は、身近な存在である先輩TAからフレンドリーな指導とサポートが受けられます。

コンピュータサイエンス講座

コンピュータサイエンス講座は、コンピュータソフトウェア、コンピュータネットワーク、コンピュータアーキテクチャの3研究室から構成されています。情報処理に必要な不可欠なアルゴリズムやプログラミングシステムの開発、情報伝達のためのネットワークの構築、それらを支える先進的なハードウェアの設計といった研究を行っています。

知能工学講座

知能工学講座は、パターン情報処理、人間情報、ヒューマン・インタフェースの3研究室から構成されています。認知、行動・ジェスチャ、音声言語といった人と関わりの深い情報を各種センサーにより観測し統合処理することで、安全で豊かな生活を実現するための研究を行っています。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【建築企画設計】

4年間の学習の集大成として、学生自らが敷地や用途を設定し、それに相応しい建築を設計し、図面や模型にして表現します。建築学科では毎年、市民に公開する展覧会でその成果を発表しています。



卒計展（三重県総合文化センターにて）

★STRONG POINTS★ 建築学科のここに注目！

コンペ（建築設計競技）への取り組み

建築のアイデアを全国の建築系学生が競う各種のコンペでは、例年、上位入賞する学生を輩出しています。



防災の取り組み

地方自治体と連携して、地域の防災力を高める「美し国おこし・三重さきもり塾」および「三重大学自然災害対策室」の活動にも建築学科の教員が参加しています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【情報工学概論（1年生・前期）】

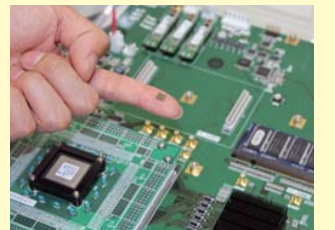
この授業では4人のチームで、「マイコン」と呼ばれる小型コンピュータで動作するプログラムを作成します。どのようなプログラムをどうやって作るかはそれぞれのチームが自分たちで自由に決定します。コンピュータの動作原理を理解するのはもちろん、ものづくりの大変さと面白さを実体験し、ものづくりにおけるチームの重要性、チームに貢献できる姿勢とスキルを学びます。



★STRONG POINTS★ 情報工学科のここに注目！

見えないところからも社会を便利にする三重大学の低電力技術

携帯電話や携帯ゲーム機が1回の充電でもっと長い時間使えたら、と思ったことはありませんか？ 我々の研究室では、アプリ起動中やゲーム中には高い性能を発揮し、待ち受けやボース状態など、性能があまり必要でない時にはハードウェアを変化させることで無駄な電力消費を抑制する新しいCPU（中央演算処理装置:コンピュータの脳）の研究開発を行っています。

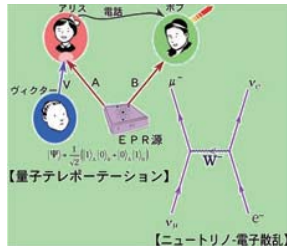


物理工学科

技術立国日本が世界に誇る産業分野はいくつもありますが、自動車や航空機、ロボットなど多くの業界において、機械工学と電気電子工学の両方に通じた技術者が求められています。物理工学科のカリキュラムには量子力学、物性物理学などの物理学科目とともに、機械設計、材料力学などの機械工学科目、電気回路、電子回路などの電気電子工学科目がバランスよく組み込まれていますので、機械工学、電気電子工学両方の専門性を身に付ける事ができます。

■ 量子工学講座

非平衡統計力学、複雑系科学、量子情報熱力学、素粒子論、超伝導、ソフトマターなど分野を含む理論物理学の多様な問題の研究を展開しています。また、単一電子トランジスタのナノデバイスや液晶などへの応用研究も行っています。



学びの特色

物理学、機械工学、電気電子工学、そしてナノテクノロジーを学びます

ナノテクノロジーとは1ナノメートル、つまり原子・分子レベルで構造を制御してナノメートルサイズのシステムを作製する技術のことで、現在では半導体に代表される電子デバイスや情報通信、化学、バイオの分野でも活用されるようになってきています。物理工学科では最先端のナノテクノロジーまで、数学・物理学の基礎を学び、それに基づいて電気電子工学や機械工学を無理なく習得できるカリキュラムが組まれています。

ものづくりの大切さを体得するカリキュラム

物理工学科では、ものづくりの大切さを、体験を通して認識していただくため、新入生対象の講義「物理学セミナー」にロボット製作実習を取り入れています。2年時からは機械設計や回路設計といった、ものづくりの体系的な知識を学びます。さらに機電工学実験を通じて、実践的な知識を体得することができます。

■ ナノ工学講座

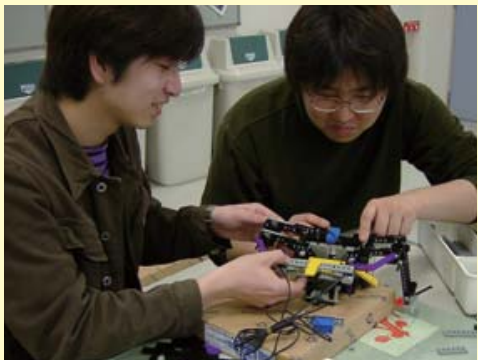
世界に先駆けたナノマテリアルデザイン計算法の開発、センシング技術、通信技術、各種磁性材料、ナノマイクロ計測加工などの研究を行っています。半導体・磁性体を使った新しい機能性材料創成のための計算機シミュレーション、微小な音や信号に対する各種センシング技術の開発、ハードディスクおよび磁性微粒子の研究、バイオ・ナノ加工および分子機械としての潤滑油の研究などを行っています。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

【物理学セミナー（ロボット製作実習）】

新入生対象の授業「物理学セミナー」では、ロボットの製作実習で、実際に‘モノづくり’を体験します。



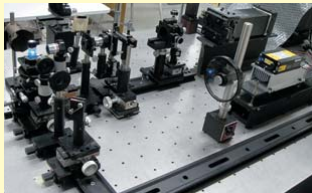
★STRONG POINTS★ 物理工学科のここに注目！

基礎から応用まで



音声波形収録分析装置
(ダミーヘッド音声収録装置とコンピュータ波形収集システム)

研究室で試作されたバイノーラル録音用ダミーヘッドです。これを用いて部屋の音響特性を測定したり、様々な機械音の感性評価を行ったりしています。



潤滑油の機械性能評価のための
固体レーザー光散乱光子相関装置

潤滑油は人間の血液と同様機械に不可欠で、ナノスケールの分子機械と考えられ、ダイヤモンドを使った超高压装置や写真の固体レーザー光散乱光子相関装置など独自の物理計測技術を駆使して、新開発潤滑剤の超高压極限状態のレオロジー（変形流動）特性を評価しています。

将来のVISION ～工学部で目指す主な進路～

進学・就職状況 ／過去2年間の卒業生の進路（学部卒及び大学院卒）

学部卒業後に、すぐに就職し技術者として活躍するか、さらに大学院（修士課程）で2年間知見を深めた後に就職するかを、選択することになります。多くの企業では修士採用に重点を置くようになり、近年では5～6割の学生が大学院へ進学します。学部卒、修士卒のどちらも、就職希望者は毎年、ほぼ100%就職しています。大学院の博士前期課程（修士）修了後、博士後期課程（博士）に進学すれば、研究所等での基礎研究や大学教員への可能性も開けます。

また、工学部では、各学科での勉学内容が異なるため、就職先も学科ごとに異なる場合があります。詳しい就職状況は、別冊子『工学部案内』を参照して下さい。

【機械工学科】

アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、カゴメ、コマツ、トヨタ自動車、トヨタ紡績、日本ガイシ、富士重工業、西日本旅客鉄道、地方公務員

【電気電子工学科】

三菱電機、ソニー、KDDI、中部電力、関西電力、トヨタ車体、デンソー、川崎重工業、マキタ、JR東海、日本ガイシ、住友電装、地方公務員

【分子素材工学科】

トヨタ自動車、トヨタ紡織、東邦ガス、三井化学、川澄化学工業、三菱レイヨン、住友電装、JSR、三洋電機、中部電力、参天製薬、エーザイ、テルモ、花王、メニコン、地方公務員

【建築学科】

JR東海建設、大林組、矢作建設工業、

安藤建設、清水建設、セキスイハイム中部、大和ハウス工業、中電不動産、三重県庁、愛知県庁

【情報工学科】

デンソーテクノ、フジキカイ、トヨタ車体、トヨタコミュニケーションシステム、三菱電機メカトロニクスソフトウェア、住友電工情報システム、富士通ソフトウェアテクノロジーズ、三菱電機情報ネットワーク

【物理工学科】

住友電装、ヤマザキマザック、アイシン・エイ・ダブリュ、デンソーテクノ、大同特殊鋼、日東電工、ジェイテクト、日立製作所、富士通VLSI、中部電力

【大学院進学】（6学科分を、まとめて記載）
三重大学大学院、名古屋大学大学院、名古屋工業大学大学院、金沢大学大学院、東京大学大学院など

大学院で学ぶ

高校卒業後の4年間での勉強は、授業を受けることが中心です。しかし、学部4年間を終え修士課程への進学後、すなわち大学院では、教授の指導や学生自らの希望により研究テーマを決め、自ら実験や調査、思考などを繰り返して新しい発見をし、学会で発表するという研究活動が日々の中心となります。工学研究科（工学部の大学院）では、修士課程2年間の間に、9割以上の学生が国内学会で発表し、また、大きな研究成果が得られた場合には、国際会議において英語による発表も行っています。

大学院工学研究科

博士前期課程（修士課程・2年間）

【機械工学専攻】

【建築学専攻】

【電気電子工学専攻】

【情報工学専攻】

【分子素材工学専攻】

【物理工学専攻】

博士後期課程（博士課程・3年間）

博士前期課程（修士課程）修了後に、3年間学びます。

【材料科学専攻】

分子素材工学、機械工学、電気電子工学、建築学、物理学専攻修了者向

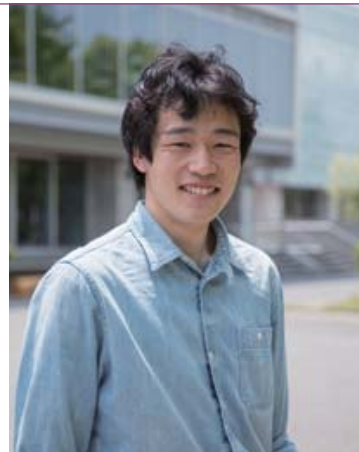
【システム工学専攻】

情報工学、機械工学、電気電子工学、建築学、物理学専攻修了者向

Student's Voice ～学生からのメッセージ～

学びたいという情熱が成長につながります。

私は小さいころから科学に興味があり、理科系の分野に進みたいと考えていました。特に機械や電子回路に興味があったことから、電気電子工学を学ぼうと決め、三重大学工学部に入学しました。高校と大学の相違点は自分の学びたいことを自ら選択して学習していくことです。総合大学である三重大学では一般教養を豊富に選択でき、他学部の学生とも交流できるため、様々な視点で物事を見られるようになります。新しいモノを創り出す仕事をするにはもってこいの環境ではないでしょうか。大学に入って取り掛かる学習は基礎数学の定着です。電気電子工学科をはじめ、物理を扱う工学部では数学は必要不可欠です。三重大学は、数学学習のサポートがしっかりしていて、私のように少し苦手な人にも充分理解させてくれます。工学を学びたいという情熱さえあれば、先生方がしっかり成長させてくれるので非常に満足です。とはいえ受験される皆さんは、今のうちに数学をきっちりと勉強しておくことをお勧めします。三重大学では、色々なところでIT化が進んでおり、特にMoodleやモバイル情報掲示板、履修申告システムなど学習支援サービスが非常に充実しています。附属図書館でも予約や新しい図書の依頼ができ、遠くから通っている私にはとてもありがたいです。私が入学してすぐに取り掛かったのは仲間作りでした。無理に作らなくとも自然に話していれば仲良くなれます。テスト前になれば、それぞれの学科棟にある交流室で共に勉強できるので非常に心強いです。



工学部電気電子工学科 3年
山本 優 さん

生物資源学部

資源循環学科

共生環境学科

生物圏生命科学科



21世紀の食・環境・バイオを担う 人材を育てます。

生物資源学部は、自然（環境）、生命の営みを深く理解して、新たな産業の創出し、人類、地域社会の発展を導く人材を育成することをめざしています。

皆さんは、水が人間や動植物、微生物の生命の営みと深く関わることをよく知っていると思います。海の中では、水深1mごとに光の強さが10分の一に減衰するので、海中深くに生育するさかなの仲間は人が感じられない明るさや色を受容する細胞を進化させています。また、土が凍る時の、いわゆる氷柱は1cm²当たり100kgの力で地面を押しつけることができます。水という物質一つを取り上げてたくさんの機能や側面を持ち合わせています。今、こうした自然や生命の力を解明して、私たちの生活に利用しようとする動きが加速しています。

「資源循環学科」、「共生環境学科」、「生物圏生命科学科」の3学科の魅力あふれる教育カリキュラムや、フィールドサイエンスセンター、勢水丸（練習船）での実践学習を通じて、「全体知」や「考えし尽くす」体力・意志を養って、皆さんの大きな可能性を育ててみませんか？



生物資源学部長
後藤 正和

アドミッション・ポリシー

“このような人を求めます”

- ◎自然を愛し、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- ◎自然科学に関心を持ち、その基礎的学力のある人。
- ◎自ら行動し、生物資源に関する問題の解決能力を身につける意欲のある人。
- ◎幅広い学力と、基礎的な語学能力を持ち、さらに国際的に通用する基礎能力およびコミュニケーション力を身につける意欲のある人。

“このような人を育てます”

生物資源学部は、地域に根ざしたグローバルな視点に立ち、自然との共存を図り、生物資源の適正な開発・利用と保全を追求するための基礎的・応用的な科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことを目指しています。

そのために、生物資源に関連のある生物学、化学、物理学、社会科学、情報科学など幅広い講義や実験・実習を通し、独創性と専門性を兼ね備え、広い視野を持ち、自らの力で問題解決ができる知識と能力を身につけ、国際的にも活躍できる人材の育成を目標にしています。

資源循環学科

人類は光合成によって植物が蓄積した太陽エネルギーを食物連鎖のかたちで取り込み、生命活動を続けています。この活動に利用できる生物体を私たちは生物資源と呼んでいます。この生物資源を効率よく循環的に利用する方法を教育・研究するのが、「資源循環学科」です。

■ 物質循環学講座

循環型社会の実現には、太陽エネルギーを駆動力とする物質の循環と生態系の機能を理解し、循環するエネルギーや物質を有効に利用することが必要です。このような物質循環と生物資源の有効利用について、大きな規模の生態系から個体レベル、さらに微生物からDNAレベルまでのミクロなスケール、また生物、化学、物理的な様々な側面から、幅広く学びます。そして、人間と他の生物が共存できる持続可能な社会の構築について考えます。

■ 循環生物工学講座

食品やバイオマスなどの生物資源を生物工学的手法（バイオテクノロジー）を用いて解析し、利用することを目指している研究室が集まっています。生物資源の持つ情報と機能を分子・遺伝子・細胞・個体・集団のレベルで効果的に引き出すことで、食品や生物資源の持続的生産が可能になります。この「生物の情報と機能」を私たちの生産活動に生かすためのバイオテクノロジーの知識と技術について学ぶことができます。

■ 循環社会システム学講座

農産物、水産物などの食料資源の持続的利用を目指した生産・流通・消費などのフードシステムのあり方、ますます深刻化する食料問題、食品の安全性問題、生産と生活の間たる地域、流域・沿岸海域などの環境保全問題に関して、食料・農業経済学、農業経営学、水産経済学、環境政策学などの社会科学の分野から教育・研究を行っています。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

循環社会システム学講座【社会科学チュートリアル】

社会科学的思考の基礎の学習、農業・農村の現場での実習、グループワークによる問題解決案の策定と現場との意見交換、レポート作成を通じて、循環型社会の構築に向けた問題解決型学習を行います。

実際に農業・農村の現場を訪れ、農作業や農産物加工などを実地で学びます。平成23年度は、水耕ねぎの定植から収穫・出荷調整作業、さつまいもの収穫作業、農産加工品の調理実習などを行いました。



★STRONG POINTS★ 資源循環学科のここに注目！

機能性食品への循環

梅川 逸人 教授 栄養機能工学研究室

寿司や刺身に用いられるたまり醤油の原料は一般の醤油とは異なり、ほとんど大豆から作られています。たまり醤油の搾り粕は食品廃棄物として、その処理が問題となっていますが、その搾り粕から血圧上昇を引き起こすアンジオテンシン変換酵素の活性を阻害するペプチドを精製しました。そのペプチドをラットに投与したところ、有意な血圧降下を認めました。このように、食品廃棄物の機能性食品への再利用について研究をしています。



共生環境学科

自然と共存できる環境の保全・修復の理論と技術開発をめざした教育研究活動を行っています。環境に配慮した新素材やエネルギー問題、国土デザインや防災など、自然と調和した地球環境を考える研究をしています。

■ 地域保全工学講座

食料生産基盤の創造に直接関わるとともに、メダカが棲む水路や素晴らしい景色の田畑など、日本の原風景を創り・守ることに手助けしている教育研究分野で、人と自然との「共生と調和」を考え、美しく豊かで安全な住みやすい地域を築くための教育研究を行っています。

■ 環境情報システム工学講座

「創造力」をキーワードとして学生の教育、および研究の促進を行っています。当講座において教育・研究の対象となるものは、生物・環境を含め多種多様で、なにか一つのものに限定されるということはありません。その代わり新しく、価値のあるものを創り出すこと、すなわち無駄が無く、環境に負荷を与えない最先端の技術やシステムを創り出すことを目指して教育・研究を行っています。

学びの特色

科学的思考に基づく環境教育プログラム

環境の現状を知り、その人間との関わりを正しく把握するためには、概念的な理解では不十分です。観察や実験を通じて得られるデータを定量化した上で、既存の知見との比較検討および考察が必要となります。当学科のカリキュラムでは、卒業時までにはこのような科学的思考力が身につく、社会で応用できるよう配慮して構成しています。

■ 森林資源環境学講座

「今そして将来、森林が面白い」森林は地球環境の維持に大きな役割を果たすと同時に、再生可能な資源として、人類の生活に必要な資材を提供しています。また環境調節ばかりではなく洪水や土砂災害の防止、水資源の涵養など、私たちの生活に物心両面で貢献しています。このようにさまざまな機能を持つ森林の特性と働きを理解し、その多様な機能を、環境との調和を保ちながら持続的に利用する方法を研究・実習を通して学びます。

■ 自然環境システム学講座

海洋から陸地、森林、大気まで切れ目なく研究対象としております。また、地球規模の問題から、三重県内、あるいは流域内のようなローカルな課題まで、そして理論的研究から人間や生物の活動に関する分析、防災や環境保全活動まで、多岐にわたって扱っています。自然環境について、基礎から応用まで幅広く学びながら、我々と一緒に「エコロジカルな生活」について考えてみませんか。

生物圏生命科学科

地球上に原始生命が誕生してから、38億年が過ぎました。その後の長い年月を経て、現在私たちが目にする生物に進化しました。本学科では、これらの海や陸の生物について生命科学与生命工学の基礎と、分子・細胞・個体・生物群集の特徴を研究し、生物生産や生物資源の有効利用に役立てる技術を習得します。

■ 生命機能科学講座

分子細胞生物学・分子生物情報学・生理活性化学・生物機能化学・食品機能化学の5つの分野(研究室)があり、生命現象の仕組みや、それに関連する鍵となる物質の構造と働きなどを、分子・遺伝子・細胞・個体のレベルで明らかにし、その成果を、新しい機能をもつ分子の開発や、種々の生命現象の調節、機能性食品・医薬品・化粧品などに応用して、私たちの快適な生活・健康維持・疾病予防などに役立てる科学を学びます。

■ 海洋生物科学講座

遺伝子から生物群集、生態系までさまざまなスケールで海洋生物を探究する科学ーマリンバイオサイエンスーを学びます。対象となる生物もバクテリアからプランクトン、藻類、底生生物、魚類まで非常に広範囲にわたっています。さらに、海洋生物を調べることで、生命現象を明らかにし、環境・生態系を保全していくとともに、人々の暮らしが豊かになることを願って研究を行っています。

学びの特色

社会的、国際的ニーズを意識した教育

本学科では、学習・教育目標の「多面的な思考能力と素養」、「技術者倫理」、「基礎および専門の知識とその応用能力」、「問題解決のデザイン能力」、「コミュニケーション能力」、「自主的継続的学習能力」および「制約下での仕事の推進・統括能力」と授業科目の関係をシラバスに明示し、これらが身につくようにカリキュラムを充実させています。各専門科目はもちろん、科学技術倫理や科学英語科目を充実させ、社会人として国内外で活躍することを意識した、レベルの高い教育体制を整えています。

■ 陸圏生物生産学講座

人類にとって、農業による食料生産は必要不可欠な営みです。また、安全でおいしい食品の供給や地球環境の保護においても、農業が重要な役割を担っていることはいうまでもありません。私たちの講座では、食料生産の向上と安定を目指した農学の考え方を出発点として、そこから新たに発展した生物科学を様々な視点から追究し、世界的な食料問題の解決や緑豊かな環境の維持に役立つように教育・研究を行っています。

■ 水圏生物生産学講座

海、川、湖などの水圏は、生物にさまざまな環境を提供し、生物はそのなかで多様な生活をしています。水圏生物生産学講座では、魚類、無脊椎動物、海藻、プランクトンなど水圏に生息する生物を、その生物多様性や生態系に配慮しながら、持続的に維持・生産する技術を開発し、食料、医薬用、工業用資源として利用するために、生理・生態・病理・行動・生化学・遺伝子・バイオテクノロジーなどの面から研究・教育します。

特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

各講座教員【フィールドサイエンス実習】

三重県下の農山村やフィールドサイエンスセンター農場・演習林・水産実験所や練習船勢水丸の現場において、自然環境の実態把握、環境保全に配慮した資源利用技術等に関する実習・実地見学を行い、より専門化した共生環境の「実際」についての理解を深めます。各講座別に実施。



★STRONG POINTS★ 共生環境学科のここに注目！

究極のエコ材料「リグバル」を開発

船岡 正光 教授 木質分子素材制御学研究室

リグバルは、リグノフェノールと古紙繊維から熱も圧力も使わずに作られます。触った感触は暖かく質感のある木材、強度は硬くも柔らかくも自由に調整可能、鋸や釘を使うこともでき、一方ではプラスチックのような成型加工も可能です。正に木材とプラスチックの特性を併せ持つ21世紀の新素材です。さらに、その形状を変え、何度も異なる材料として使うことができ、使い終われば、今度はその分子に解体し、バイオエタノールなどの様々な工業原料、製品への転換が可能です。

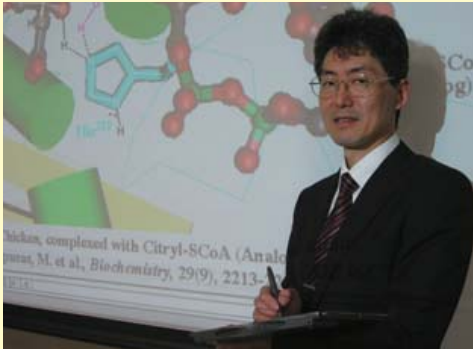
現在、その応用が多くの企業で検討されており、車の内装材、ボディーをはじめ、医薬品、接着剤、太陽電池など、多くの機能的な応用製品が立ち上がりつつあります。



特色ある授業 ～ 特色ある授業の一例 ～

生命機能科学講座【生物有機化学】

有機化学反応を電子移動の矢印で書く勉強法で酵素反応を解説する講義。1つ1つの矢印の理由を知ると、酵素のすばらしさ・生物の不思議さが判ると言うものです。独自の講義資料が充実、ペン型マウスで投影画面に書き込んで説明、授業の要点を説明した動画がMoodleで配信されるなど、学生満足度の高い、手作り型マルチメディア授業です。



★STRONG POINTS★ 生物圏生命科学科のここに注目！

練習船 勢水丸～洋上の動く実験・研究室～

「勢水丸」は、本格的な調査・観測を行うことができる、東海地方では唯一の練習船です。実習・調査海域は、伊勢湾・三河湾などの内湾域から、沿岸域の熊野灘・遠州灘、また、黒潮流域や東シナ海、南西諸島、小笠原諸島の外洋に至るまで幅広く、その観測内容也多岐にわたっています。



将来のVISION ~生物資源学部で目指す主な進路~

進学・就職状況 / 過去3年間の卒業生の進路



- 【資源循環学科】
岐阜県、名古屋市、紀北町、奈良県警察、イチビキ、サンジルス醸造、瀬戸信用金庫、大関、寿がきや食品、東洋ナッツ食品、長瀬産業、JA三重四日市、JAあいち経済連、JA花咲ふくい、ウォルナット、ニトリホールディングス、ニッセー、播州信用金庫、他
- 【共生環境学科】
農林水産省（林野庁）、三重県、愛知県、奈良県、富山県、名古屋市、伊勢市、大津市、鈴鹿市、JA愛知西、ジェイアール東海コンサルタンツ、JR東海、マキタ、シンフォニアテクノロジー、玉野総合コンサルタント、日本空調サービス、八千代エンジニアリング、他
- 【生物圏生命科学科】
農林水産省（植物検疫所）、大阪税関、三重県、名古屋市、神戸市、三重大学、大塚製薬、コーセー、井村屋、カゴメ、山崎製パン、ホーユー、ファーマフーズ、イワタニ東北、協同飼料、東洋冷蔵、バイホロン、ミルボン、ウェザーニューズ、百五銀行、長野銀行、他
- 【大学院進学】（3学科分を、まとめて記載）
三重大学大学院、京都大学大学院、名古屋大学大学院

Student's Voice ~学生からのメッセージ~

ただ、好きだけでは終わらせたくない

私の所属する園芸植物機能学研究室では、野菜の品質向上のための栽培方法や高品質な果実を省力生産するための研究を行っています。特に健康に関して消費者の意識が向いている今、野菜の品質向上は需要に大きな影響を与えます。私は植物が成長する上で重要である光合成の評価方法について研究しています。光合成評価の簡略化に成功すると、他の研究が効率よく進むようになります。

生物資源学部は、生物やそれを取りまく環境に関連する幅広い分野から自分のやりたいことを選ぶことができます。この学部では海中から陸上までのあらゆる生き物を対象として、新たな発見が教科書の1ページを作り上げる基礎研究から、私たちの生活の向上に直結する応用研究まで、さまざまな角度からの研究活動を行っています。

あなたが今抱いている「生物が好き」という気持ちが、確実に社会貢献に繋がっていく道が、生物資源学部にはあります！



生物資源学部生物圏生命科学科 4年
河村 慶太 さん

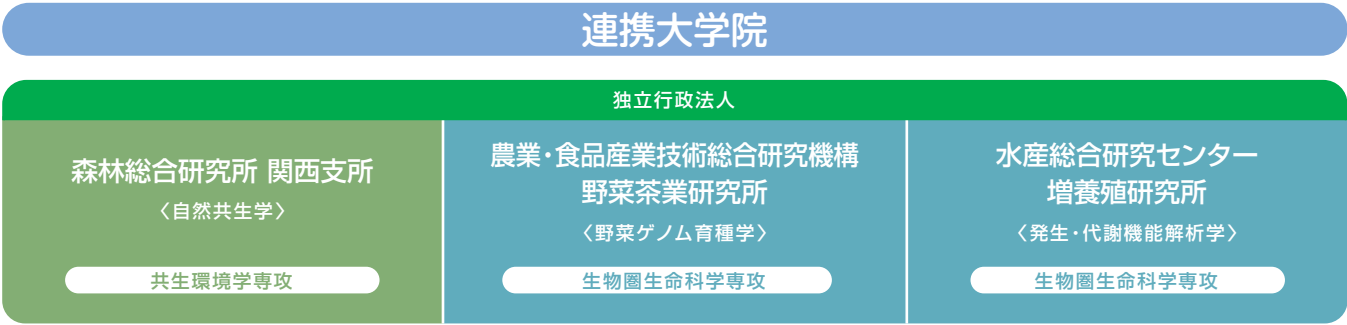
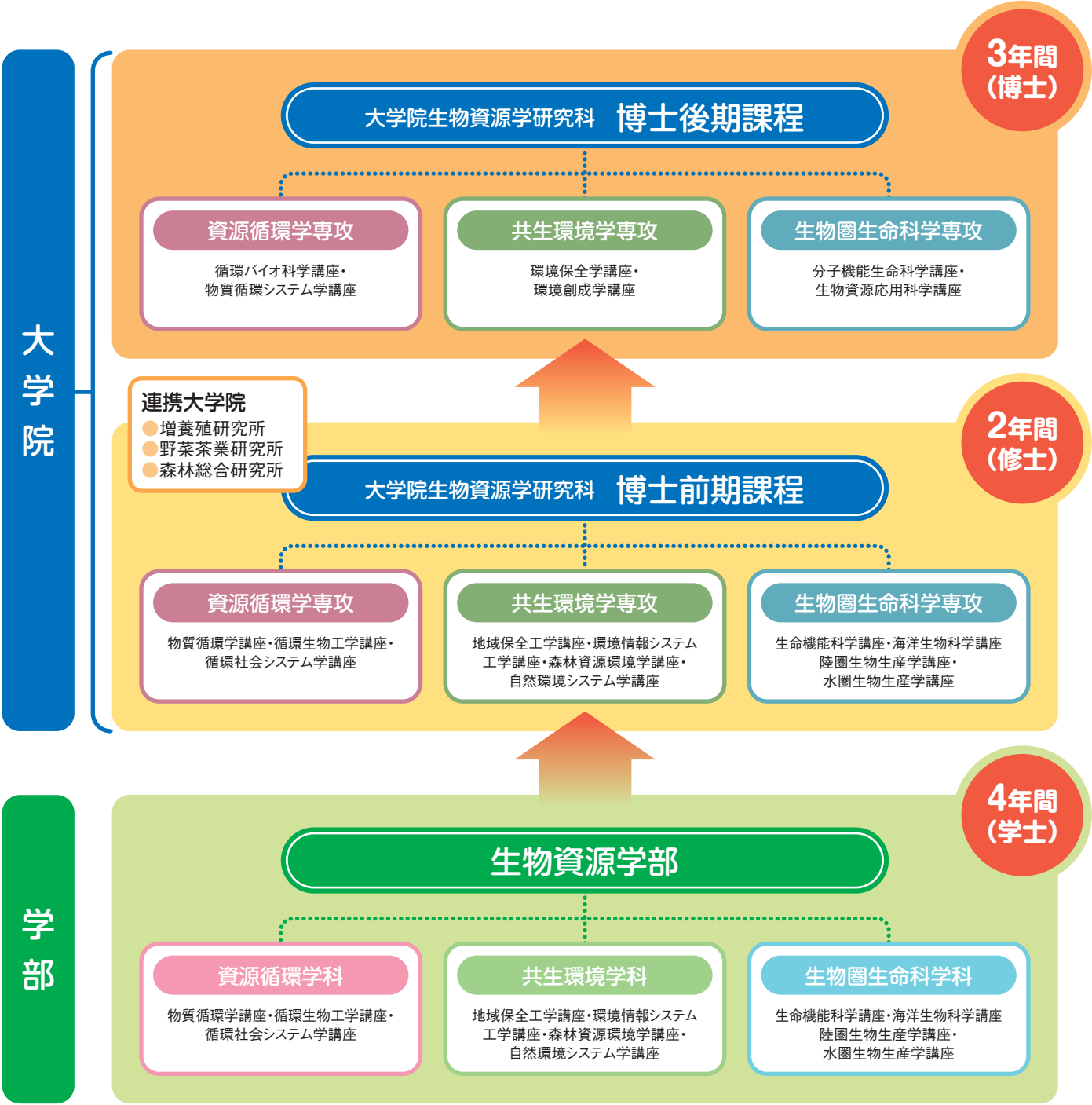
大学院で学ぶ

学部から大学院まで通す
キャリア形成

生物資源学部を卒業する学生の30~40%は、大学院（生物資源学研究科）に進学して、さらに研究を続けています。卒業研究に取り組める時間は、長くても1年少ししかありません。より専門的な知識を習得しながら、問題点を探し、それを自分で解決するのは大学院でのひとつの醍醐味といえるでしょう。研究者を目指す人は、「博士号」を有していることが最近ではほぼ条件になっています。自分の進路選択のひとつとして、大学院という道も検討してみてもいいでしょう。

〈大学院入学者の出身校〉

三重大学、東京大学、北海道大学、名古屋大学、山形大学、宇都宮大学、東京海洋大学、香川大学、高知大学、島根大学、鹿児島大学、福井県立大学、滋賀県立大学、日本大学、東京農業大学、東海大学、立命館大学、近畿大学、名城大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿工業高等専門学校など



大学院 地域イノベーション学研究科

地域発の イノベーションを起こす人財になろう

地域イノベーション学研究科は、最先端の高度な研究開発能力と共に、新事業・新製品の企画から製品化までを担当できる「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」を育成することを目的に、平成21年4月に設立された学部を持たない文理融合型の独立研究科です。本研究科では企業との共同研究プロジェクトを通して（「OPT(On the Project Training)型教育」）、研究開発能力の養成を担当するR&D（Research and Development）教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するPM（Project Management）教員による「サンドイッチ方式教育」により実践的な教育を行う日本初の新しいタイプの大学院で、どの学部の卒業生でも入学できます。



大学院地域イノベーション学研究科長
小林 一成

アドミッション・ポリシー

“このような人を求めます”

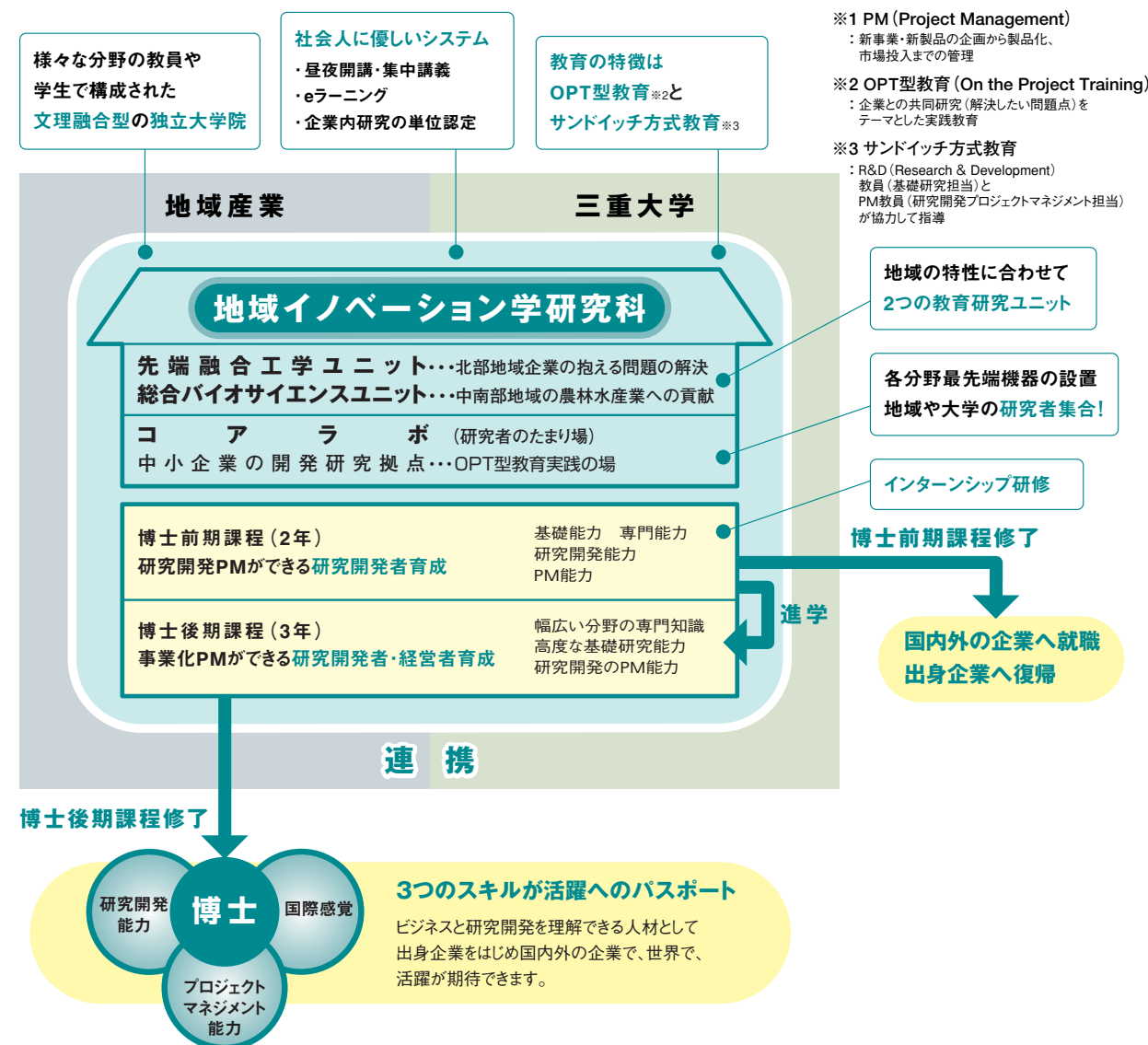
- ◎**地域の問題について自覚（感じる力）、問題解決方法を考える（考える力）、社会を発展させる（生きる力）意欲のある人。**
- ◎**幅広い知識と語学能力を持ち、さらに国際的に通用する基礎的研究能力およびコミュニケーション力を修養する意欲のある人。**
- ◎**多面的な視野に立った研究シーズの発掘とプロジェクト・マネジメントに興味があり、新規事業を起業し、地域社会の発展と国際社会の協調に関心がある人。**

“このような人を育てます”

- ◎**博士前期課程**
専門分野における研究開発を担当者として遂行できる能力（研究者としての能力）および研究開発プロジェクトを担当者として遂行できる能力（マネジメントに関する能力）を兼ね備えた人を育てます。
- ◎**博士後期課程**
自立した研究者として国際レベルの研究開発を責任者として遂行できる能力（研究者としての能力）および研究開発並びに研究開発を基にした新事業開拓（製品化）を責任者として遂行できる能力（マネジメントに関する能力）を兼ね備えた人を育てます。

2+3年間の学び ～どんな事を学ぶのか～

日本初!! 企業との共同研究を通して実践的に研究開発とPM※1（プロジェクトマネジメント）が同時に学べる大学院!



学びの特色

サンドイッチ方式教育

基礎研究能力の養成を担当するResearch & Development (R&D) 教員とプロジェクト・マネジメント能力の養成を担当するProject Management (PM) 教員が協力して1人の学生を指導するサンドイッチ方式教育により、それぞれの専門分野で活躍する「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」を育成します。

OPT型教育

産業界で求められる実践的能力の養成のため、地域企業との共同研究プロジェクトを「特別研究」の題材として活用する「On the Project Training (OPT) 型教育」を実施します。

研究科の目的・設置の背景

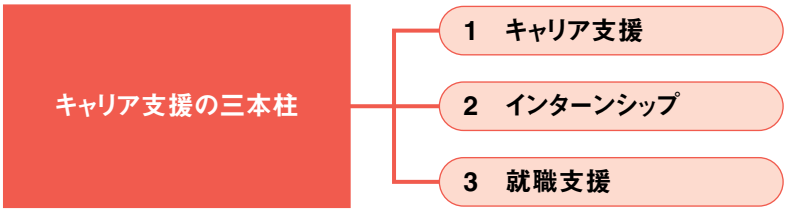
プロジェクト・マネジメント能力の養成と 地域発イノベーションの誘発

21世紀型新産業社会のビジネス・フィールドでは、研究開発能力だけでなく、種々多様な情報を基に、新事業・新製品の企画から製品の市場への投入までを完結できるプロジェクト・マネジメント能力を持つ人材が求められています。地域イノベーション学研究科は、そのような社会のニーズに応えるために「プロジェクト・マネジメントができる研究開発系人材」の育成を目指し、国内外のグローバル企業に活躍の場をもつだけでなく、地域産業をリードし、地域発イノベーションを誘発できる人材として送り出すことを目指しています。

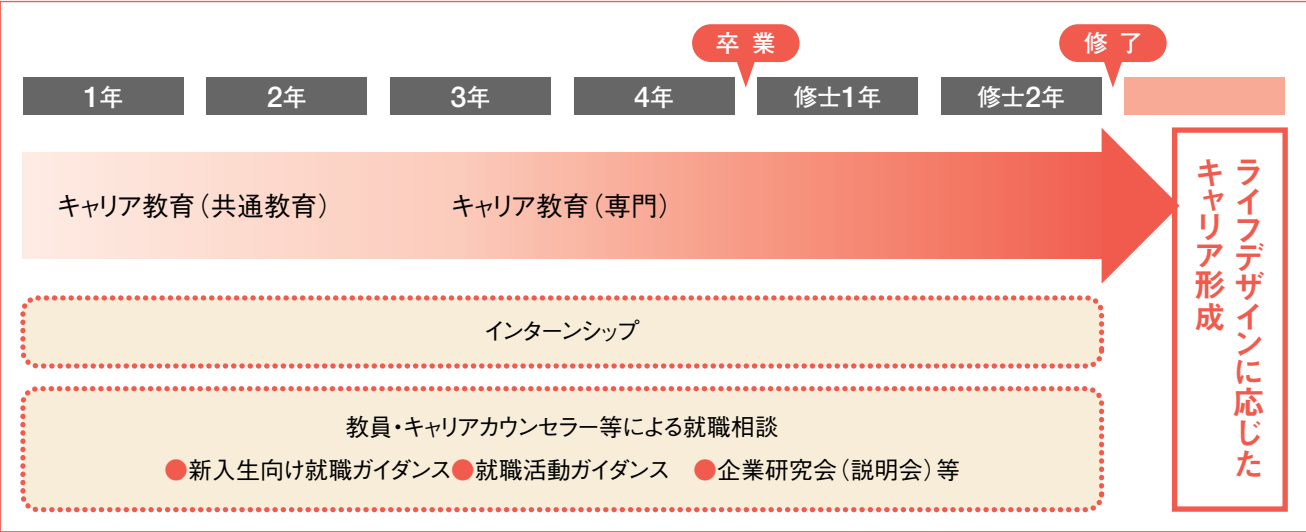
キャリア支援(就職支援)

キャリア支援センター

学生が低学年から主体的に進路が選択できるよう、全学的な立場から、キャリア教育、インターンシップ及び就職支援等を推進することを目的としてキャリア支援センターが設置されています。



キャリア支援策



キャリア教育

学生自らが人生の在り方を考え、それを将来の職業、そして生活へと結びつけていくことを可能にするために、学生のキャリア形成並びに修学を支援する授業科目を開講しています。平成22年度からは、新たに共通教育において主題「生きる力とキャリア形成」科目群を開設し、平成25年度に以下の科目を開講しています。

平成25年度開講科目			
◎アントレプレナー論	◎キャリア形成・能力開発	◎学習支援実践Ⅲ(日本語)	◎三重大ブランドづくり実践
◎三重大ブランドの創出	◎仕事・社会を知る	◎ピアサポート実践	◎男女共同参画実践
◎知財学入門	◎キャリア・インターンシップⅠ	◎学生生活支援実践	◎ボランティア実践
◎「4つの力」スタートアップセミナー	◎キャリア・インターンシップⅡ	◎留学生支援実践	◎社会連携実践Ⅰ
◎キャリアプランニング	◎法則探検入門	◎大学紹介実践	◎社会連携実践Ⅱ
◎こころのサポート	◎現代の消費生活と消費者の自立	◎広報誌編集実践	◎社会連携実践Ⅲ
◎AI一人と組織を生かす発想法―	◎学習支援実践Ⅰ	◎障がい学生支援実践	◎法則探検実践
◎就職とキャリア形成	◎学習支援実践Ⅱ(数学)	◎環境ISO実践	◎PBLセミナーⅠ

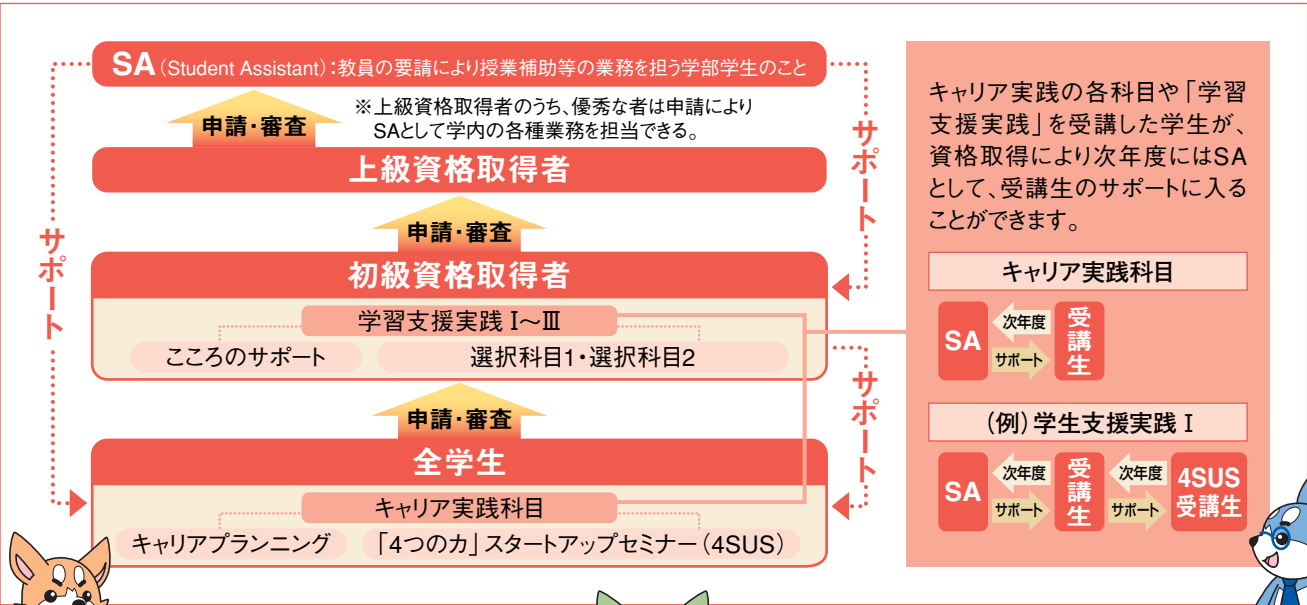
キャリア・ピアサポーター資格プログラム

キャリア・ピアサポーター資格を取得した学生(キャリア・ピアサポーター)が、次のような業務を通して、三重大学生の学生生活をサポートしています。

(キャリア・ピアサポーター資格については「三重大学共通教育履修案内」の資格教育プログラムのページをご覧ください。)

- ◎大学生生活に関して学生同士で相談できる窓口を開設
- ◎学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベント開催
- ◎修学支援企画を実施
- ◎学内の各種学生団体とのコラボレーション

キャリア支援センターでは、こうしたキャリア・ピアサポーターによる活動のバックアップも行っています。



インターンシップ

キャリア支援センターでは、キャリア教育の一環としてインターンシップを推進するため、インターンシップ説明会、事前研修会及び事後研修会の開催並びに受入企業の開拓、学生と企業とのマッチング及びインターンシップ保険の加入手続き等の支援を行っています。

インターンシップ日程表

	学 生	キャリア支援センター (就職支援チーム)
4月		受入企業開拓 受入企業紹介
5月	事前研修会 5月11日(土)13:00～ 三重大学講堂大ホール インターンシップ参加希望者に企業へ向かう心構え、ビジネスマナー他、履歴書の書き方、受入企業紹介、インターンシップ実施までの手続きの流れ等紹介します。	
6月	希望企業の受付開始 希望企業の受付終了	学生・企業マッチング
7月	インターンシップ実施	
8月		
9月		
10月	参加報告書等書類提出	
11月	事後研修会 10月23日(水)16:30～ メディアホール(総合研究棟Ⅱ 1階) インターンシップを体験してどうだったのか他の学生の意見を聞きます。	
12月		
1月		
2月	学部・研究科において成績評価・単位認定	
3月		

インターンシップ参加者数(平成24年度)

所 属	学 部							大学院			合計
	1年	2年	3年	4 年	5 年	研究生	小計	修士1年	修士2年	小計	
人 文 学 部	22	11	30			1	64	2		2	66
教 育 学 部	1		17				18	1		1	19
医 学 部							0	1		1	1
工 学 部	3	2	34	3			42	41	8	49	91
生物資源学部	8	11	24	4			47	4		4	51
地域イノベーション学研究科							0	10		10	10
合 計	34	24	105	7	0	1	171	59	8	67	238

インターンシップ受入企業一覧(平成24年度)

愛知県庁、株式会社ZTV、株式会社トピア、株式会社百五銀行、株式会社フローラ、株式会社マキタ、株式会社マスヤ、株式会社三重銀行、株式会社ミルボン、鈴鹿市役所、津市役所、東京海上日動火災保険株式会社、凸版印刷株式会社、三重県庁、ミキモト真珠島真珠博物館 他

就職支援

キャリア支援センターでは、学務部就職支援チームと連携して、就職ガイダンス、学内企業研究会、就職情報の提供、就職相談等を行っています。

就職ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/employment/>

就職情報コーナー

就職及びインターンシップに関する情報を提供しています。
学生が、自由に使えるパソコン及び資料を設置しています。

- ◎企業等の求人情報
 - ◎公務員募集要項
 - ◎合同企業説明会等案内
 - ◎就活参考書等
 - ◎就職ガイダンス資料及び貸出用DVD
 - ◎インターンシップ情報
 - ◎他大学大学院等入学案内
 - ◎学生用パソコン4台
- ※環境・情報科学館2階にも就職支援コーナーを設けております。

就職相談コーナー

- キャリア・カウンセラーが学生に対する個別の進路・就職相談に応じています。
- ◎進路に迷っている。
 - ◎自分はどんな仕事に向いているのかわからない。
 - ◎エントリーシートの添削をして欲しい。
 - ◎面接指導をして欲しい。
- など



ブース風景



学内企業研究会

就職ガイダンス等

本学では企業就職志願者対象の就職ガイダンスを開催しています。その他三重大学生協とタイアップした各種資格取得講座等も開講しています。

ガイダンス日程(平成25年度)

ガイダンス名等	日 時
今からでも間に合う就職活動再スタート講座	5月15日(水) 16:30～18:00
公務員試験対策講座	5月22日(水) 13:00～14:30、16:30～18:00
これだけは押さえよう! 就活スケジュール	5月29日(水) 16:30～18:00
職務適正検査(業界・企業・職種説明)	6月4日(火) 16:30～18:00
就活全般相談(フリースタイル)	6月12日(水) 13:00～17:00
日経新聞の読み方講座	6月19日(水) 16:30～18:00
入門編／グループディスカッション体験	6月26日(水) 13:00～15:00、16:30～18:30
社会人としての身だしなみとマナー	7月3日(水) 16:30～18:00
就職活動見直し検討会	7月10日(水) 16:30～18:00
生物資源学部生のためのこれからの仕事の探し方について	7月17日(水) 16:30～18:00
文系学部生のためのこれからの仕事の探し方について	7月25日(木) 16:30～18:00
グループ選考対策講座	7月31日(水) 13:00～15:00、16:30～18:00
労働法の基礎知識 就活テクニック	10月2日(水) 15:30～16:20、16:30～18:00
文系対象／理系対象 実践、業界企業研究	10月9日(水) 13:00～15:00、16:30～18:00
OB・OGに聞く! パネルディスカッション	10月16日(水) 16:30～18:00
ワーク エントリーシート対策	11月6日(水) 13:00～15:00、16:30～18:00
先輩に聞く就活の仕方	11月13日(水) 13:00～17:00
ワーク エントリーシート対策	11月20日(水) 13:00～15:00、16:30～18:00
就職活動間近にだけは知っておこう 就活のノウハウ	11月26日(火) 16:30～18:00
理系企業研究会	12月5日(木) 13:00～17:00
公務員等説明会	12月12日(木) 13:00～17:00
Pick up 学内企業研究会(500社予定)	12月21日(土)～25日(水) 09:30～17:30
これで面接マスター! 面接スタートに向けて	1月15日(水) 16:30～18:30

Pick up 学内企業研究会について

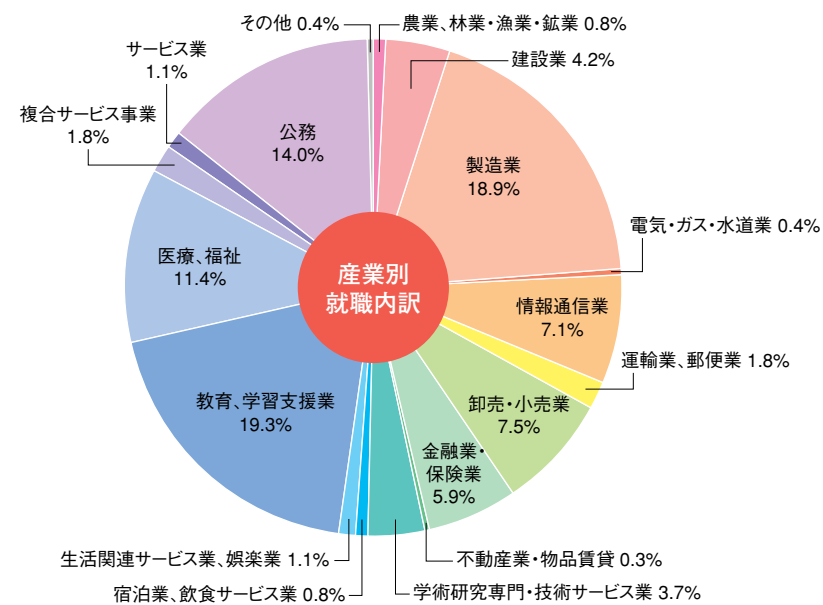
日 程:平成25年12月21日(土)～25日(水)の5日間
会 場:三重大学講堂にて
企業数:1日100社(午前50社・午後50社)、5日間で500社(予定)

平成25年5月1日現在

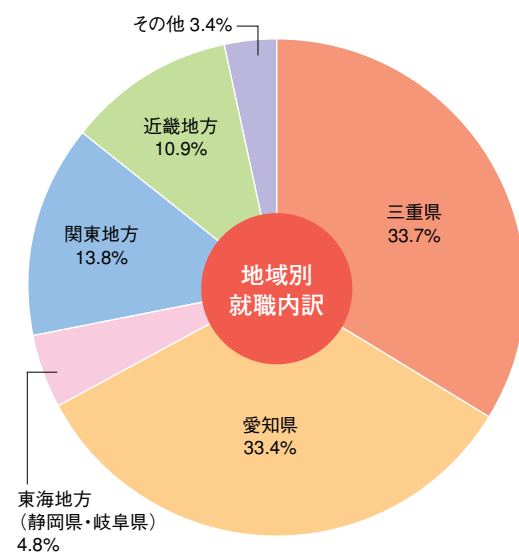
学部 区分		人文学部	教育学部	医学部		工学部	生物資源学部	合計
				医学科	看護学科			
卒業生内訳	卒業者数	305(166)	211(129)	103(27)	85(82)	407(50)	271(106)	1,382(560)
	就職者数	250(134)	171(107)		79(76)	145(25)	145(69)	790(411)
	進学者数	17(11)	17(6)		1(1)	243(25)	97(30)	375(73)
	臨床研修医			97(26)				97(26)
	その他	38(21)	23(16)	6(1)	5(5)	19(0)	29(7)	120(50)
	計	305(166)	211(129)	103(27)	85(82)	407(50)	271(106)	1,382(560)
就職者の産業別内訳	農業・林業・漁業・鉱業	1(1)					5(1)	6(2)
	建設業	3(1)				23(6)	7(2)	33(9)
	製造業	31(15)	6(6)			74(11)	35(13)	146(45)
	電気・ガス・水道業	2(0)				1(0)		3(0)
	情報通信業	20(15)	13(6)			12(3)	11(8)	56(32)
	運輸業・郵便業	7(2)	3(2)			1(0)	3(1)	14(5)
	卸売・小売業	31(19)	5(3)			4(0)	19(13)	59(35)
	金融業・保険業	28(19)	10(9)			1(1)	8(3)	47(32)
	不動産業・物品賃貸					1(0)	1(1)	2(1)
	学術研究専門・技術サービス業	6(3)	2(2)			14(2)	7(4)	29(11)
	宿泊業、飲食サービス業	3(1)	2(1)				1(0)	6(2)
	生活関連サービス業、娯楽業	7(4)	2(2)					9(6)
	教育、学習支援業	28(15)	111(63)			3(0)	11(7)	153(85)
	(内、教員)	13(6)	106(62)				3(3)	122(71)
	医療、福祉	11(6)	3(2)		74(71)	1(1)	1(1)	90(81)
	複合サービス事業	5(2)	2(2)				7(2)	14(6)
	サービス業	3(1)	1(0)			2(0)	3(1)	9(2)
	公務	63(29)	11(9)		5(5)	8(1)	24(11)	111(55)
	その他	1(1)					2(1)	3(2)
	就職先地域	計	250(134)	171(107)	0(0)	79(76)	145(25)	145(69)
三重県		70(37)	89(54)		48(46)	20(5)	39(17)	266(159)
愛知県		98(52)	43(29)		16(16)	65(5)	42(21)	264(123)
東海地方(静岡県・岐阜県)		13(7)	2(2)		1(1)	11(2)	11(4)	38(16)
関東地方		37(18)	19(11)		3(3)	24(7)	26(13)	109(52)
近畿地方		21(13)	13(8)		11(10)	23(5)	18(13)	86(49)
その他		11(7)	5(3)			2(1)	9(1)	27(12)
計		250(134)	171(107)	0(0)	79(76)	145(25)	145(69)	790(411)

()内は女子を内数で示す

◎産業別就職状況(平成24年度実績)



◎地域別就職状況(平成24年度実績)



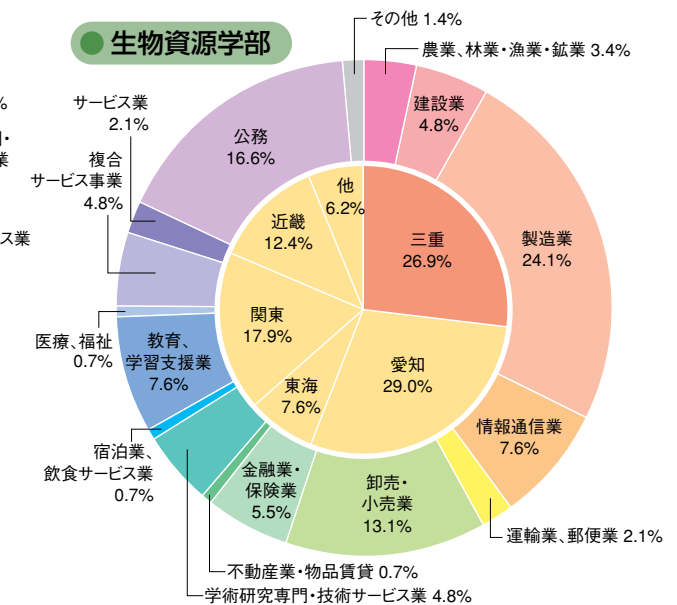
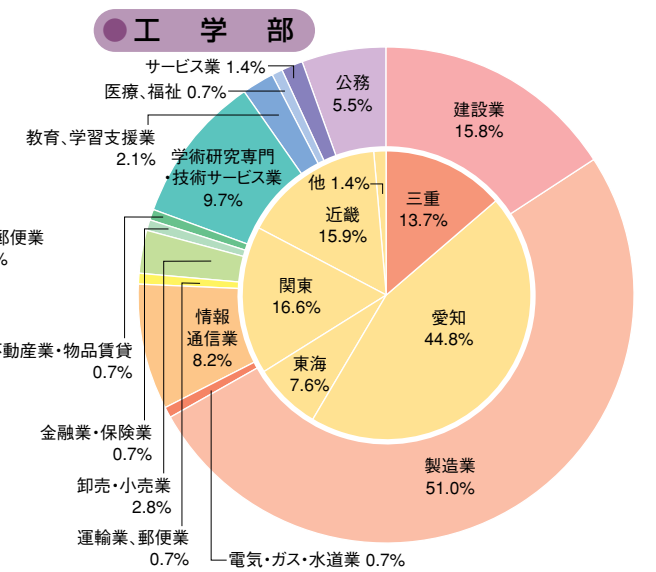
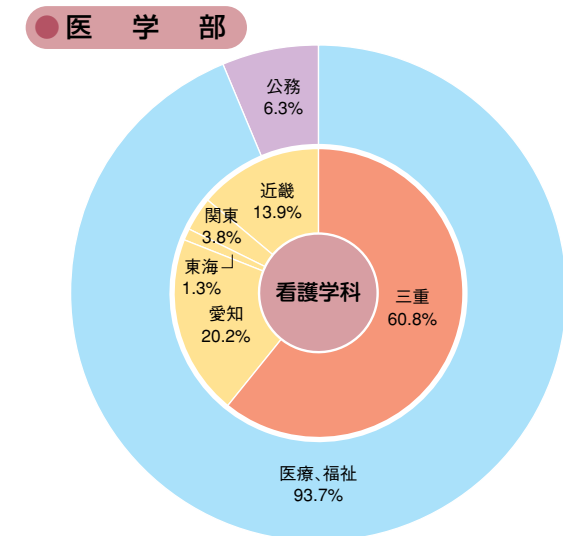
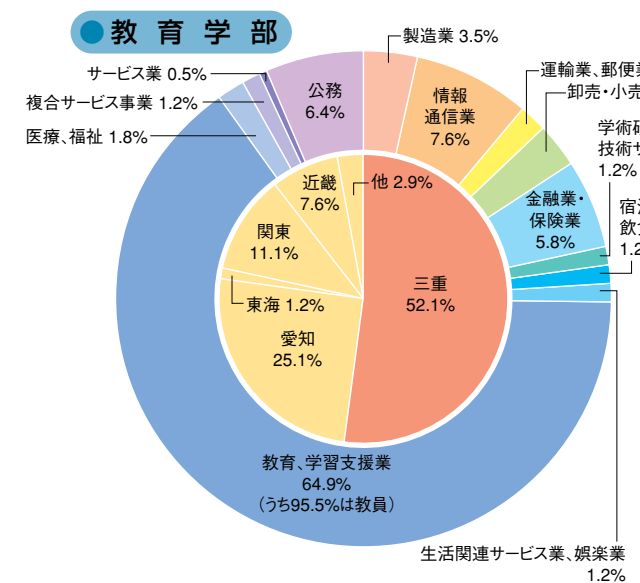
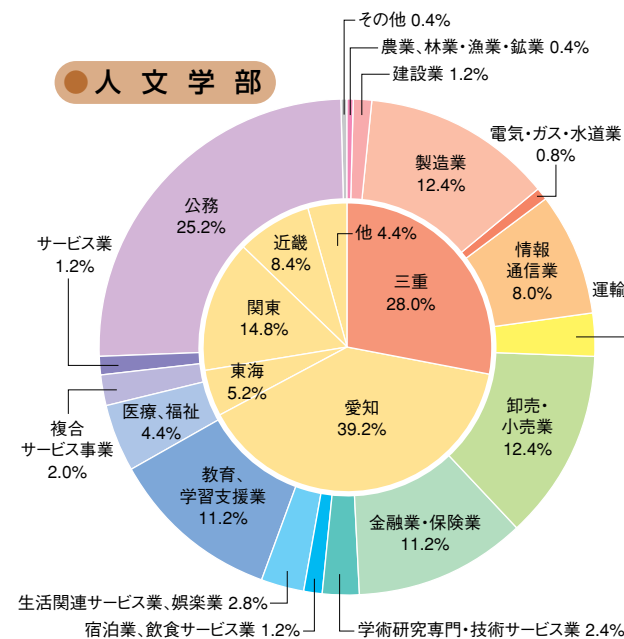
学部別就職状況

DATA

就職決定率

96.5% を達成!

※就職決定率とは、就職希望者に対する就職者の割合です。

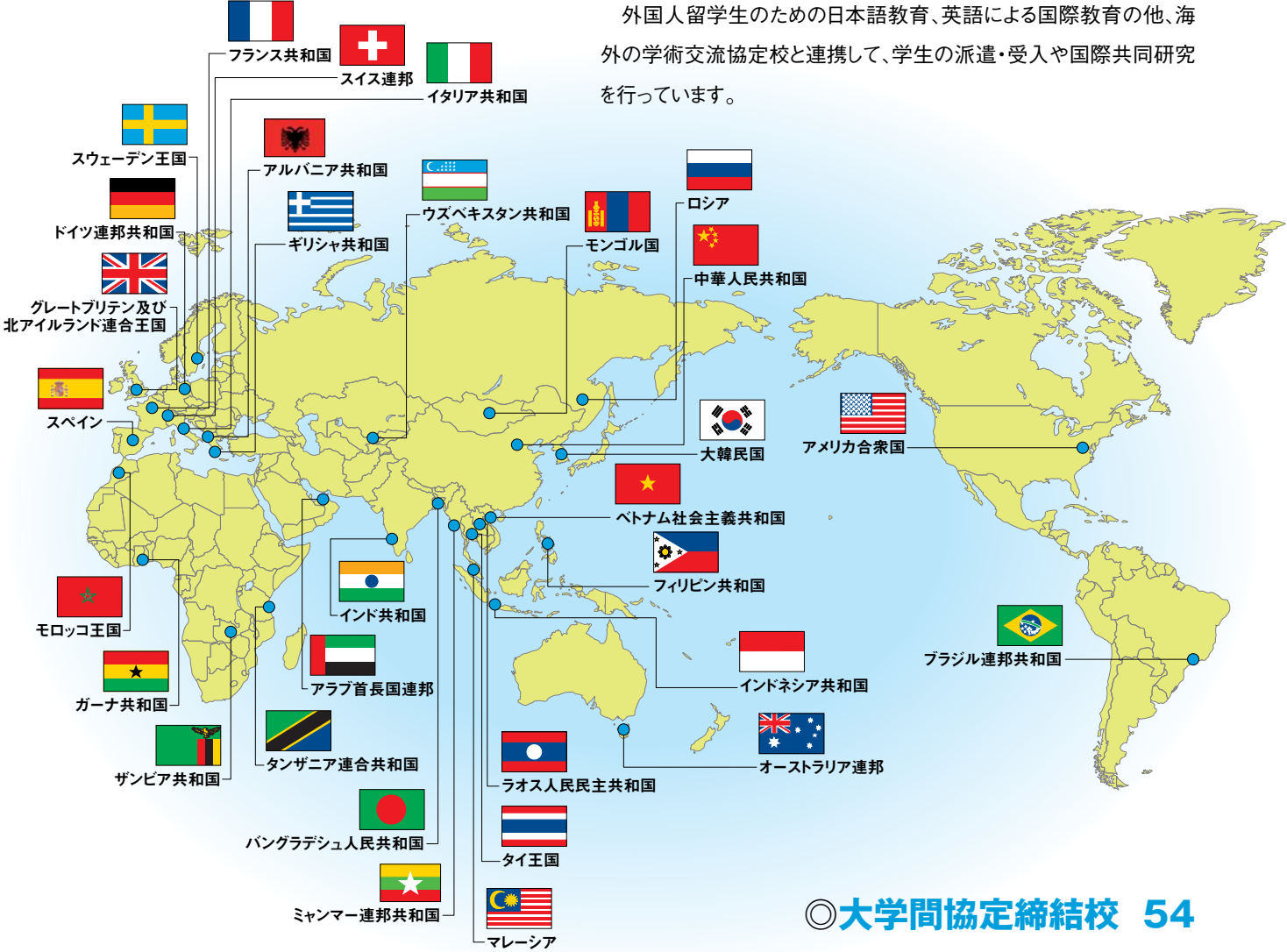


国際交流

INTERNATIONAL RELATIONS

国際交流センターは、三重大学の国際化の要となることを目指し、2005（平成17）年10月1日に留学生センターを改編し、学内共同教育研究施設として設置されました。

外国人留学生のための日本語教育、英語による国際教育の他、海外の学術交流協定校と連携して、学生の派遣・受入や国際共同研究を行っています。



◎大学間協定締結校 54
●学部間協定締結校 31

INTERNATIONAL RELATIONS

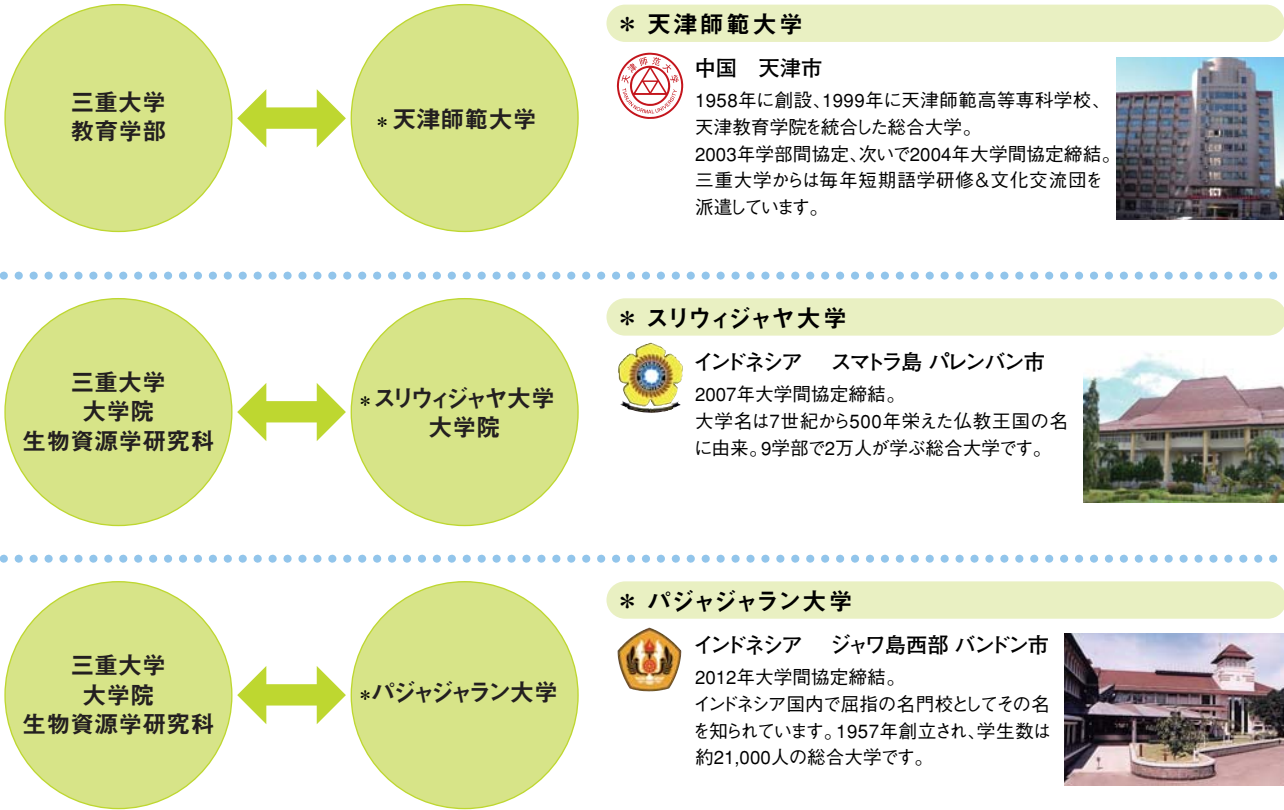
ダブルディグリープログラム（複数学位制度）

国際感覚、広い視野と専門知識を備えたグローバルな人材を育成します。

本学は海外の大学と学位授与に関する協定を結び、両大学の学生が双方の大学に在籍し、必要な単位を修得することにより両大学の学位を取得するダブルディグリープログラムを、学部レベルで天津師範大学（中国）と、大学院レベルでスリウィジャヤ大学及びバジャジャラン大学（インドネシア）との間にて実施しています。

ミッション

- ① 双方の大学の学位を修得
- ② 異文化体験を通じて国際感覚を養う
- ③ 海外体験を通じて実践的な語学能力の向上
- ④ キャンパスの国際化を加速



国際交流協定締結校 International Partner Universities

平成25年4月1日現在

大学間協定締結校

- ◎ ネブラスカ大学リンカーン校（アメリカ）
- ◎ ノースカロライナ大学ウィルミントン校（アメリカ）
- ◎ ハワイバシフィック大学（アメリカ）
- ◎ シャルジャ大学（アラブ首長国連邦）
- ◎ スリウィジャヤ大学（インドネシア）
- ◎ バジャジャラン大学（インドネシア）
- ◎ ハルオレオ大学（インドネシア）
- ◎ ボゴール農科大学（インドネシア）
- ◎ タシケント国立法科大学（ウズベキスタン）
- ◎ タスマニア大学（オーストラリア）
- ◎ カーディフ大学（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）
- ◎ セントラルランカシャー大学（グレートブリテン及び北アイルランド連合王国）
- ◎ CSEM社（スイス）
- ◎ ジャウメプリメル大学（スペイン）
- ◎ バレンシア州立工芸大学（スペイン）
- ◎ アジア工科大学院（タイ）
- ◎ カセサート大学（タイ）
- ◎ コンケン大学（タイ）

- ◎ スラナリー工科大学（タイ）
- ◎ タマサート大学（タイ）
- ◎ チェンマイ大学（タイ）
- ◎ メジョー大学（タイ）
- ◎ エアランゲン・ニュルンベルク大学（ドイツ）
- ◎ ハイデルベルク大学（ドイツ）
- ◎ フラウンホーファー研究機構（ドイツ）
- ◎ ボーフム大学（ドイツ）
- ◎ ライプツヒ大学（ドイツ）
- ◎ バングラデシュ農業大学（バングラデシュ）
- ◎ ビサヤ州立大学（フィリピン）
- ◎ サボア大学（フランス）
- ◎ ホーチミン市師範大学（ベトナム）
- ◎ 外国貿易大学（ベトナム）
- ◎ タチ大学（マレーシア）
- ◎ プトラマレーシア大学（マレーシア）
- ◎ モンゴル国立大学（モンゴル）
- ◎ ハバロフスク国立経済法律アカデミー（ロシア）

- ◎ 世宗大学校（韓国）
- ◎ 東国大学校（韓国）
- ◎ 梨花女子大学校（韓国）
- ◎ 安徽農薬大学（中国）
- ◎ 雲南大学（中国）
- ◎ 延辺大学（中国）
- ◎ 河南師範大学（中国）
- ◎ 江蘇大学（中国）
- ◎ 江南大学（中国）
- ◎ 上海海洋大学（中国）
- ◎ 西安理工大学（中国）
- ◎ 天津師範大学（中国）
- ◎ 内蒙古工業大学（中国）
- ◎ 南開大学（中国）
- ◎ 南京工業大学（中国）
- ◎ 北京外国語大学（中国）
- ◎ 廣西大学（中国）
- ◎ 瀋陽薬科大学（中国）

学部間協定締結校

※印のついている大学は、授業料等を徴収する協定大学

- 「人文学部」
- ルンド大学（スウェーデン）
- サンパウロ大学哲学・文学・人間科学部（ブラジル）
- ※ ● シャルレル・ド・ゴール リール第3大学（フランス）
- リヨン政治学院（フランス）
- 「医学系研究科」
- ※ ● ウェイン州立大学医学部（アメリカ）
- ニューメキシコ大学医学部（アメリカ）
- ※ ● マーサー大学医学部（アメリカ）
- ベルギア大学医学部（イタリア）
- アムリタ大学医学部（インド）
- ガーナ大学医学部（ガーナ）
- ザンビア大学医学部（ザンビア）
- イェーテボリ大学健康科学部（スウェーデン）
- ムヒンビリ健康科学大学医学部（タンザニア）
- ※ ● ロストック大学医学部（ドイツ）
- ヤンゴン第一医科大学（ミャンマー）
- ラオス健康科学大学（ラオス）

- ※ ● 上海交通大学医学院（中国）
- 蘭州大学第二臨床医学院（中国）
- ※ ● 廣西医科大学（中国）
- 「工学研究科」
- 財団法人クリーブランドクリニック医用生体工学ラーナー研究所（アメリカ）
- ティラナ工科大学（アルバニア）
- アテネ工科大学（ギリシャ）
- モンクット王ラカパン工科大学（タイ）
- バリ工芸大学（フランス）
- ルマン先進素材・機械学高等学院（ISMANS）（フランス）
- 清華大学熱能工程系及び同大学工程力学系（中国）
- 浙江大學理学院（中国）
- 「生物資源学研究科」
- モンクット王トンプリ工科大学生物資源学研究科（タイ）
- ハッサン2世農獣医学大学（モロッコ）
- ※ ● 釜慶国立大校（韓国）
- 温州大学生命環境科学学院（中国）

* キャンパスライフ

美しい三翠に囲まれた三重大キャンパスでは、四季折々たくさんの行事が繰り広げられます。

毎日の講義や実験、実習に加えて、三重大大学ならではの数々のイベントが、あなたの学生生活を豊かに彩ります。



入学式



大学祭



4月
April

- 入学式
- 新入生
オリエンテーション
- 前期授業開始

5月
May

- 開学記念日
(5月31日)

6月
June

- 教育実習

7月
July

- 東海地区
国立大学体育
大会
- 選抜要項
配付開始
- 前期定期試験

8月
August

- オープン
キャンパス
- 夏季休業

9月
September

- 推薦入試
募集要項配付
開始
- センター試験
受験案内
配付開始
- 教育実習
- AO入試(工)
- 三重大大学入試
説明会

10月
October

- 募集要項
配付開始
- 後期授業開始

11月
November

- 推薦入試
(人・教・生)
- 大学祭

12月
December

- 東海地区
国立大学文化祭
- 冬季休業

1月
January

- 大学入試センター
試験
- 個別学力検査
出願受付開始

2月
February

- 個別学力検査
(前期日程)
- 後期定期試験
- AO入試(工)
- 推薦入試
(人・教・医・生)

3月
March

- 個別学力検査
(後期日程)
- 学位記授与式
- 春季休業



オープンキャンパス



学位記授与式



＊三重大生の一日

三重大学に入学したら、一体どんな生活が待っているのかな？
在学生の暮らしを参考に、自分のスタイルをイメージしてみよう！

医学部看護学科 2年
前田 一夢 さん

結束力は固いです。看護師を目指す男子学生、頑張ってます！



私は電車通学で合計1時間かけて、自宅から通っています。自分達の学科は、1年生のときに授業を多くとって、2年生時に余裕を持たせる人が多いと先輩達から聞いたので、自分もそのようにしました。1年生で忙しいといっても、バイトやサークルの時間も充分にとれたので、三重大学は誰でも楽しめる場所だと思います。

サークルではいろんな学部の人達と仲良くなれて、楽しみの幅が広がるので、ぜひ何かのサークルに入ることをオススメします。三重大学は図書館や自習室、休憩室など設備も充実しており、授業の合間などの空き時間も暇なく過ごすことができるので、とても満足しています。



精神看護学という
メンタルヘルス等について
の授業です



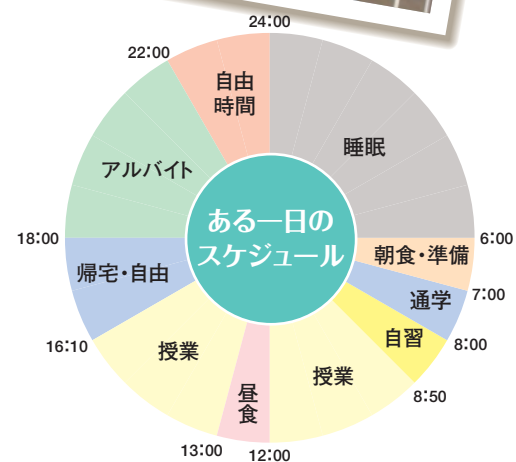
お昼は「弁当男子」で
仲良く...

時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1		看護技術II			小児看護学I
2		"			看護理論と看護課程
3		精神保健看護論	看護病態学III		"
4		母性看護学I	"	成人看護学I	"
5					看護病態学II

※この時間割は一例であって、すべての学部がこのようになるわけではありません。

この一日!



工学部分子素材工学科 3年
只野 佑理恵 さん

気の合う仲間と助け合い学生生活を満喫しています



私の所属している学部は工学部です。工学部と言えば男子のイメージが強いかもしれませんが、最近では理系女子も増えてきています。私の場合、女子だけで実験を行うこともあり、リケジョ同士、助け合いながら楽しく実験をしています。

授業のない時間や昼食時には、友達と勉強のことはもちろんプライベートな話もしています。また、授業後にはレポートや課題をするために図書館に行ったり、友達と食事をしに行くこともあり、充実した日々を過ごしています。

みなさんも素敵な仲間と楽しい学生生活を送りましょう。



電気工学通論
という授業で、
電気の現象について
学んでいます。



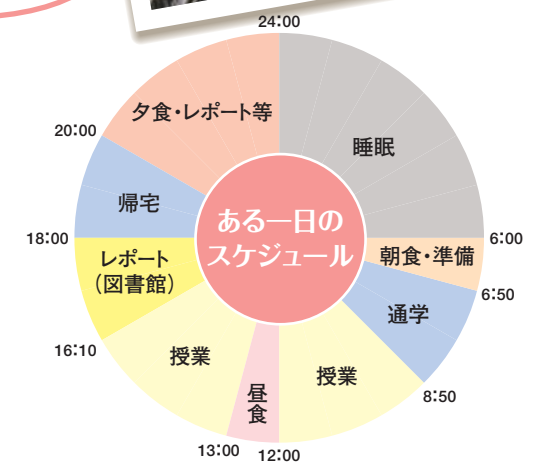
図書館では調べものをしたり、
自習やレポートをしたりしています。

時間割

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1				電気工学通論	
2		有機機能化学	生物化学演習B	高分子合成化学	無機素材化学
3		特別講義IV	化学実験II	特別講義II	化学実験II
4	生物化学B	"	"	"	"
5			"		"

※この時間割は一例であって、すべての学部がこのようになるわけではありません。

この一日!



学生寮・アパート

学生寄宿舍

三重大学には、3つの学生寄宿舍があります。

入寮の募集等は、掲示板、三重大学ホームページ等で随時お知らせします。

なお、入学予定者への募集人数及び申請期間等の詳細は、入学試験合格者へ大学から郵送する「入学手続要項」においてご案内します。

概要	所在地	建物		収容人数	居室		寄宿料	食堂	その他
		構造	面積		一室収容	面積			
男子寮 (安濃津)	津市栗真中山町 166番地	鉄筋コンクリート 4階	3,851㎡	109人	1人	14㎡	8,000円	無し (補食室有り)	徒歩約15分
女子寮 (清和)	津市栗真町屋町 字中新畑561番地	鉄筋コンクリート 3階	1,245㎡	60人	1人	9㎡	7,100円	無し (補食室有り)	徒歩約3分
国際女子寮 (碧海)	津市江戸橋 2丁目174番地	鉄筋コンクリート 4階	2,137㎡	75人	1人	13㎡	5,900円	無し (補食室有り)	キャンパス内

※男子寮の入居許可期間は、入学の日から2年間となっています。



男子学生寄宿舍



女子学生寄宿舍



国際女子学生寄宿舍



アパート・下宿

<http://mucoop.jp/support/house.html>

下宿・アパート・マンション等の案内は、三重大学生生活協同組合が年間を通して斡旋しています。

多くがキャンパス周辺にあり、現地まで案内をしています。

部屋の設備は風呂、トイレ、キッチン、エアコン、高速インターネット対応等を完備した物件が大半を占めています。

種類	6帖	8帖～10帖
下宿	8,000円～20,000円	
アパート	20,000円～	35,000円～
マンション	30,000円～	40,000円～

※なお、この料金の他に共益費・水・光熱費などが必要です。

福利厚生施設・設備

三重大学生生活協同組合

本学キャンパス内に、生活協同組合の店舗や食堂があり、学生、院生、教職員の福利厚生施設として、勉学研究や日常生活をサポートしています。

◎生協ホームページ◎ <http://mucoop.jp/>

食堂

キャンパス内に2つの食堂とレストランがあります。

栄養バランスのとれた豊富なメニューで安心安全な食生活を提供しています。

●第1食堂



生物資源学部となりにあるメイン食堂(学食)です。教職員のみならずも利用します。お昼にはすごい行列ができます。一見の価値があります。セルフサービスのカフェテリアスタイルの食堂です。サンプルケースで食べたいものを決めたらトレイ、お箸、湯のみを持ってカウンターへ並んで注文

します。自分の食べたいものがそろったらレジで精算です。プリペイドカードだと早く精算できます。サラダバーは1グラム1.26円で利用できます。朝食・昼食・夕食の三食を食べることができる食堂です。

購買

翠陵店は図書館西隣、翠陵会館1階にある、購買・書籍のお店です。コンビニフロアでは、文具用品をはじめ、大学での研究活動に貢献するための商品を販売しています。パソコン本体・周辺機器販売、サポートを行っています。食事は、お弁当、おにぎり、パン、サンドイッチ、飲料、デザート、菓子、食品を販売しています。書籍フロアでは、専門書(人文・社会・法経・政治・教育・自然科学)、文芸一般、語学書、文庫、新書雑誌、資格書、パソコン書、洋書など販売しています。

書籍

書籍フロアでは話題の新刊やベストセラー、大学の講義ゼミ等に必要な参考書や専門書を揃えています。新学期には教科書を販売します。



アルバイト紹介 共済・保険

アルバイト紹介は、年間で家庭教師など約350件取り扱っています。ほかにも学生総合共済や保険を取り扱っています。



ミニストップ三重大学店



全国ではじめてレジ袋を置かないコンビニとして注目され、太陽光発電やLED照明設備など環境にも配慮されています。



●第2食堂



工学部の西側、講堂三翠ホールと医学部看護学科校舎の間にある平屋の白い建物です。第1食堂同様、もうひとつのメイン食堂です。こちらは医学部、工学部の方がたくさん利用しています。セルフサービスのカフェテリアタイプの食堂です。サイドメニューも充実しています。

●レストラン「ばせお」



「ばせお」とはスペイン語で散歩道の意味です。翠陵会館2階にある隠れ家的存在のレストランです。お財布と時間にちょっと余裕がある方にはおすすめです。このレストランはフルサービスで利用いただけます。



住まいの斡旋

アパート・マンションの住まいを斡旋しています。大学周辺で約4,000室の物件を取り扱っています。19,000円～58,000円の物件が中心です。



トラベル・交通機関・キャリア

旅行や帰省のチケット手配、交通機関や宿泊の予約、語学研修やホームステイ、自動車学校の斡旋、各種資格検定の受付を行っています。



三重大学附属図書館



附属図書館は、延面積約8,200㎡、閲覧座席数741席を備え、約93万冊の図書を所蔵しています。

平成25年春、改修工事によりリニューアルした附属図書館は、多様な学習の場に対応できるフロア構成になっています。フロアによって機能が異なります。1階は、ラーニングコモンズというグループ学習のエリアです。コモンズとは共有空間を意味します。学生同士で相談あったり、ディスカッションをしたりしながら学習することができます。机やイスは可動式なので必要な学習空間を自分たちでデザインしてください。多様な新聞を閲覧できる新聞コーナー、DVDなどを鑑賞できる視聴覚コーナーもあります。2階は、参考図書や学習用図書があるエリアです。パソコンや研究用の個室を利用することもできます。3階は、静かに学習するエリアです。ノートパソコンの利用を禁止するなど、完全に静かな学習空間となっています。

附属図書館における情報リテラシー関連活動について

附属図書館では、皆さんの学部あるいは大学院での学習・研究活動を支援するため、資料の収集や情報サービスの充実に努めています。なかでも、学術情報リテラシー*は今後の学習・研究活動の成否を左右するものですので、その育成を支援する活動には特に力をいれております。

*学術情報リテラシー：学術情報リテラシーとは、主にコンピュータとネットワークによる学術的情報の収集発信（読み書き）能力を指します。

活動内容は大きく分けて次の3種類になります。

図書館利用ガイダンス

- ・図書館ツアー
- ・書庫利用ガイダンス

情報検索講習会

- ・蔵書検索コース
- ・国内文献検索コース
- ・海外文献検索

その他

「授業内容に関連した講習会」など



◎開館時間◎

- 平日（月～金）8:45～21:45
- 土・日・祝日 9:00～18:30
- 春・夏・冬季休業期（月～金）8:45～17:00

◎休館日◎

- 入学試験日（一般入試）、年末年始（12月28日から1月4日）
- 夏季一斉休業日、春・夏・冬季休業中の土・日・祝日
- システムメンテナンスに必要な日

◎図書館利用券について◎

- 学生証が「図書館利用券」として使用できます
- カードを閲覧室入口のカードリーダーに読みとらせるとゲートが開き、入室できます
- 本人以外での使用は禁止します

◎図書館利用に関するお問い合わせ◎

- 三重大学附属図書館 利用者サービス担当
- TEL：059-231-9088（平日：9:00-17:00）
- E-mail：lib-service@ab.mie-u.ac.jp



環境・情報科学館くめーぷる館

Mie Environmental & Informational Platform : MEIPL

- スマートキャンパス・コミュニティの情報発信
- 情報社会の中での学習環境の整備充実
- 教職員・学生・地域住民の交流館



環境・情報科学館は、めーぷる館（MEIPL：Mie Environmental & Informational Platform）とも呼ばれ、環境学習の充実や電子媒体での学習・教育研究を図ることを目的とした鉄筋3階建ての建物です。

環境・情報科学館は、アカデミック・コモンズの一角として、2階の連絡通路でつながっている附属図書館と一体化して、学生による新しい知の創出と共有の場となることを想定しています。

また建物には太陽光パネル、屋上緑化、LED照明、CO₂センサーなどの自然光の活用やエネルギーロスを削減する工夫など、様々な環境配慮技術が施されており、1階展示ホールのマルチディスプレイシステムの周りには、本学の生物資源学部附帯演習林の間伐材を再利用しています。

3階 授業やゼミのための新しい教室空間



PBL演習室、ティーチングコモンズ

2階 利用者自身がデザインする学習空間



ラーニングコモンズ

1階 環境情報の発信拠点



展示ホール

【人材育成機能】

廊下側の壁がないオープン・スクール形式の教室空間では、それぞれのプライバシーを確保しながら、お互いの気配を感じるによって、刺激しあえる空間となっています。可動式の椅子やテーブルを備えていますので、多様な教育方法に対応できます。

四方に壁のある教室空間では、新しいテクノロジーを活用しながら、小規模クラスの課題探究活動を促します。教員の教育活動を支援するティーチング・コモンズも備えています。

【図書館機能】

利用者間の情報共有や新しい発想を促すために、可動式の椅子やテーブル、ホワイトボード、本棚を備えています。利用者自身が必要とする学習空間をデザインできます。PCステーションでは、必要な情報資源にアクセスしたり、入手した情報を分析・整理したりできます。また、よりプライベート感をもって課題探究活動ができるグループ学習室、ゆったりくつろいだり、談話したり、休憩したりするためのソーシャル・スペースもあります。

【企画・展示機能】

世界一の環境先進大学及び社会貢献度日本一を目指すために、環境に関する取組や研究成果を分かりやすく展示し、環境を学べるコーナーや交流スペースを設けて、環境団体や企業、自治体などと連携して環境教育・研究等の情報発信を行う拠点（プラットフォーム）となります。また、地域との協働の場とするために、地域コミュニティとの交流を行います。

学びのサポート

学生支援システム

大学に入り学生生活を送る上で、勉学上、健康上及び経済上等、さまざまな問題が発生する場合があります。本学では学生が快適な学園生活を過ごせるよう種々の支援を行っています。

学生総合支援センター

本学学生の修学、就職、生活及び健康等への支援体制を充実し、快適な学生生活の実現を図ることを目的として、平成18年4月に「学生総合支援センター」が設置されました。

学生総合支援センターは、①学生支援の総合的推進、②センター内各施設（学生生活支援室、障がい学生支援室、学生なんでも相談室、キャリア支援センター）間の連携・調整、③その他学生の支援に関する業務を行います。

学生なんでも相談室

学生なんでも相談室は、学生生活を送る上で困ったことや、分からないことが起きた時に気軽に相談できるところです。学業・友人関係・将来の進路・健康のこと・日常生活の問題など、なんでもどんな相談でも受け付けており、スタッフと一緒に解決策を考えていくことができます。長い大学生活の中では、一人で考えてもうまくいかないこと、友達には相談しづらいこと、友達と相談しても解決できないことがたくさん出てくることでしょう。そんな場合には、遠慮なくお気軽に相談室をご利用ください。また、在学中のお子様に関する保護者からのご相談も承っております。相談内容の秘密は厳守します。相談をご希望される方は、直接相談室へ来て頂くか、電話またはメール（sodan@ab.mie-u.ac.jp）などで連絡してください。

◎場 所◎ 総合研究棟Ⅱ1階

◎開設日◎ 月曜日～金曜日（祝日は閉室します）

◎時 間◎ 10:00～13:00及び14:00～17:00

インターカー（受付担当）がお話をうかがって、相談内容によってカウンセラーや相談員の先生を紹介します。

◎相談申込み方法◎

予約優先ですが、スタッフの時間が空いていれば、その場で相談することも可能です。

予約受付は、来室、電話、FAX、Eメールでも行っていますが、その場合は必ず所属学部、学年、氏名、連絡先等をお知らせください。折り返し連絡します。

TEL.059-231-9783／FAX.059-231-9783

URL <http://www.mie-u.ac.jp/life/consultation/index.html>

ピアサポート

キャリアピアサポーター資格（「共通教育」参照）を取得した学生（キャリアピアサポーター）が、次のような業務を通して、三重大学生の学生生活をサポートしています。

◎大学生生活に関して学生同士で相談できる窓口の開設。

◎学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベントの開催。

◎修学支援企画を立案・実施。

◎学内の各種学生団体とのコラボレーション

学生総合支援センターでは、こうしたキャリアピアサポーターによる活動のバックアップも行っています。

保健管理センター

保健管理センターは、保健に関する専門的業務を行うところで、皆さんの健康の保持増進を図ることを目的として、医師・保健師・看護師及び心理カウンセラーが専門的な立場から“こころ”と“からだ”両面の相談に応じています。特に心の健康は充実した学生生活を送る上で大変重要なことです。

心の悩みや不安、進路問題、友人関係での悩み等、また、身体の異常や病気の相談等、気軽に話し合える場所として積極的に利用してください。

業務内容は、定期及び臨時の健康診断、健康相談応急処置、精神衛生相談、生活上の諸問題についての相談、各種の医学的検査、その他心身の健康保持増進についての必要な指導及び調査研究、健康診断書の発行等を行っています。

保健管理センターの利用案内は下記のとおりです。また、日程表のとおり専門医による相談も設けられています。

◎場 所◎ 保健管理センター

◎開室日◎ 月曜日～金曜日（休業日を除く）

◎時 間◎ 9:00～17:00

◎相談申込み方法◎

保健管理センター内事務室へ申し出てください。

利用者の氏名、相談の内容等については秘密を厳守します。

TEL.059-231-9068／FAX.059-231-9049

相談日程表

相談内容	相 談 日 時	担当医師等	相談場所
こころ	月 9:30～11:30	精神科医	完全予約制 （Online 電話でも予約可）
	水 14:00～16:00		
	金 9:30～11:30		
からだ	水 12:00～15:00	心理 カウンセラー	完全予約制 （電話でも予約可）
	木 14:00～17:00		
	内科 月～金 9:00～17:00	内科医	予約不要
健康面全般	外科・眼科・耳鼻科・皮膚科・ 整形外科・婦人科・泌尿器科		
	月～金 9:00～17:00	保健師・看護師	予約不要

主な年間予定

月	行 事
4月	新入生健康診断
	在来生健康診断
	新入生に対するGHQスクリーニング及びメンタルヘルスの保健指導
5月	医学部2年生 B型肝炎3回目ワクチン接種
6月	電離放射線健康診断（春季）
7月	保健体育科実習前心電図検査
10月	医学部1年生 B型肝炎1回目ワクチン接種
11月	秋季入学生健康診断
	医学部1年生 B型肝炎2回目ワクチン接種
12月	電離放射線健康診断（秋季）
	保健体育科駅伝参加者心電図検査
1月	医学部1年生ツベルクリン反応検査
2月	次年度卒業修了予定者及び医学部・大学院医学系研究科在来生健康診断
3月	卒業生に対するメンタルヘルスの保健指導

学びのサポート

経済援助システム

奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金の他に、地方公共団体及び民間育英団体からも募集があります。

I 日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類		第一種奨学金		第二種奨学金	
特 徴		① 貸与奨学金 ※給付ではないので、卒業後に分割して返還します			
		② 無利子 ※貸与総額のみを返還		② 有利子（利率上限 年3.0%）※貸与総額に利息も併せて返還	
		③ 貸与月額は2種類から選択		③ 貸与月額を選択できます（貸与開始後に月額の変更も可能）	
		④ 家計基準は二種より厳しい		④ 家計基準は一種より緩やか	
		⑤ 学力は高校評定値が3.5以上必要		⑤ 学力基準は一種より緩やか	
奨学金の月額	学部生	自 宅 通 学	30,000円、45,000円から選択	3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から選択	
	学部生	自 宅 外 通 学	30,000円、51,000円から選択		
貸与始期	大学院生	修士・博士前期	50,000円、88,000円から選択	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択	
	大学院生	博士後期・博士医	80,000円、122,000円から選択		
貸 与 方 法	学部生	4月から			4月～9月の間で希望する月から
	大学院生	4月から			
入学時特別増額貸与		申込時に指定した金融機関口座へ毎月11日頃に振り込まれます			
		上記何れかの奨学金貸与を受ける新入生（編入学者を含む）は、一定の条件を満たす場合に限り、希望により、奨学金の初回振込時に入学時特別増額（10万、20万、30万、40万、50万円から選択）（有利子）を貸与を受けることができます。			

II その他の奨学金（地方公共団体や民間団体等の奨学金）

① 各団体から「募集案内」が届きますので、各学部掲示板に「募集内容の一覧」を掲示してお知らせします。募集は4月に集中しています。

② 各団体ごとの募集の有無や募集人数は、年度によって異なります。

③ 各団体とも募集人数は多くありません。

④ 日本学生支援機構の奨学金を貸与される学生には、奨学金を貸与しない団体もあります。

⑤ 三重大学へは「募集案内」が届いていなくても、自分の出身地の県や市町村が募集している場合があります。自分で調べてみることも必要です。

大学独自の奨学金

◎ 看護学生奨学金制度について

対 象 者：医学部看護学科に在学中の方で、免許取得後、本学医学部附属病院の看護師・助産師として勤務を希望する方（2年生以上）

貸 与 額：月額50,000円

貸 付 期 間：貸与を決定された年度の4月から卒業する月まで

返還の免除：卒業後、看護師・助産師の免許を取得され、本院に採用となり、一定期間勤務されたときは奨学金の返還が免除

【問い合わせ先】 TEL 059-231-5045

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp> <http://www.medic.mie-u.ac.jp/nurse>

◎ 渡邊文二奨学金

渡邊文二氏（三昌物産㈱取締役相談役）による学生の就学を支援する制度対象は、生物資源学部の学生で年額48万円（学部学生）、年額60万円（大学院生）を給付

給付された奨学金は、原則として返還を要さない。採用されると2年間継続して給付を受けることができる。

【問い合わせ先】 TEL 059-231-9673

E-mail bio-somu@ab.mie-u.ac.jp

授業料免除制度

経済的理由、その他特別な事情により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績優秀と認められる学生に対して、申請により授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

免除の対象

審査基準（学業成績及び家計困窮度）に合致し、次のいずれかに該当する場合は、本人からの申請に基づき、選考の上当該期分の授業料の〈全額〉又は〈半額〉が免除されます。

ただし、授業料免除許容総額には、上限がありますので「全額免除有資格者」及び「半額免除有資格者」の全員が必ずしも免除されるとは限りません。

なお、審査基準（学業成績及び家計困窮度）等は「授業料免除等申請のしおり」に掲載しておりますので参照してください。

1. 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者
2. 授業料の納期前6ヶ月以内（新入生の前期分は、入学前1年以内）において、学費を主として負担している者（以下「学費負担者」という）が死亡し、又は学生若しくは学費負担者が風水害等の災害を受け授業料の納付が著しく困難であると認められる場合
3. 2に準ずる場合であって、学長が相当と認める理由がある場合

「授業料免除申請」と「徴収猶予申請」の併願申請はできません。

授業料の徴収猶予

徴収猶予の対象

次のいずれかに該当する場合は、本人からの申請に基づき、選考の上当該期分の授業料の徴収が猶予される制度があります。

1. 経済的理由によって納付期限までに授業料の納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合
2. 授業料の納期6ヶ月以内（新入生の前期分は、入学前1年以内）において、学費負担者が死亡又は、学生若しくは学費負担者が災害を受け、授業料の納付が困難であると認められる場合
3. その他やむを得ない事情があると認められる場合

徴収猶予の申請手続

徴収猶予の申請書類は、学務部学生サービスチームへ提出してください。

※1及び2の場合の申請手続及び選考等は、全て授業料免除に準じます。

Activities, Clubs and Circles



課外活動

課外活動は、学生が自主的・自立的に行う正課教育外の諸集団活動です。

大学教育においては、学力の養成と人格の形成をその目的にする授業が重要であることはいうまでもありませんが、同時に課外活動も重要です。広く友を得、先輩や後輩との交流を通じて正課では得られない経験や知識・技能が習得出来るだけでなく、連帯感や協調性を育て、また判断力・創造力等を養う等、本学の実教育目的である「感じる力」・「考える力」・「生きる力」の涵養のためにも果たす役割は大きなものがあります。

本学には多くのクラブ・サークル等が活動していますので、大学生活を豊かにするためにも積極的に参加し、意義のある学生生活を送ってください。

自治会活動

本学には、各学部学生自治会が組織されています。その目的は、学生の自主的活動によって、より豊かで明るい学生生活を期するところにあります。

大学が学生の自主的活動を認めているのは、学生生活における自立性のかん養、社会性の陶冶あるいは学生相互の啓発等の教育的意義から、学生の人間形成に役立つものであると考えるからです。

学生はこの点を十分理解し、その運営に当たっては、健全にしかも学生の総意が正しく反映されるように積極的に参加するよう期待しています。

サークル活動

サークル加入率

2012(平成24)年度

	サークル数	加入者数
体育系	80	2,416
文科系	66	1,700
計	146	4,116
学部の学生数		6,142人

学部学生に対する
加入者比率

67.0%

Clubs & Circles

2012年度 主要成績・実績

◎全学弓道部

第56回東海リーグ
秋季リーグ戦 男子／準優勝
女子／優勝

◎全学バドミントン部

第61回東海地区国立大学体育大会
男子 優勝

◎医学部弓道部

第46回全日本医科学生 弓道大会
個人／優勝

◎医学部卓球部

第64回西日本医科学生 総合体育大会
男子シングルス／優勝
女子団体戦 優勝
女子ダブルス 優勝

◎ラインブレイク(釣り)

第26回全日本学生釣り選手権大会
団体部門／優勝

◎極津

にっぽんど真ん中まつり 奨励賞
津まつり 安濃津よさこい準大賞



カッター部(端艇部)



馬術部



写真部

体育系の課外活動 〈クラブ・サークル一覧〉

陸上競技部
水泳部
硬式野球部
準硬式野球部
サッカー部
ラグビー部
アメリカンフットボール部
馬術部
硬式テニス部
ソフトテニス部
ハンドボール部
バレーボール部
バスケットボール部
バドミントン部
卓球部
体操競技部
ダンス部
柔道部
剣道部
空手道部
少林寺拳法部
日本拳法部
合気道部
ワンダーフォーゲル部
ゴルフ部
弓道部
アーチェリー部
ヨット部
ボート部
カッター部
自動車部
トライアスロン部
応援団
テニスサークルBEANS
球技サークルMARIMO
極津(よさこい・女子)
BLUE MARINE(スキndaイビング)
バスケットボール同好会
ボウリング部
狩り(マッチョ(サッカー)
ブルーロゼット(テニス)
天狗(よさこい)
まいのり(テニス・バドミントン)
WILL(テニス)
合気研究会
ビスケ(バスケット)
ハンドボールサークルFTH

Wild Geese(アウトドア)
サイクリングサークル
ラインブレイク(釣り)
ダイビングサークル
ジャグリングサークル
ネクスト(ストリートダンス)
Links(ソフトテニス)
Hoop(バスケット)
フラメンコサークル OLe!
PLUS STYLE(筋力・体カトレーニング)
RED HAPPINESS(軟式野球)
合気道・武の道
YouCanSEA
すまっしゅ
航空部

体育系(医学部)

陸上競技部
硬式テニス部
ソフトテニス部
卓球部
バドミントン部
バスケットボール部
バレーボール部
サッカー部
ラグビー部
ハンドボール部
剣道部
ゴルフ部
準硬式野球部
弓道部
山岳部
競技スキー部
空手道部
水泳部



アメリカンフットボール部



少林寺拳法部

文化系の課外活動 〈クラブ・サークル一覧〉

管弦楽団
吹奏楽団
ギターマンドリンクラブ
ギタークラブ
邦楽部
室内楽団
合唱団
写真部
美術部
ESS(英語研究会)
軽音楽部
めばえサークル(ボランティア関連)
人形劇団つくし
ピアノ同好会
裏千家茶道部
万葉旅行の会
SF研究会
卓上文化研究会
創作活動サークル リカゲル
かめつぱり(ウミガメ・スナメリ保全)
HELLO FM(ラジオ放送活動)
囲碁・将棋部
漫画倶楽部
表千家茶道部
ねこサークル
小原流華道部
エレクoonサークル
みえシネマアーク(映画制作)
blue planet(環境保護)
Pioneer(アカベラ)
献血推進サークル ヴァンパイア
落語研究会
ジョイア(日本語サポート)
書道サークル心太(とことん)
劇団クレスト
ユネスコクラブ
Transfer(編入生サポート)
天文サークルSOLA
三重大BBS(ボランティア関連)
聖書研究会
三重大ベンチャーサークル
ぶらり旅サークル
カードゲームサークルDUEL(デュエル)
DTMサークル JACK(コンピューター使用による作曲)
START(外国人への支援)
三重大災害ボランティア支援団体MUS-net
High Tone(軽音楽)

アンビシャスカード(マジック)
PAR-TAN
Silhouette(ジャズ)
プラスバンドサークルBB研究会
アンサンブルサークル「ぶるさあ」
農業サークル翠
食農サークル農らく
カラオケサークルDAH
ボケ雀サークル
てらこや(留学生支援)
仲村学校

文化系(医学部)

軽音楽部
ロック部
美術部
東洋医学研究会
医療 学生研究会
SessionサークルBAG
きゅうめい部
東海地区小児糖尿病キャンプ三重大生部会



アカベラサークルPioneer



サイクリングサークル(MUCC)



E.S.S.(English Speaking Society)



人形劇団つくし

*トピックス

環境への取り組み スマートキャンパス構想

経済産業省【平成23~25年度】

次世代エネルギー技術実証事業

三重大学スマートキャンパス(MIESC) 実証事業

スマートキャンパス実証事業は平成23年10月からスタートし、風力発電、太陽光発電ガスを利用したコージェネレーションシステム(発電時に発生する排熱を、温水や蒸気として回収し、附属病院で利用するシステム)、電力を安定的・効率的に蓄放電する蓄電池、全体を一体化して

運用するためのEMS(エネルギー・マネジメント・システム)が本格稼働を始めています。

世界一の環境先進大学としての三重大学の取り組み、今後の展開にご注目ください。



入試情報

平成26年度

平成26年度入試日程

1月		2月		3月	
1月18日(土)	大学入試センター試験	1月27日(月)	個別学力検査出願期間	3月8日(土)	前期日程合格発表
1月19日(日)		2月5日(水)		3月12日(水)	個別学力検査後期日程
		2月25日(火)	個別学力検査前期日程	3月23日(日)	後期日程合格発表
		2月26日(水)	※ (医学部のみ)		

平成26年度入学定員(募集人員)

学部	学科・課程・コース	入学定員	募集人員					
			一般入試		AO入試	特別入試		
			前期日程	後期日程		推薦入試	帰国子女	社会人
人文学部	文化学科	100	67	25			3	5
	法律経済学科	165	100	37		20	3	5
	学 部 計	265	167	62		20	6	10
教育学部	学校教育教員養成課程	国語教育コース	15	11	4			
		社会科教育コース	16	12	4			
		数学教育・情報教育コース	30	21	9			
		理科教育コース	18	14		4		
		音楽教育コース	9	6	3			
		美術教育コース	8	8				
		保健体育コース	16	10	6			
		技術・ものづくり教育コース	9	8		1		
		家政教育コース	12	9		3		
		英語教育コース	10	10				
		特別支援教育コース	18	11	7			
		幼児教育コース	10	10				
		学校教育コース	9	7		2		
		計	180	137	33	10		
	人間発達科学課程	人間発達科学コース	10	7		3		
		日本語教育コース	10	10				
		計	20	17				
	学 部 計	200	154	33		13		
医学部	医学科	125	75	10		40		
	看護学科	80	55	10		12		3
	学 部 計	205	130	20		52		3
工学部	機械工学科	80	45	13	22			
	電気電子工学科	80	46	22	12			
	分子素材工学科	100	45	40	15			
	建築学科	40	30	10				
	情報工学科	60	30	20	10			
	物理工学科	40	30	10				
	学 部 計	400	226	115	59			
生物資源学部	資源循環学科	60	30	10		18	1	1
	共生環境学科	85	45	17		21	1	1
	生物圏生命科学科	95	55	15		23	1	1
	学 部 計	240	130	42		62	3	3
	合 計	1,310	807	272	59	147	9	16

[注]
1. 教育学部では平成26年4月に上記のとおり改組を予定しています。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している課程の内容が変更となる可能性があります。
2. 推薦入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、教育学部、生物資源学部は前期日程で、医学部は一般入試で行います。
3. 帰国子女特別入試及び社会人特別入試で欠員が生じた場合は、人文学部は後期日程で、生物資源学部は一般入試で行います。
4. 人文学部法律経済学科の推薦入試における募集人員の内訳は、推薦A5名、推薦B5名、推薦C10名です。
5. 医学部医学科の前期日程における募集人員には、三重県地域医療枠5名程度を含みます。
6. 医学部看護学科の社会人特別入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般入試で行います。
7. 医学部医学科の推薦入試における募集人員には、地域枠30名(地域枠A25名程度、地域枠B5名程度)を、医学部看護学科の推薦入試における募集人員には、地域枠5名程度を含みます。
8. アドミッション・オフィス入試で欠員が生じた場合の欠員補充は、前期日程で行います。

DATA

入試状況

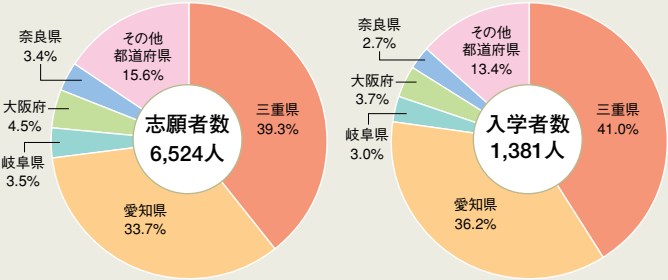
平成25年度及び過去4年間の一般入試志願者・合格者

区分	前期日程								後期日程							
	平成25年度				過去4年間の倍率				平成25年度				過去4年間の倍率			
	募集人員	志願者	倍率	合格者	24年度	23年度	22年度	21年度	募集人員	志願者	倍率	合格者	24年度	23年度	22年度	21年度
人文学部	学部学科等															
	文化学科	67	212	3.2	86	2.6	3.0	2.5	3.5	25	330	13.2	34	13.0	9.4	18.7
	法律経済学科	100	327	3.3	132	3.6	3.6	3.3	2.8	37	267	7.2	45	8.6	7.9	12.7
	計	167	539	3.2	218	3.2	3.4	3.0	3.0	62	597	9.6	79	10.3	8.5	15.1
教育学部	学校教育教員養成課程	119	556	4.7	131	3.9	4.1	4.1	3.9	19	328	17.3	24	12.3	18.1	12.9
	情報教育課程	12	34	2.8	14	5.3	4.1	5.9	6.4	8	63	7.9	9	15.3	7.5	11.1
	生涯教育課程	10	40	4.0	13	5.2	3.8	11.8	4.4	3	20	6.7	3	6.0	4.7	8.7
	人間発達科学課程	14	59	4.2	15	8.9	3.6	4.6	5.7							
	計	155	689	4.4	173	4.5	4.0	4.8	4.3	30	411	13.7	36	12.5	13.4	11.9
医学部	医学科	75	498	6.6	75	4.4	5.2	5.5	7.9	10	213	21.3	11	21.7	15.9	20.8
	看護学科	55	144	2.6	57	2.3	1.9	2.5	2.3	10	105	10.5	15	10.4	6.7	8.7
	計	130	642	4.9	132	3.5	3.8	4.2	5.5	20	318	15.9	26	16.1	11.3	13.5
工学部	機械工学科	45	129	2.9	50	4.2	2.2	2.9	2.6	13	121	9.3	14	6.8	7.9	5.3
	電気電子工学科	46	143	3.1	51	3.3	2.4	2.4	2.4	22	186	8.5	26	6.9	8.1	7.2
	分子素材工学科	45	148	3.3	51	4.1	2.8	2.8	2.8	40	245	6.1	44	6.3	8.1	7.7
	建築学科	30	133	4.4	33	4.2	3.4	3.2	3.3	10	76	7.6	10	4.5	7.3	6.1
	情報工学科	30	103	3.4	30	3.7	3.4	3.0	2.8	20	248	12.4	30	5.9	16.7	8.9
	物理工学科	30	93	3.1	33	3.0	1.8	2.8	5.1	10	244	24.4	13	14.5	7.6	13.2
	計	226	749	3.3	248	3.8	2.7	2.8	3.0	115	1,120	9.7	137	7.0	9.2	7.8
生物資源学部	資源循環学科	30	131	4.4	41	1.5	4.6	2.7	3.2	10	75	7.5	16	6.5	8.7	3.3
	共生環境学科	50	122	2.4	57	3.2	1.8	3.0	2.6	19	87	4.6	34	4.5	6.7	3.3
	生物圏生命科学科	55	221	4.0	59	3.1	3.6	2.5	2.9	20	142	7.1	32	5.2	7.7	3.5
	計	135	474	3.5	157	2.8	3.2	2.8	2.8	49	304	6.2	82	5.2	7.5	3.4
	合 計	813	3,093	3.8	928	3.6	3.3	3.5	3.6	276	2,750	10.0	360	8.7	9.3	9.6

平成25年度 特別入試等志願者・合格者

区 分		定員	志願者	合格者	
アドミッション ・オフィス (AO)	工学部	機械工学科	22	111	25
		電気電子工学科	12	52	12
		分子素材工学科	15	56	15
		建築学科			
		情報工学科	10	21	10
		物理工学科			
		合 計	59	240	62
推薦入試	人文学部	法律経済学科	20	68	20
		計	20	68	20
	教育学部	学校教育教員養成課程	7	41	8
		生涯教育課程	2	11	2
		人間発達科学課程	6	25	6
		計	15	77	16
	医学部	医学科	40	141	40
		看護学科	12	35	12
		計	52	176	52
	生物資源学部	資源循環学科	18	35	14
		共生環境学科	14	23	15
		生物圏生命科学科	18	52	21
		計	50	110	50
		合 計	137	431	138
	帰国子女 特別入試	人文学部	文化学科	3	0
法律経済学科			3	1	0
計			6	1	0
生物資源学部		資源循環学科	1	0	0
		共生環境学科	1	0	0
		生物圏生命科学科	1	0	0
		計	3	0	0
		合 計	9	1	0
社会人 特別入試	人文学部	文化学科	5	2	0
		法律経済学科	5	0	0
		計	10	2	0
	医学部	看護学科	3	7	3
		計	3	7	3
	生物資源学部	資源循環学科	1	0	0
		共生環境学科	1	0	0
		生物圏生命科学科	1	0	0
		計	3	0	0
	合 計	16	9	3	

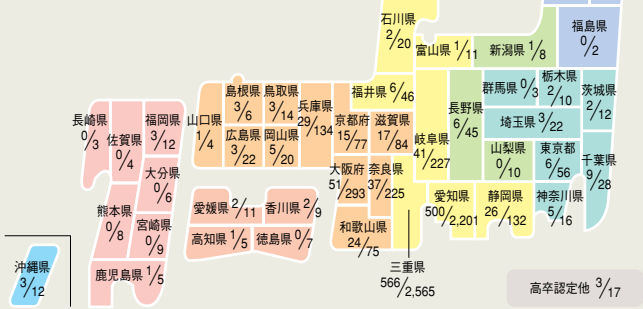
平成25年度 出身県別志願者・入学者の状況



平成25年度 都道府県別志願者及び入学状況(学部)

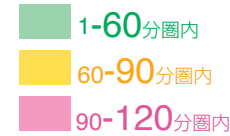
全体	入学者	1,381人
	志願者	6,524人
東海4県(三重、愛知、岐阜、静岡)の計	入学者	1,133人(全体の82.0%)
	志願者	5,125人(全体の78.6%)

図は、出身高等学校等が所在する都道府県別数で、上段は合格者数、下段は入学志願者数を示す。



三重大学へのアクセス

三重大学までの所要時間



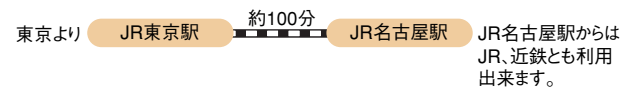
津駅までの乗車時間



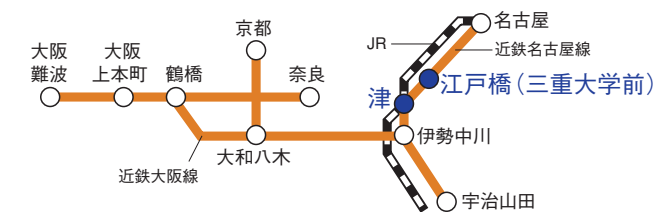
交通案内

東京方面から

●JR「新幹線のぞみ」で



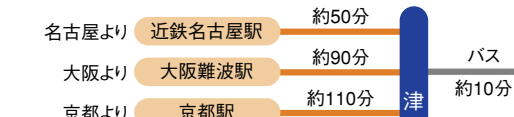
名古屋、大阪、京都方面から



●近鉄電車「急行」で



●近鉄電車「特急」で



●JR「快速みえ」で



周辺交通案内

●江戸橋(三重大学前)駅から

徒歩約15分

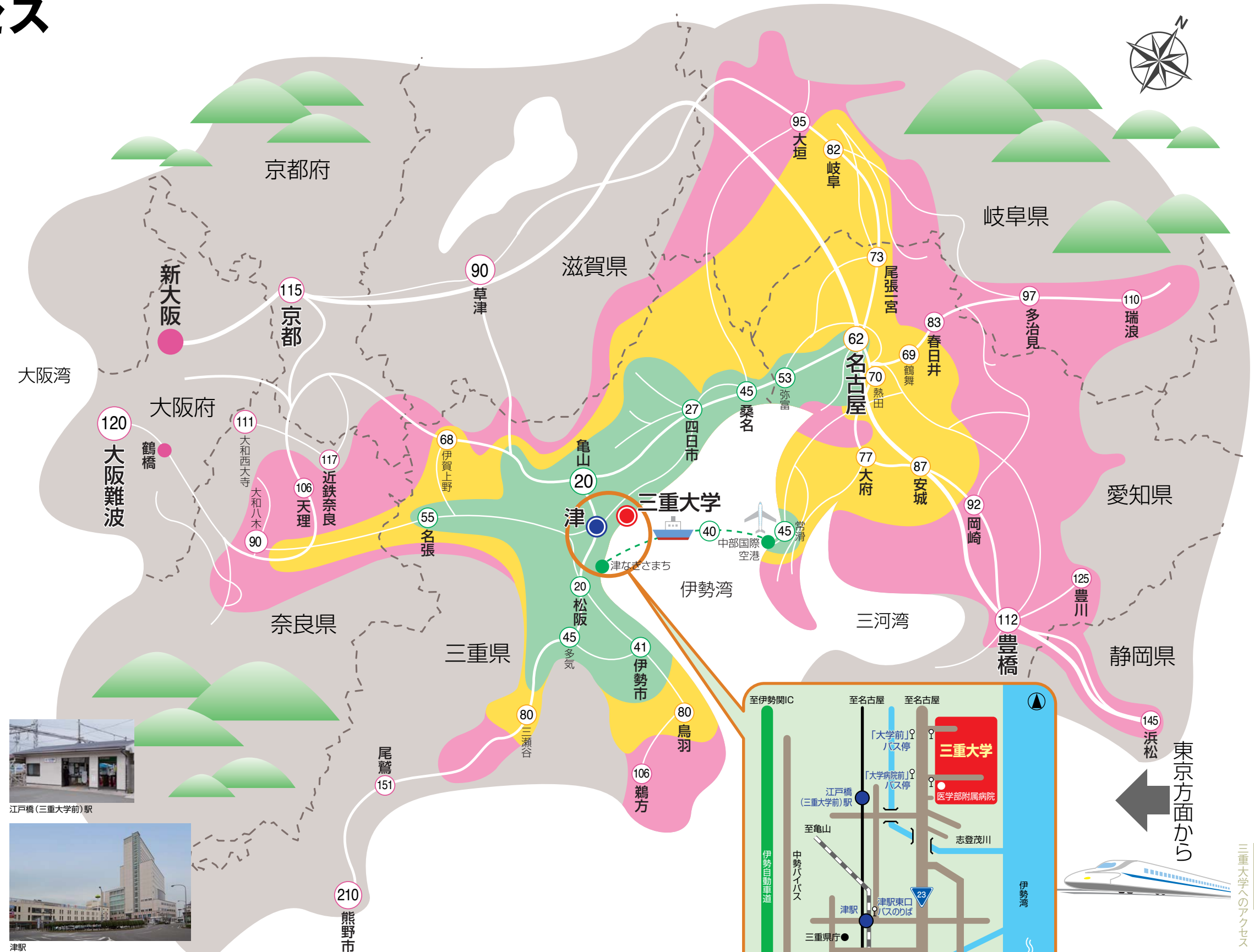
●津駅から

1. 津駅東口バスのりば「4番」から三重交通バスで「白塚駅」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)
バスで約10分
2. タクシーで約10分

●中部国際空港(セントレア)から

津エアポートライン(船)で津なぎさまちへ40分

1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



江戸橋(三重大学前)駅



津駅

本学の最新情報等が携帯電話で閲覧することが出来ます。

<http://daigakuic.jp/mie-u/>

パソコンからも見る事ができます。



東京方面から



三重大学へのアクセス

三重大学へのアクセス

学生募集要項等の入手方法

1 インターネット（パソコン、携帯電話）又は電話で請求する場合

テレメールを利用


テレメール

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

 **インターネット（携帯電話・パソコン）**
http://telemail.jp

※パソコン、携帯電話とも共通アドレスです。
※携帯電話なら、ケータイ用バーコードを読み取るだけでアクセスできます。


ケータイ用バーコード

携帯電話でケータイ用バーコードを読み取り、
アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

 **自動音声応答電話**
IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)

※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。
※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりとお話ください。
登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできない場合があります。

② 資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資 料 名	資料請求番号
大学案内	564380
入学者選抜要項	584380
入学者選抜要項・大学案内	564350
学生募集要項（一般入試）	584350
学生募集要項（一般入試）・大学案内	544350
推薦入試学生募集要項	584360
推薦入試学生募集要項・大学案内	544360
人文学部案内	584370
教育学部案内	564370
医学部医学科案内	544370
医学部看護学科案内	544380
工学部案内	544390
生物資源学部案内	564570

③ 以降はガイダンスに従ってください。

- * 受付から1～3日程度で発送されます。
ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送いたします。
- * 一度ご利用になられた暗証番号（4桁）は必ず控えておいてください。問い合わせや送料をお支払いいただく際に必要となる場合があります。

【上記請求方法についてのお問い合わせ先】
テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102（9:30～18:00）

モバっちょを利用



① 下記の方法でモバっちょにアクセスしてください。

 **インターネット（携帯電話・パソコン）**
http://djcmie-u2/

※パソコン、携帯電話とも共通アドレスです。
※携帯電話なら、ケータイ用バーコードを読み取るだけでアクセスできます。


ケータイ用バーコード

② 以降はガイダンスに従ってください。

- * 受付から1～3日程度で発送されます。
ただし、発送開始日までのご請求は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送いたします。

【上記請求方法についてのお問い合わせ先】
モバっちょカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005（平日10:00～18:00）

2 郵便局で請求する場合 （10月より案内開始）

お近くの郵便局（普通局、特定局）に設置されている「国公私立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要事項を記入の上、送料と払込手数料120円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。
受付から約1週間程度で資料がお手元に届きます。

【お問い合わせ先】
テレメールカスタマーセンター
TEL 050-8601-0102（9:30～18:00）

3 大学へ直接請求する場合

宛名を記入した返信用封筒（角形2号、切手貼付〈学生募集要項のみの場合240円〉）を同封し、表書きに「○○○○○○○○○○請求」と朱書きし、三重大学学務部入試チーム宛に郵便で請求してください。

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
三重大学 学務部 入試チーム
TEL 059-231-9063

学生納付金一覧表

学 費

全 学 部		
入学料		282,000円
授業料	前期	267,900円
	後期	267,900円

*本学では、授業料を学生または保護者（保証人）名義の預金口座から引き落として納付する方法（預金口座振替）を導入しています。
この方法は、電気・ガス等公共料金の支払いに広く利用されておりますように、本学指定の取扱銀行が、授業料を学生または保護者（保証人）名義の預金口座から引き落として大学へ納付する仕組みです。